ONKYO®

FR-DVD シリーズ

FR-UN9
（DVD/MDチューナーアンプ）

X-UN9
FR-UN9（DVD/MDチューナーアンプ）
D-N9（スピーカーシステム）

X-UN7
FR-UN7（DVD/MDチューナーアンプ）
D-N7（スピーカーシステム）

取扱説明書

MDLP

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に
保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内
とともに大切に保管してください。

目次

基　本　編

応　用　編

主な特長

DVD 部

- ■ DVDオーディオ、スーパーオーディオCDにも対応、ユニバーサル仕様のDVDプレーヤー
- ■ DVD-R/RWをはじめとする多彩なディスクに再生対応
- ■ よりなめらかな高画質再生を実現（プログレッシブスキャン回路）
- ■ DVDビデオの信号を高分解能で処理（108MHz/12bitビデオD/Aコンバーター）
- ■ラストメモリー機能

MD 部

- ■ 長時間録音モード（2倍/4倍）MDLP対応
- ■ たくさん入った曲を整理するMDグループ機能
- ■ MDネーム入力をさらに快適にするカンタンネーム
- ■ デジタル録音ボリューム搭載
- ■ サンプリングレートコンバーター搭載
- ■ 高速演算ATRAC搭載

アンプ / チューナー部

- ■ ドルビー*1プロロジックII、ドルビーデジタル、DTS*2、AAC*3デコーダー内蔵
- ■ シアターディメンショナル*4搭載
- ■ 重低音の調整ができるS.BASS機能
- ■ 別売りシステムUWA-9/UWA-N7を組み合わせて5.1ch再生可能
- ■ 別売りシステムUWA-9/UWA-N7を組み合わせてオンキヨー独自の7つのリスニングモード
- ■ 広帯域な次世代メディアのポテンシャルも引き出すWRAT（Wide Range Amplifier Technology）
- ■ 飛躍的な音質向上、デジタル信号からピュアなアナログ信号を生成するVLSC（Vector Linear Shaping Circuitry）を搭載
- ■ FMオートプリセット可能。30局メモリー搭載チューナー
- ■ 再生も録音も複数設定可能なプログラムタイマー
- ■ 光デジタル入力端子（入力×1）

*1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
“Dolby”、“ドルビー”、“Pro Logic”およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

*2 本機は、デジタル・シアター・システムズ社からのライセンスに基づき製造されています。
“DTS”、“DTS Digital Surround”は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。

*3 AAC パテントマーキング
Pat.5,848,391 5,291,557 5,451,954 5 400 433 5,222,189 5,357,594 5 752 225
5,394,473 5,583,962 5,274,740 5,633,981 5 297 236 4,914,701 5,235,671
07/640,550 5,579,430 08/678,666 98/03037 97/02875 97/02874 98/03036
5,227,788 5,285,498 5,481,614 5,592,584 5,781,888 08/039,478 08/211,547
5,703,999 08/557,046 08/894,844 5,299,238 5,299,239 5,299,240 5,197,087
5,490,170 5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654 5,548,574 5,717,821

*4 Theater-Dimensionalはオンキヨー株式会社の商標です。

*

Windows Media、Windowsのロゴは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

* RI EXは、オンキヨー株式会社の商標です。

**カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法は同じです。**

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。
● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

● 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
次の点に気をつけてご使用ください。
- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面、横から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。

⚠警告

■ 水のかかるところに置かない

水場での
使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● スピーカー内部、本機の通風孔、ミニディスクの挿入口やDVDトレイなどから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセント
から抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触
禁止

● 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセント
から抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠注意

■ 設置上の注意

● 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
● 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
● 本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

● 移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。
● 移動させる場合は、チューナーアンプの電源を切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。

■ スピーカーコードは安全な場所へ

● スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを使用した場合や高い所に置いた場合、特にご注意ください。

■ 次のような場所に置かない

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

● 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
● ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
● レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
● お子さまがミニディスク挿入口やDVDトレイに手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
● ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
● キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電池について

● 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

⚠注意

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コ－ドを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ スピーカーコードについて

- スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 屋外アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となるとがあります。

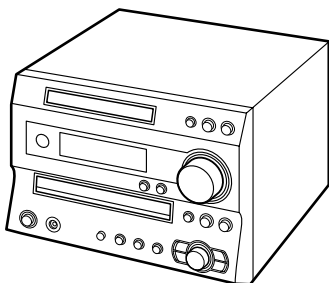
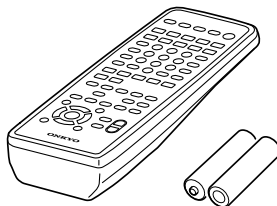
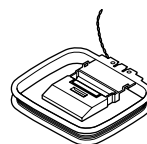
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

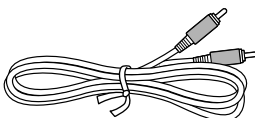
- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

付属品を確認する

「X-UN9」は「FR-UN9」と「D-N9」で構成されています。
「X-UN7」は「FR-UN7」と「D-N7」で構成されています。

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。（　）内の数字は数量を表しています。

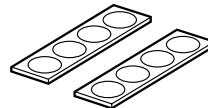
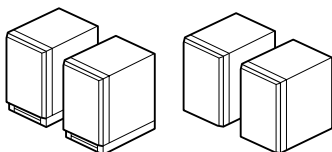
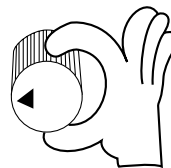
●DVD/MDチューナーアンプ（1）

●リモコン（RC-633S)(1）
●乾電池（単3形)(2)

●AM室内アンテナ（1）
AM放送を受信するアンテナです。

●FM室内アンテナ（1）
FM放送を受信するアンテナです。

●ビデオコード1.5m（1）
映像を送るコードです。

●取扱説明書（本書)(1）
●保証書（1）
●オンキヨーご相談窓口・
修理窓口のご案内（1）

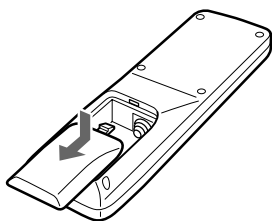
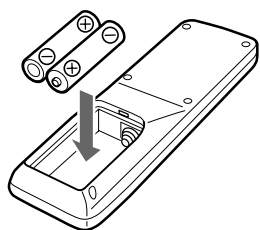
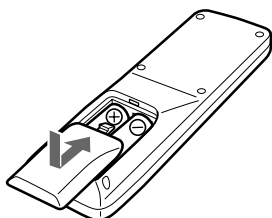
スピーカーに同梱の付属品

●スピーカー
X-UN9(D-N9)(2)　X-UN7(D-N7)(2)

●スピーカーコード 1.8m（2）

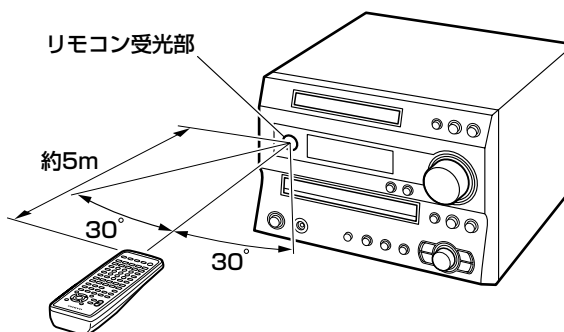
●スピーカー用コルクスペーサー(8)

音のエチケット
楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

リモコンを準備する

乾電池を入れる

1. カバーを外す

2. 中の極性表示にしたがって付属の乾電池2個をプラス⊕とマイナス⊖を間違えないように入れる

3. カバーを戻す

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単3形をご使用ください。

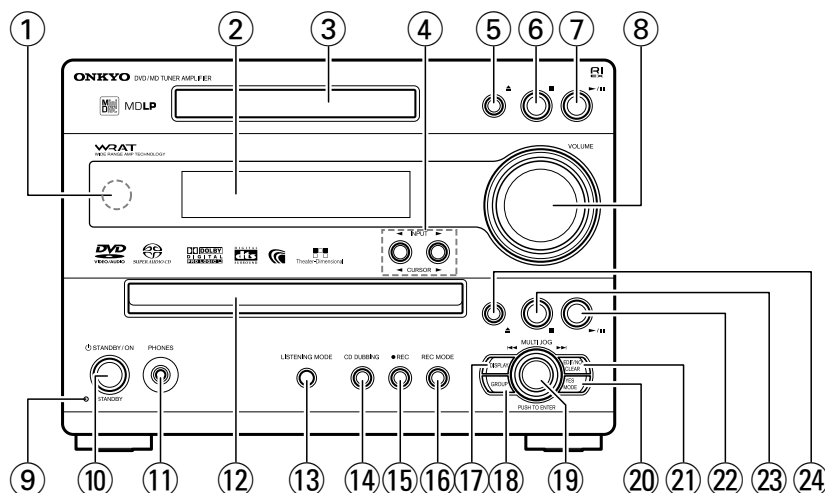
リモコンの使いかた

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

各部の名前と主な働き

前面パネル

〔　〕内の数字は、主な参照ページを示しています。

① リモコン受光部〔9〕
リモコンからの信号を受信します。

② 表示部
次ページをご覧ください。

③ MD挿入部〔48〕
MDを挿入します。

④ INPUT◀/▶、CURSOR◀/▶ボタン〔30、54、56〕
聞くソースを選びます。
文字入力時や設定時、カーソルを移動させます。

⑤ MD▲ボタン〔48〕
MDを取り出します。

⑥ MD■ボタン〔48〕
再生や録音を停止します。

⑦ MD▶/❚❚ボタン〔48、68、70〕
再生や録音(録音待機状態から)を始めます。再生中や録音中に押すと一時停止(録音一時停止)状態になります。

⑧ VOLUMEつまみ〔31〕
音量を調節します。

⑨ STANDBYインジケーター〔29〕
スタンバイ状態のとき点灯します。

⑩ STANDBY/ONボタン〔29〕
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

⑪ PHONES端子〔31〕
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

⑫ DVDトレイ〔34〕
DVDやCDをセットします。

⑬ LISTENING MODEボタン〔61〕
リスニングモードを切り換えます。

⑭ CD DUBBINGボタン〔65、66〕
CDダビングを開始します。

⑮ ●RECボタン〔68〜70〕
MDを録音待機状態にします。

⑯ REC MODEボタン〔65〕
録音モードを設定します。

⑰ DISPLAYボタン〔57、65、66、69、93〕
表示部の情報を切り換えます。
文字入力時、文字の種類を選べます。

⑱ GROUPボタン〔80、81、83〜86〕
グループ選択、グループ再生をするときに使用します。

⑲ MULTI JOGダイヤル〔36、48、56〕
登録した放送局や、再生する場面や曲を選びます。編集の種類を選んだり、文字を入力するときに文字を選びます。押すと録音、再生、設定などで選択した項目を決定します。

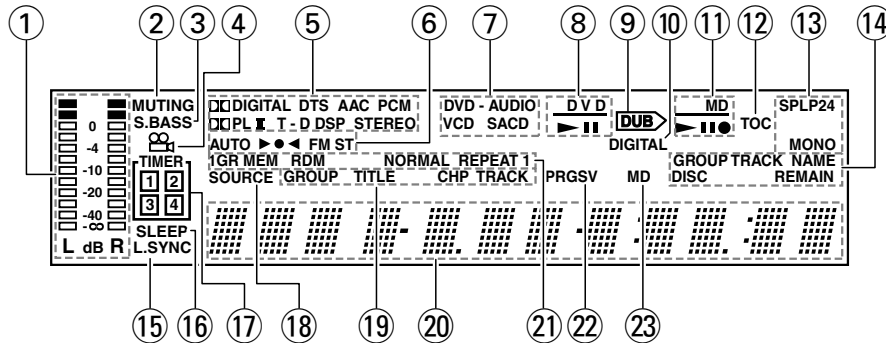
⑳ YES/MODEボタン〔50〜52、54、55、57、93〕
録音、再生、設定などで選択した項目を決定します。

㉑ EDIT/NO/CLEARボタン〔29、55、58、59、71〜73、82〜92〕
設定や編集操作の内容を選びます。
設定中は表示された内容を取り消します。

㉒ DVD/CD▶/❚❚ボタン〔34、69〕
再生を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。

㉓ DVD/CD■ボタン〔34〕
再生を停止します。

㉔ DVD/CD▲ボタン〔34〕
DVDやCDを取り出します。

表示部

① **レベル表示**
録音レベルを表示します。
※再生時の表示については、61ページをご参照ください。

② **MUTING表示**
ミューティングが働いているときに点滅します。

③ **S.BASS表示**
スーパーバス設定時に点灯します。

④ **アングル表示**
DVDのアングルが収録されている場面を再生すると点灯します。

⑤ **入力信号表示/リスニングモード表示**
入力されている信号の種類および選ばれているリスニングモードを表示します。

⑥ **FM/AM受信情報**
FM/AM受信時の情報を知らせます。

⑦ **ディスク情報**
再生しているディスクの種類を表示します。

⑧ **DVD再生表示**
DVDやCDの再生状態を表示します。

⑨ **DUB表示**
CDダビング時に点灯します。

⑩ **DIGITAL表示**
録音の設定がデジタル入力録音時に点灯します。

⑪ **MD再生、録音表示**
MDの再生、録音状態を表示します。

⑫ **TOC表示**
録音や編集など、MDに情報を書き込むときに、点灯や点滅します。

⑬ **MDLP表示**
MDLPの録音状態を表示します。

⑭ **DVD/MD情報**
DVDやMDの情報を表示します。

⑮ **L.SYNC表示**
レベルシンクが働いているときに点灯します。

⑯ **SLEEP表示**
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

⑰ **TIMER表示**
タイマーのセット状態を表示します。
□ ：タイマー録音設定時に点灯します。
数字：タイマー1～4設定時に点灯します。

⑱ **SOURCE表示**
MD録音のソースを表示しているときに点灯します。

⑲ **GROUP/TITLE/CHP/TRACK表示**
GROUP ：グループ数が表示されているときに点灯します。
TITLE ：ディスクのタイトル数が表示されているときに点灯します。
CHP ：チャプター数が表示されているときに点灯します。
TRACK ：トラック数が表示されているときに点灯します。

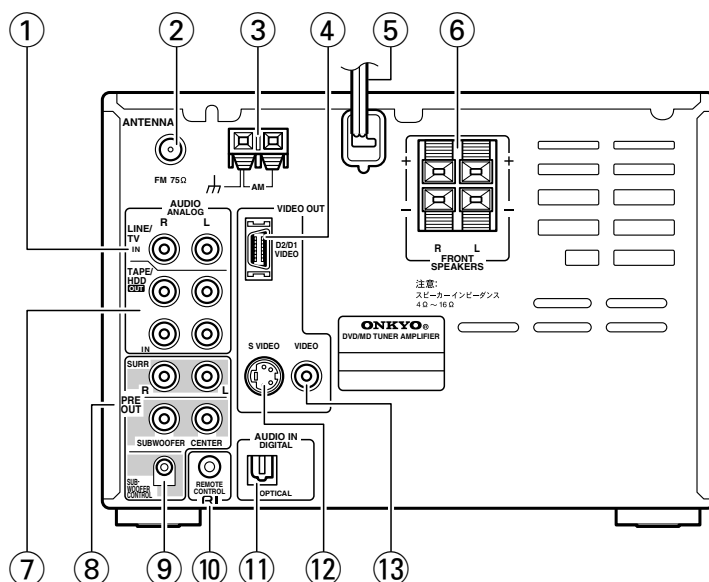
⑳ **多目的表示部**
再生時間やリスニングモードなどを表示します。

㉑ **再生/録音モード表示**
NORMAL ：通常再生時に点灯します。
MEM ：プログラム再生が設定されているときに点灯します。
RDM ：ランダム再生時に点灯します。
REPEAT ：全曲リピート再生時に点灯します。
REPEAT 1 ：1曲リピート再生時に点灯します。
1GR ：1GRグループ再生時に点灯します。

㉒ **PRGSV表示**
プログレッシブ出力時に点灯します。

㉓ **MD表示**
MDに録音中で、MD情報を表示中に点灯します。

各部の名前と主な働き

後面パネル

① LINE/TV IN端子

テレビやフォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーなどの外部機器の音声出力を接続する端子です。

② ANTENNA（FM75Ω）端子

付属のFM室内アンテナまたは、FM屋外アンテナを接続する端子です。

③ ANTENNA（AM）端子

付属のAM室内アンテナを接続する端子です。

④ D2/D1 VIDEO OUT端子

D映像が出力される端子です。D映像入力端子のあるテレビなどと接続するときに、市販のD端子用接続コードを使って接続します。

⑤ 電源コード

⑥ FRONT SPEAKERS端子

付属のスピーカーを接続する端子です。

⑦ TAPE/HDD IN/OUT端子

テープデッキやCDレコーダーを接続する端子です。オンキヨー製リモートインタラクティブドック（RIドック）を接続するときは、RIドックの出力をこの端子に接続します。

⑧ PRE OUT端子

別売りのオンキヨー製UWA-9またはUWA-N7のMAIN IN端子と接続します。

⑨ SUBWOOFER CONTROL端子

別売りのオンキヨー製UWA-9またはUWA-N7のSUBWOOFER CONTROL端子と接続します。

⑩ RI REMOTE CONTROL端子

RI端子付きのオンキヨー機器と接続し、連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

⑪ AUDIO IN DIGITAL（OPTICAL）端子

光デジタル音声の入力端子です。
デジタル出力端子付きのゲーム機、BSチューナーなどと接続します。
接続には、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使用します。

⑫ S VIDEO OUT端子

Sビデオ映像が出力される端子です。Sビデオ入力端子のあるテレビなどと接続するときに、市販のSビデオコードを使って接続します。

⑬ VIDEO OUT端子

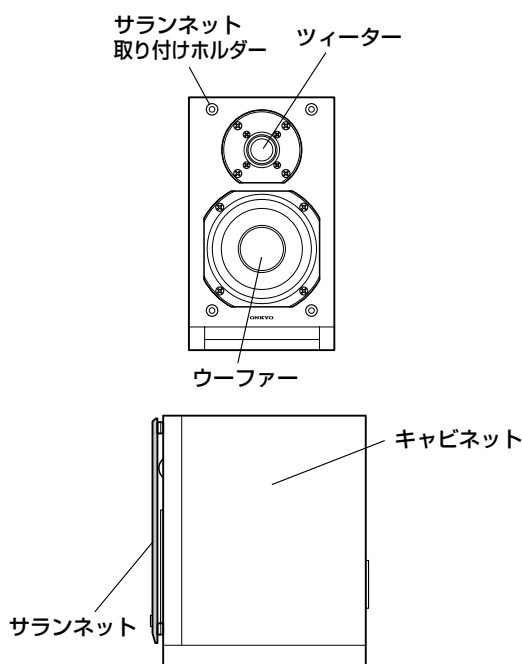
映像が出力される端子です。テレビなどと接続するときに、付属のビデオコードを使って接続します。

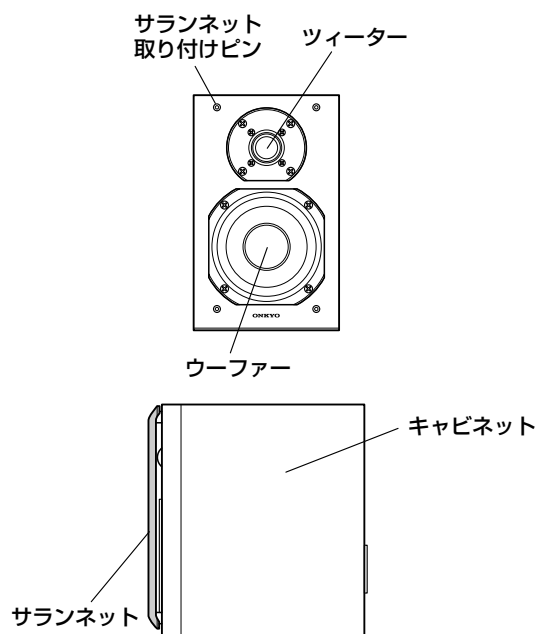
接続については、19～28ページをご覧ください。

スピーカー

D-N9、D-N7は左側スピーカーと右側スピーカーの形は同じです。どちらを左側/右側で使用しても音質は変わりません。

●D-N9

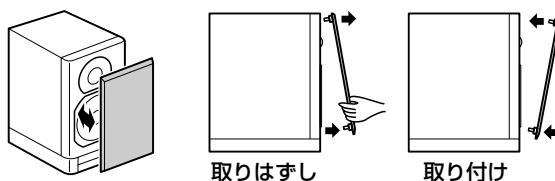
「X-UN9」にはスピーカー「D-N9」が付属しています。

●D-N7

「X-UN7」にはスピーカー「D-N7」が付属しています。

サランネットの脱着について

このスピーカーは前面のサランネットを取りはずすことができます。サランネットを付けたりはずしたりするときは、次のように行ってください。

●D-N9

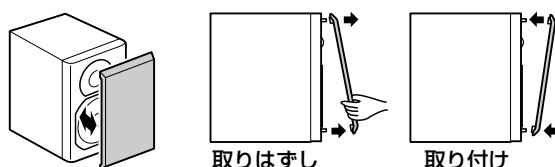
1.サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側をはずします。
2.同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。
3.取り付けるときは、サランネットの四隅にあるピンを本体のサランネット取り付けホルダーに合わせて押し込みます。

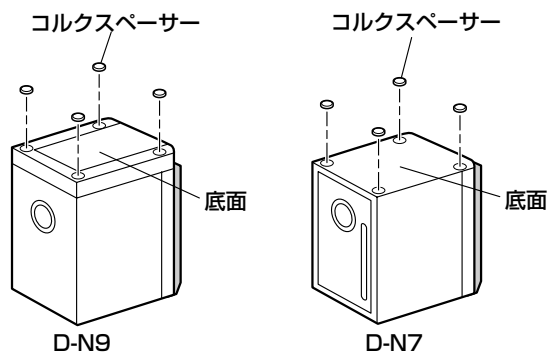
取りはずし

取り付け

●D-N7

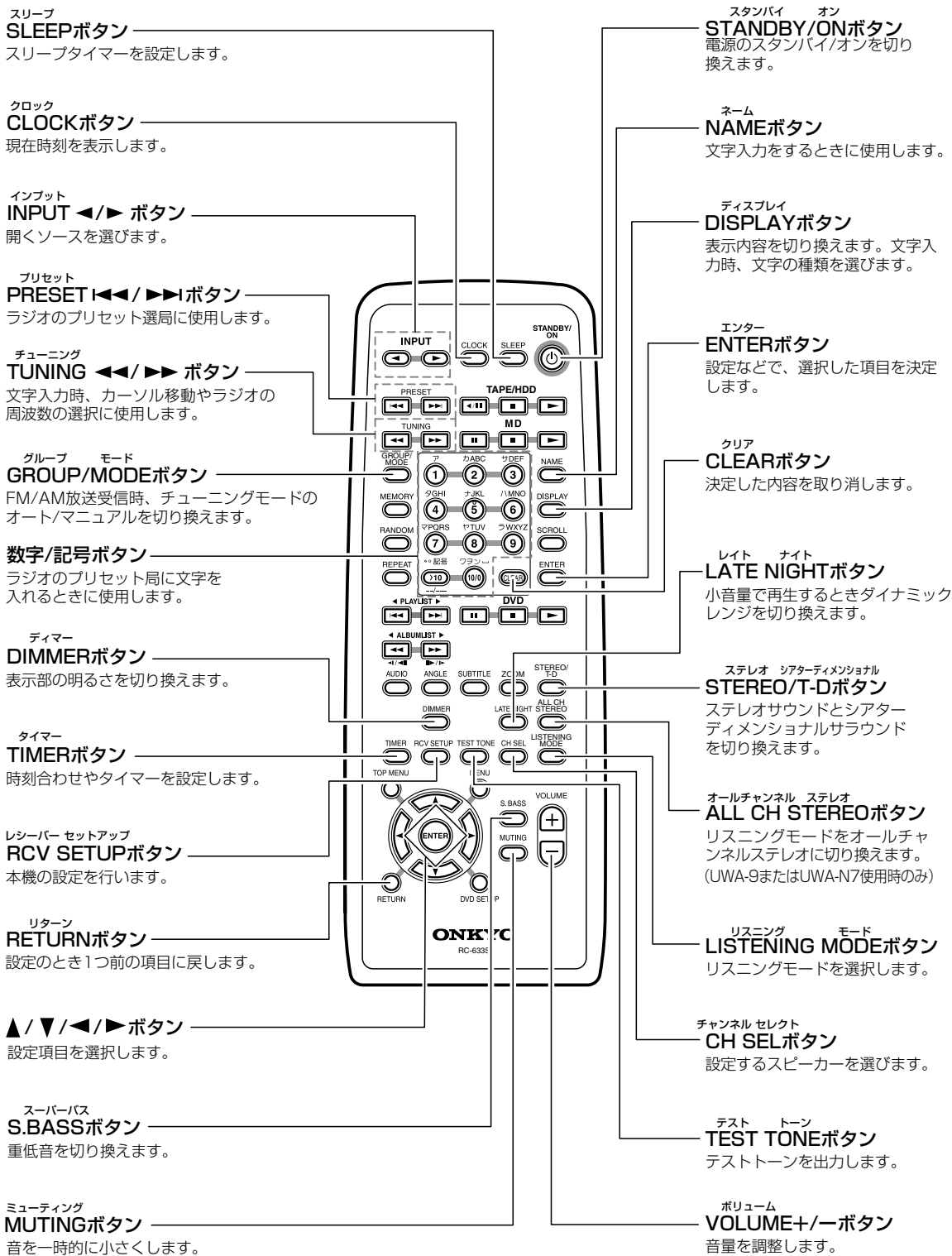
1.サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側をはずします。
2.同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。
3.取り付けるときは、サランネットの四隅にあるホルダーを本体のサランネット取り付けピンに合わせて押し込みます。

取りはずし

取り付け

付属のコルクスペーサーを使う

よりよい音でお楽しみいただくために、付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。また、コルクスペーサーを使用することで、すべりにくく安定して設置することができます。

各部の名前と主な働き

リモコン（アンプ、チューナー）

ここでは、アンプ、チューナー操作をするときに使用するボタンについて説明します。

リモコン（DVD、CD）

ここでは、DVD、CD操作をするときに使用するボタンについて説明します。

GROUP/MODEボタン
プレイモード画面を表示します。

MEMORYボタン
好きな曲/場面順に再生するように記憶させます。

RANDOMボタン
順不同に再生します。

REPEATボタン
くり返し再生します。

⏮ / ⏭ ボタン
DVDの場面やCDの曲を頭出しします。

◀◀ / ▶▶（◀I/◀II/II▶/I▶）ボタン
DVDやCDを早送り、早戻しします。
また、スロー再生やステップ再生でも使用します。

AUDIOボタン
音声を切り換えます。

ANGLEボタン
アングルを切り換えます。

TOP MENUボタン
DVDのトップメニュー画面を表示します。

ENTERボタン
選択した内容を決定します。

RETURNボタン
DVDのメニュー画面を1つ前の項目に戻します。

▲/▼/◀/▶ボタン
設定項目を選択します。

数字/記号ボタン
CDなどの選曲やDVDなどの場面、項目などを選びます。

DISPLAYボタン
表示内容を切り換えます。

ENTERボタン
再生、設定などで、選択した項目を決定します。

▶ ボタン
DVDやCDの再生を始めます。

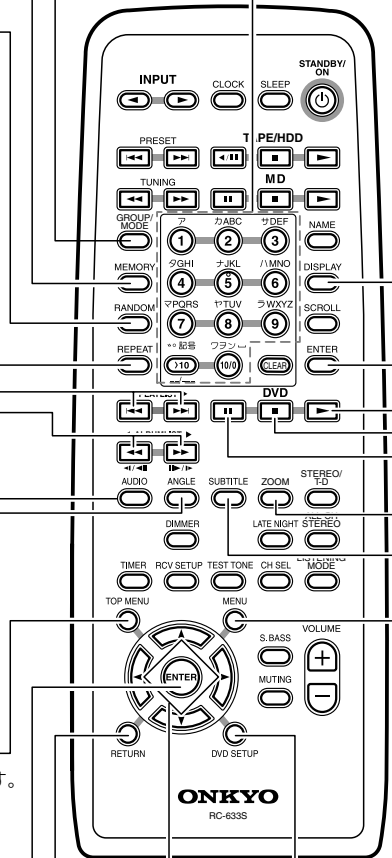
■ ボタン
DVDやCDの再生を停止します。

II ボタン
DVDやCDの再生を一時停止します。

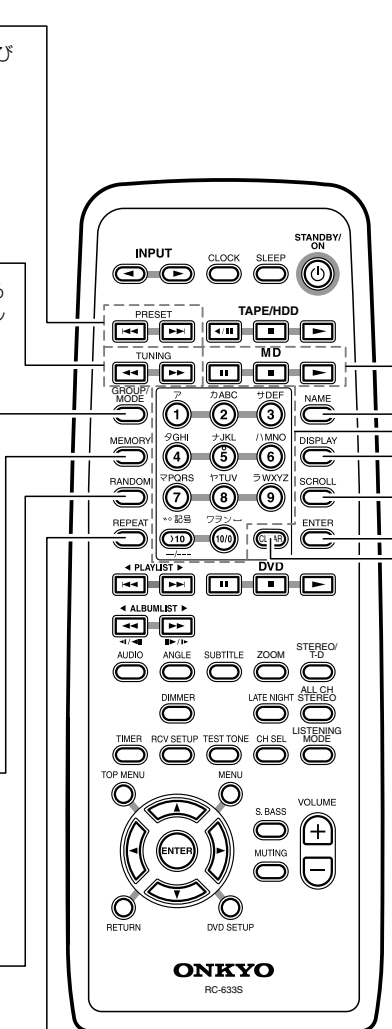
ZOOMボタン
画面をズーム（拡大）します。

SUBTITLEボタン
字幕言語を切り換えます。

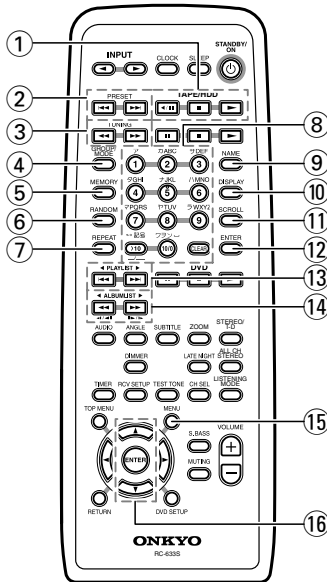
MENUボタン
DVDのメニュー画面を表示します。

DVD SETUPボタン
DVD設定画面を表示します。

各部の名前と主な働き

リモコン（MD）

ここでは、MD操作をするときに使用するボタンについて説明します。

リモコン（その他）

ここでは、TAPE/HDD端子やAUDIO IN DIGITAL端子に接続した機器が、オンキヨー製カセットデッキ、HDD機器、CDレコーダー、MDレコーダーのときに使用できるボタンについて説明します。

- 機器の接続については、24、25ページをご覧ください。
- また、接続した機器に合わせて、入力の表示名称を変更する必要があります。30ページをご覧ください。

例：④のGROUP/MODEボタンの場合

- TAPE/HDD端子にカセットテープデッキを接続して入力名称を「TAPE」にしたときは、DOLBY NRボタンとして働きます。
- TAPE/HDD端子にMDレコーダーを接続して入力名称を「MD2」にしたときは、GROUPボタンとして働きます。
- TAPE/HDD端子にCDレコーダーを接続して入力名称を「CD-R」にしたときは、MODEボタンとして働きます。AUDIO IN DIGITAL端子にCDレコーダーを接続して入力名称を「CD-R/dig」にしたときも同様です。

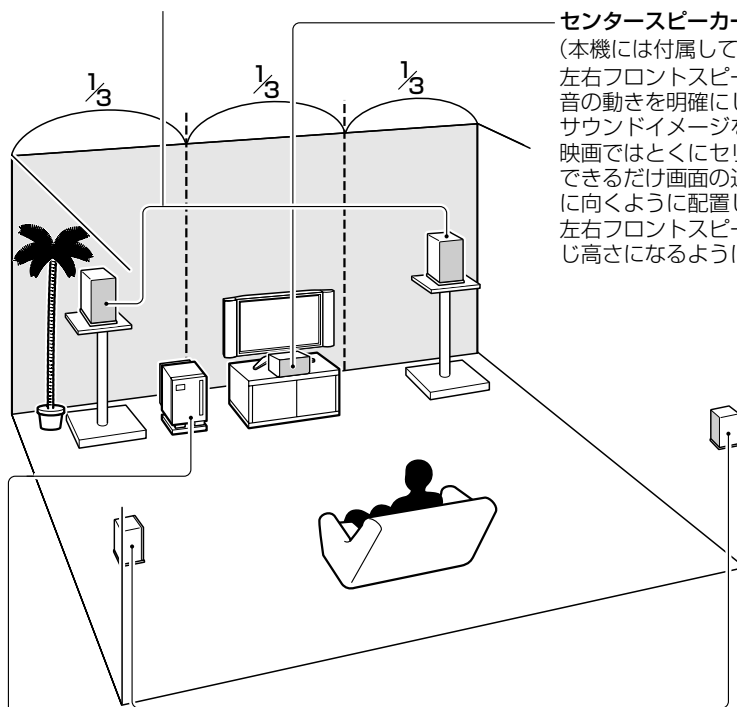
	接続端子	TAPE/HDD				DIGITAL
	入力名称	TAPE	HDD	CD-R	MD2	CD-R
①	TAPE/HDD ▶	▶	▶	▶	▶	▶
	TAPE/HDD ■	■	■	■	■	■
	TAPE/HDD ◀/II	◀	II	II	II	II
②	PRESET I◀◀/▶▶I	◀◀/▶▶	I◀◀/▶▶I	I◀◀/▶▶I	I◀◀/▶▶I	I◀◀/▶▶I
③	TUNING ◀◀/▶▶		◀◀/▶▶	◀◀/▶▶	◀◀/▶▶	◀◀/▶▶
④	GROUP/MODE	DOLBY NR		MODE	GROUP	MODE
⑤	MEMORY			MEMORY	MEMORY	MEMORY
⑥	RANDOM		SHUFFLE	RANDOM	RANDOM	RANDOM
⑦	REPEAT	REV MODE	REPEAT	REPEAT	REPEAT	REPEAT
⑧	1〜9			1〜9	1〜9	1〜9
	10/0			10/0	10/0	10/0
	>10			>10	>10	>10
	CLEAR			CLEAR	CLEAR	CLEAR
⑨	NAME				NAME	
⑩	DISPLAY		BACK LIGHT	DISPLAY	DISPLAY	DISPLAY
⑪	SCROLL			SCROLL	SCROLL	SCROLL
⑫	ENTER		SELECT	ENTER	ENTER	ENTER
⑬	PLAYLIST I◀◀/▶▶I		◀ PLAYLIST ▶			
⑭	ALBUMLIST ◀◀/▶▶		◀ ALBUM ▶			
⑮	MENU		MENU			
⑯	▲		▲			
	▼		▼			
	ENTER		SELECT	ENTER	ENTER	ENTER

- それぞれのボタンの働きについての詳細は、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 空欄はボタンを押しても動作しません。

ホームシアターとは

ホームシアターを楽しもう

FR-UN9/FR-UN7は、2本のフロントスピーカーでもシアターディメンショナル機能を使用して、マルチチャンネル再生をお楽しみいただけます。
また、FR-UN9/FR-UN7に別売りのUWA-9/UWA-N7等の3.1CHスピーカーシステムを増設して組み合わせると5.1ch再生ができ、より音の立体感、移動感が実現でき、ご家庭で簡単に劇場やコンサートホールさながらの臨場感あふれる音響効果をお楽しみいただけます。**推奨組み合わせ　FR-UN9：UWA-9　FR-UN7：UWA-N7**
DVDでは、ディスクの記録方法によりDTSやドルビーデジタル再生を、地上波デジタル放送などのAACソースではAACデジタル再生を、テレビや衛星放送ではオンキヨー独自のDSPサラウンド再生をお楽しみいただけます。

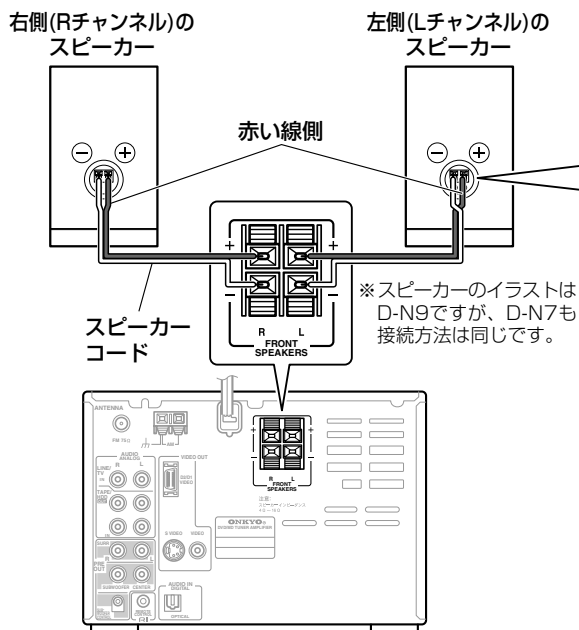
左右フロントスピーカー
総合的に音声を出力します。
ホームシアターの柱となり、音場をしっかりと整える役割を果たします。
視聴位置の前方に配置します。
音楽や映画を鑑賞する位置と姿勢で、視聴者の耳に向くように配置してください。左右対象が理想です。

センタースピーカー
（本機には付属していません。）
左右フロントスピーカーの音源効果や、音の動きを明確にして、より豊かなサウンドイメージを作ります。
映画ではとくにセリフが出力されます。
できるだけ画面の近くで、視聴者の耳に向くように配置してください。
左右フロントスピーカーとなるべく同じ高さになるように配置してください。

サブウーファー
（本機には付属していません。）
低音のみを出力し、迫力ある重低音効果を最大限に発揮します。
部屋の1/3付近に配置すると効果的です。

左右サラウンドスピーカー
（本機には付属していません。）
臨場感を高める役割を果たします。
効果音などで音の立体的な動きを表現します。
視聴位置の横または斜め後に配置します。
左右対象が理想です。

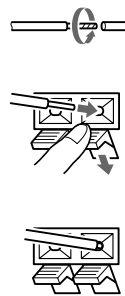
最適なサラウンド再生をお楽しみいただくには、音が届く時間を一定にするため視聴位置からスピーカーの距離を設定する必要があります。また、音のバランスを調整するため、それぞれのスピーカーの音量の設定を行ってください。
（☞106、107ページ）

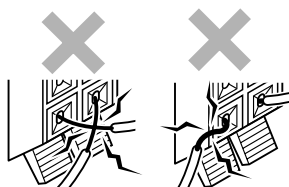
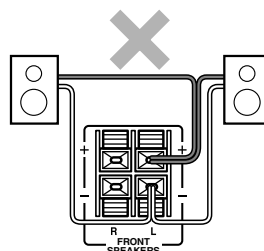
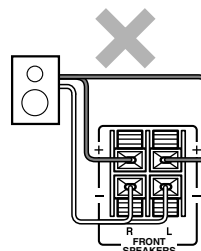
スピーカーを接続する

※スピーカーのイラストはD-N9ですが、D-N7も接続方法は同じです。

1.ビニールカバーをはずしスピーカーコードのしん線部をよじります。

2.スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。
指を離すとレバーが戻ります。
しん線がわずかに外に出ているようにしてください。

3.スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

- スピーカーはインピーダンスが4Ω(オーム)〜16Ωのものを接続してください。4Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
- スピーカーの(+)と本体の(+)を、スピーカーの(−)と本体の(−)を接続します。付属のスピーカーコードの赤い線の方を(+)側に接続してください。
- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続（例1）したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列して接続（例2）しないでください。故障の原因になります。

- 故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線どうしや後面パネルに絶対に接触させないでください。

例1：　　例2：

- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。

スピーカーの設置について

スピーカーの音質は、設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音を楽しんでいただくために、次のことにご注意ください。

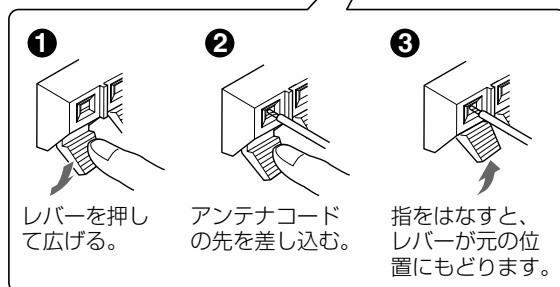
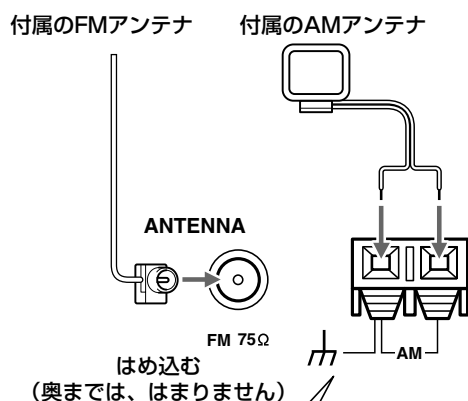
- スピーカーを床に直接置くと、低音が出過ぎていわゆるブーミーな音になります。スピーカースタンドまたはブロック、レンガ、堅い棚等の上に置くようにしてください。
- 低音が足りないときは、スピーカースタンドを低くして堅い壁面の前に置くと、低音を豊かにすることができます。
- 部屋の中では家具や壁の影響で音質が変わります。できる限り左右の音響条件が揃うことが、良い結果になります。
- お聞きになる位置（リスニングポジション）が左右のスピーカーを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- スピーカーの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。

ご注意

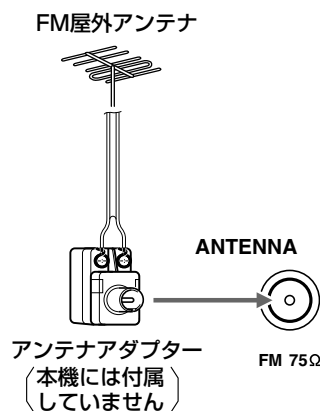
- スピーカーのキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光のあたるところや冷暖房器具の近く、湿気の多い場所には設置しないでください。
- しっかりした水平な場所に設置してください。

ラジオのアンテナを接続する

付属のFM/AMアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。（☞53ページ）

！ヒント

AMアンテナのコードは、分岐した先端を左右端子のどちらに接続してもかまいません。（スピーカーコードのように、左右や+/−などの区別はありません。）

FM屋外アンテナを接続する

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

！ヒント

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

ご注意

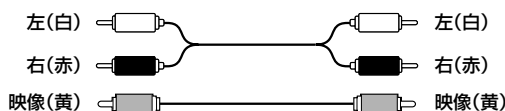
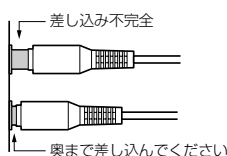
送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

映像/音声ケーブルと端子の種類について

接続の前に

- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

ビデオ用、オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 赤いプラグ（Rの表示）を右チャンネル、白いプラグ（Lの表示）を左チャンネルに接続してください。
  黄色のプラグ（Vの表示）をビデオチャンネルに接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- ビデオ/オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの映像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは、本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

光デジタル入力端子について

本機の光デジタル入力端子は、とびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。

光デジタルケーブルは、まっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。
通風孔がふさがれて危険です。

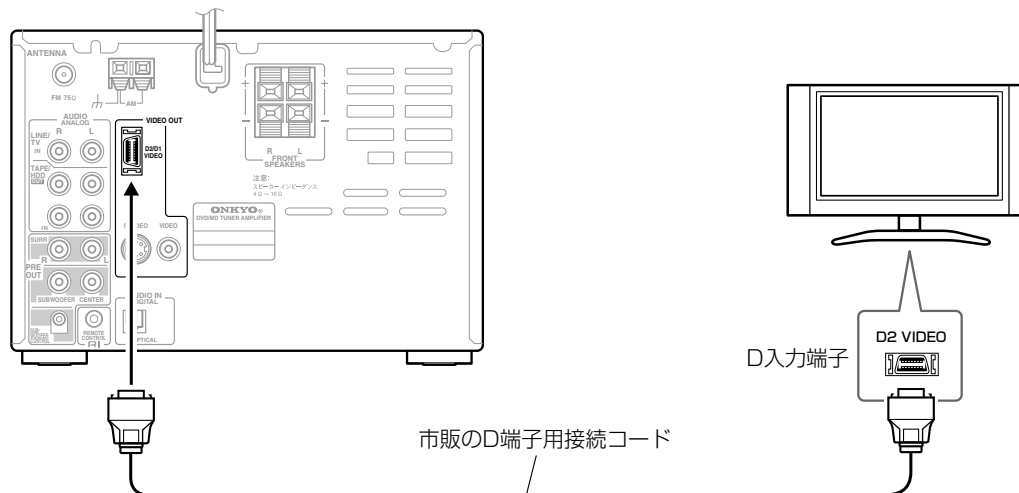
映像ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
D端子用接続コード			Sビデオより良い画質が得られます。
Sビデオコード		S VIDEO	コンポジットの映像より良い画質が得られます。
ビデオコード (付属しています)		VIDEO	標準的な映像信号で、多くのテレビやビデオなどの映像機器に装備されています。

音声ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
光デジタルケーブル （OPTICAL）			ドルビーデジタルなどのデジタル信号を伝送します。
オーディオ用 ピンコード		AUDIO L R	アナログ音声を伝送します。

テレビを接続する

DVDなどの映像をテレビに映すために、本機とテレビを接続します。接続する端子の種類によって接続方法が異なります。テレビにある端子を確認し、D入力端子、Sビデオ端子、ビデオ端子のいずれかを接続します。

テレビにD入力端子がある場合

テレビのD1、2、3、4のいずれかの端子と本機のD2/D1 VIDEO OUT端子を市販のD端子用接続コードで接続します。コンポーネント端子があるときは、市販のD端子－コンポーネント端子変換コードが使用できます。

映像の出力方式について

D2/D1端子に接続したテレビの映像方式に合わせて、次の2つの出力方式に設定することができます。
プログレッシブに設定するときは、98ページ「映像出力の設定をする」の「D2映像出力（インターレース/プログレッシブを切り換える)」をご覧ください。

プログレッシブ：
きめ細かな映像が得られる高画質モードです。プログレッシブ入力に対応しているテレビと接続しているときに選択します。表示部の「PRGSV」が点灯します。

インターレース（お買い上げ時の設定）：
プログレッシブ入力に対応していないテレビと接続しているときに選択します。

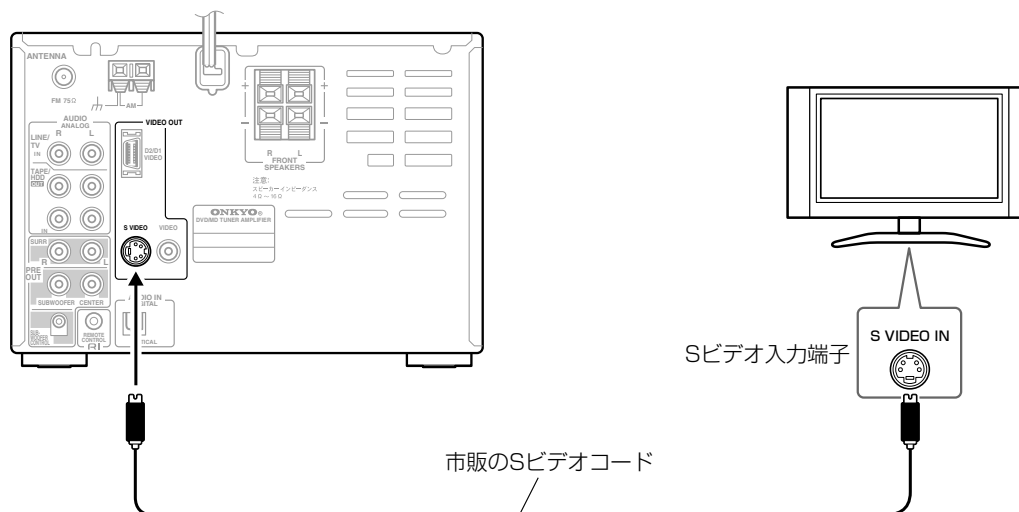
ご注意

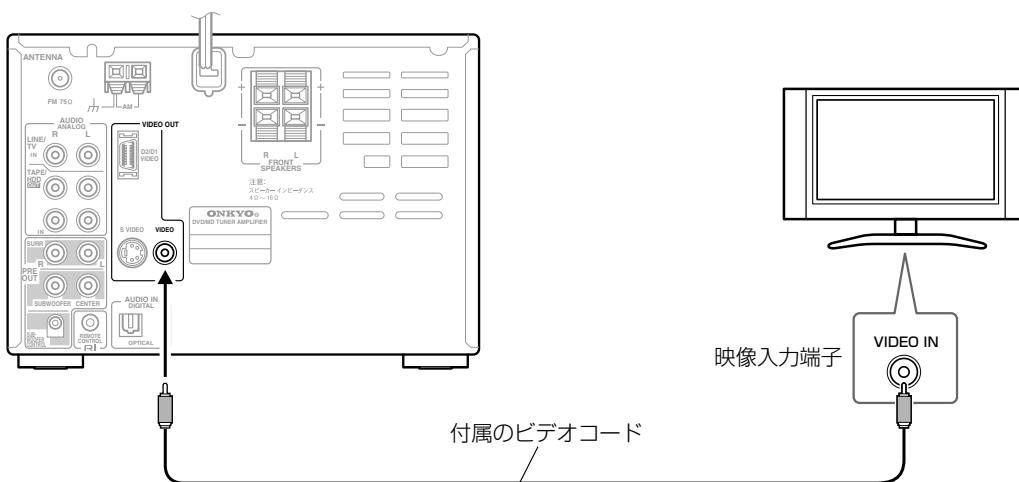
- プログレッシブ入力に対応していないテレビと接続しているときにプログレッシブを選択すると映像が正しく出力されません。
- プログレッシブとインターレースを切り換えるとき映像が乱れることがあります。

本機とプログレッシブ対応テレビとの互換性について

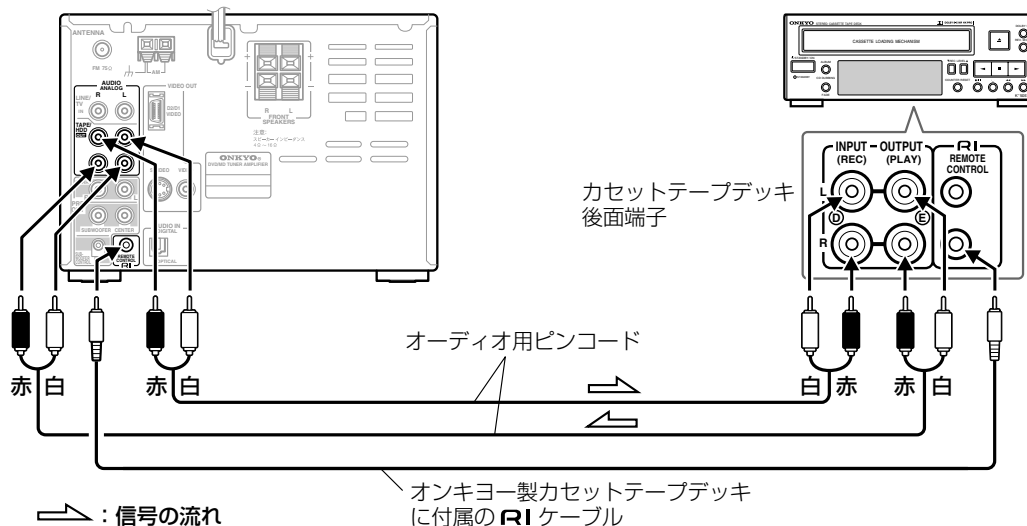
現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機のプログレッシブを解除し、テレビ側のプログレッシブ機能をお使いください。

テレビにSビデオ端子がある場合

市販のSビデオコードでSビデオ端子と接続をしてください。

テレビにD入力端子もSビデオ端子もない場合

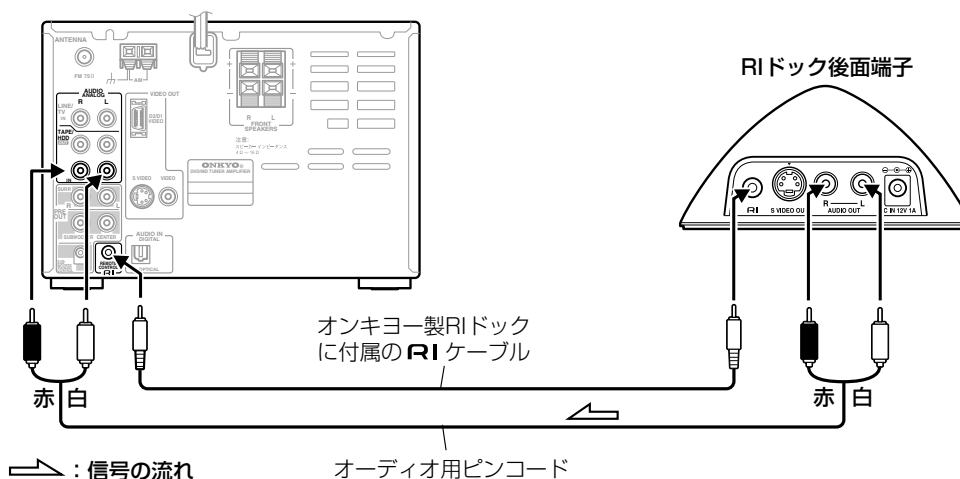
付属の黄色のビデオコードでビデオ接続をしてください。

外部機器を接続する

カセットテープデッキを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製カセットテープデッキとの接続例です。）

本機のTAPE/HDD OUT端子とカセットテープデッキの音声入力端子INPUT（REC）を接続してください。
本機のTAPE/HDD IN端子とカセットテープデッキの音声出力端子OUTPUT（PLAY）を接続してください。

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

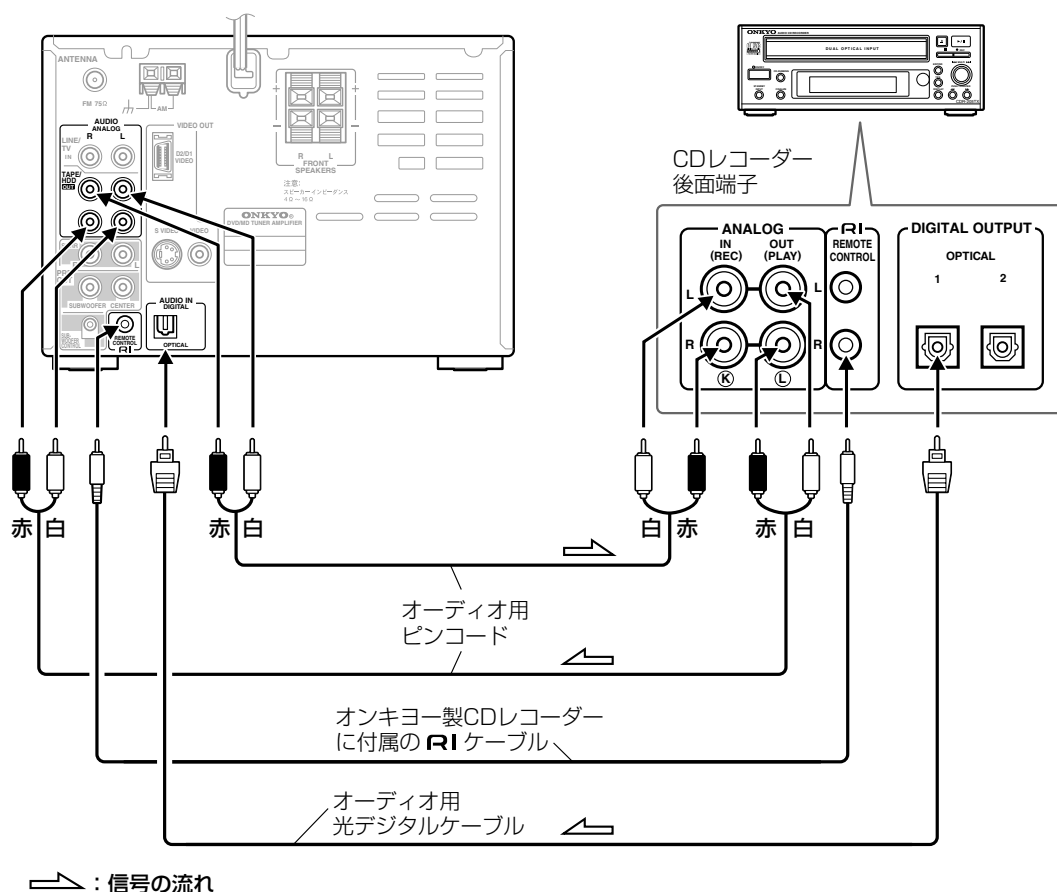
- 本機付属のリモコンでオンキヨー製カセットテープデッキも操作できます。
- オンキヨー製カセットテープデッキの再生をすると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。
- システム録音操作ができます。（☞69ページ）
- 外部入力の表示名称を「TAPE」にする必要があります。（お買い上げ時の設定は「TAPE」ですので、そのままお使いください。）

リモートインタラクティブドック（RIドック）を接続する

オンキヨー製DS-A1などのRIドックを本機と接続します。
本機のTAPE/HDD IN端子とRIドックの音声出力端子を接続してください。

オンキヨー製RIドックとRI端子接続をすると、以下の機能が使えます。

- 本機付属のリモコンでRIドックも操作できます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- 外部入力の表示名称を「HDD」にする必要があります。（☞30ページ。お買い上げ時の設定は「TAPE」になっています。）また、RIドックのMODEスイッチをHDDにしてください。
- オンキヨー製RIドックの再生をすると、本機の入力が自動的にHDDに切り換わります。

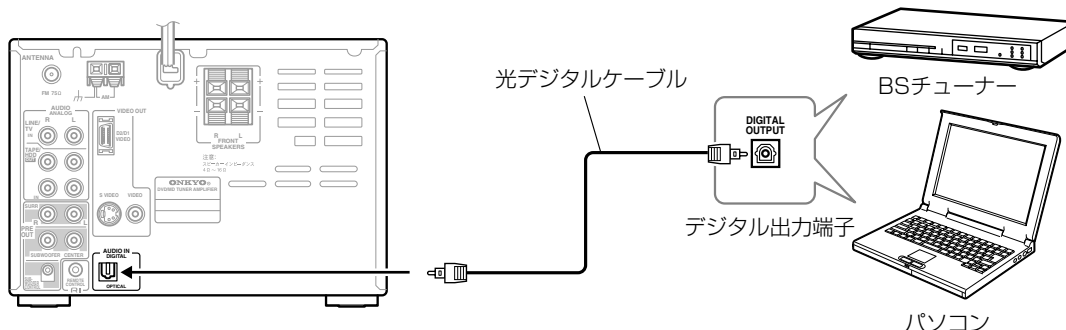
CDレコーダーを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製CDレコーダーとの接続例です。）

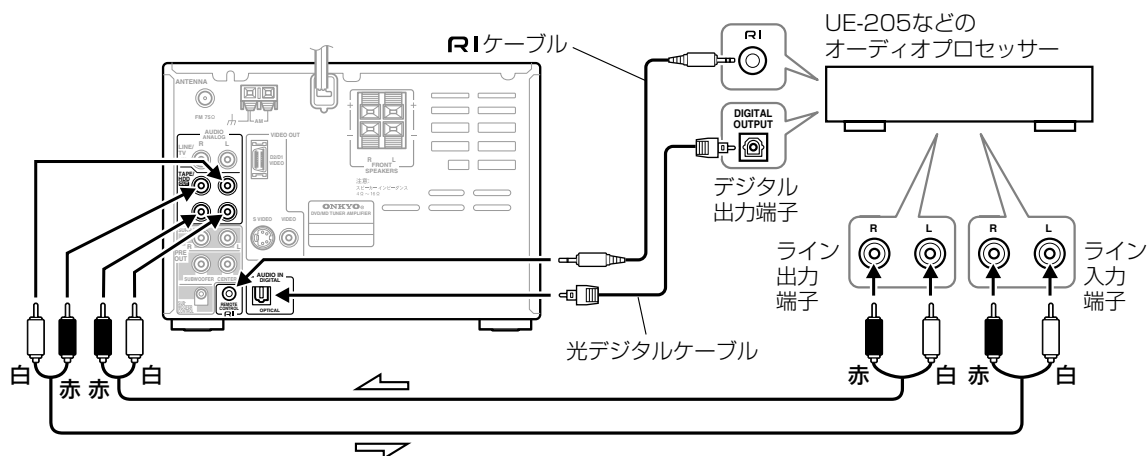
本機のTAPE/HDD OUT端子とCDレコーダーの音声入力端子を接続してください。
本機のTAPE/HDD IN端子とCDレコーダーの音声出力端子を接続してください。
CDレコーダーから本機MDにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機のAUDIO IN DIGITAL端子とCDレコーダーの光デジタル出力端子を接続します。

オンキヨー製CDレコーダーとRI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製CDレコーダーも操作できます。
- オンキヨー製CDレコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的にCD-Rに切り換わります。
- 外部入力の表示名称を「CD-R」にする必要があります。
- オーディオ用光デジタルケーブルとオーディオ用ピンコードを接続した場合は「DIGITAL」の表示名称を「CD-R/dig」にする必要があります。（☞30ページ。お買い上げ時の設定は「DIGITAL」になっています。）

外部機器を接続する

デジタル機器の音をFR-UN9/FR-UN7で聞く接続をする

本機のAUDIO IN DIGITAL端子とBSデジタルチューナーやパソコンなどのデジタル機器のデジタル音声出力端子を接続してください。

パソコンにデジタル音声出力端子がない場合、UE-205などのオンキヨー製パソコン用オーディオプロセッサーなどを接続すると、パソコンのデジタル音声を本機でお楽しみいただけます。

本機のAUDIO IN DIGITAL端子とオーディオプロセッサーのデジタル音声出力端子を接続します。
RI端子付きオンキヨー製オーディオプロセッサーと接続する場合は、本機のTAPE/HDD IN端子とオーディオプロセッサーのライン出力端子を接続します。本機のTAPE/HDD OUT端子とオーディオプロセッサーのライン入力端子を接続します。

：信号の流れ

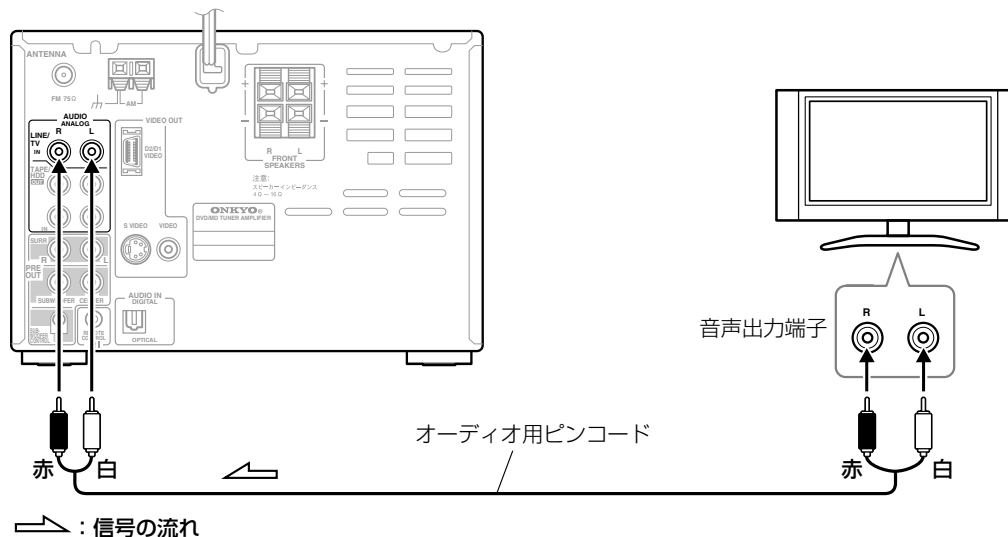
RI端子を接続すると以下の機能が使えます。

- オンキヨー製オーディオプロセッサーに付属のリモコンで本機の一部の操作ができます。（スタンバイ/オン、入力切り換え、音量調整、ミューティング、チューナー部操作、MD部操作、音質調整）

ご注意

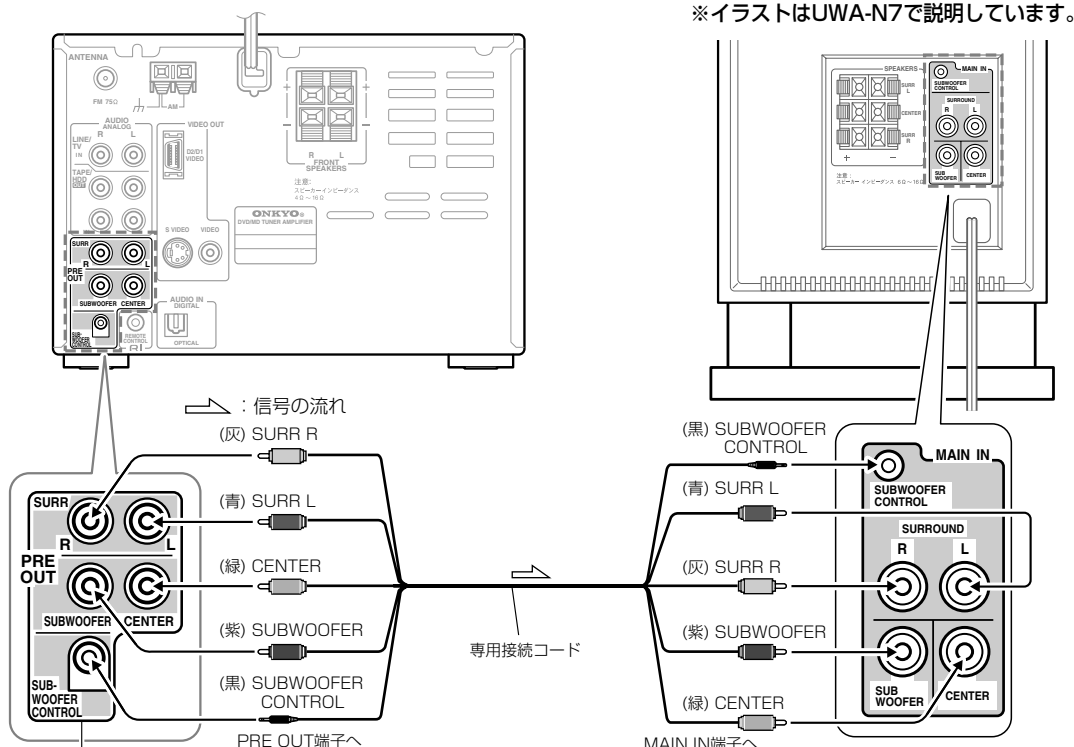
- 外部入力「TAPE」の表示名称を「PC」に変更する必要があります。（☞30ページ）
- 本機に付属のリモコンでオンキヨー製オーディオプロセッサーの操作はできません。
- オーディオ用光デジタルケーブルとオーディオ用ピンコードを接続した場合は「DIGITAL」の表示名称を「PC/dig」に変更する必要があります。
- オンキヨー製オーディオプロセッサーを経由してパソコン機器を再生すると、本機の入力が自動的に「PC」に切り換わります。

テレビの音をFR-UN9/FR-UN7で聞く接続をする

本機のLINE/TV IN端子とテレビの音声出力端子を接続してください。

別売りのUWA-9やUWA-N7と接続して5.1chにする

UWA-9/UWA-N7に付属の専用接続コードを使って、下図のように各端子を接続します。接続すると、本機は自動的にスピーカーが5個とサブウーファーが接続されていることを認識します。（センタースピーカー、サラウンドスピーカーの接続のしかたについては、UWA-9/UWA-N7の取扱説明書をご覧ください。）

※イラストはUWA-N7で説明しています。

ご注意

SUBWOOFER CONTROL端子に接続する際は、となりにある RI REMOTE CONTROL端子と間違えないように気をつけてください。

FR-UN9(18-28)(SN29344123) 27 05.9.8, 4:42 PM
ブラック

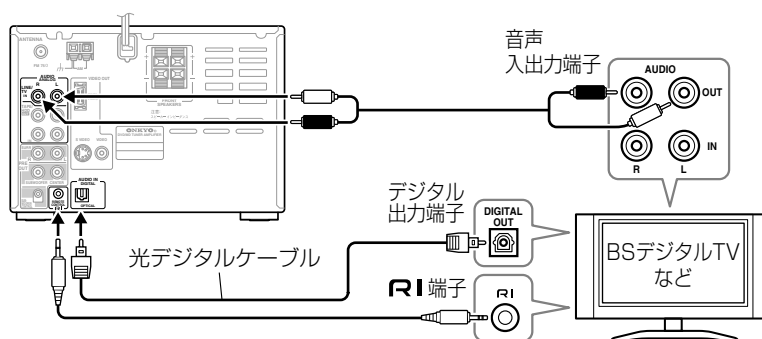
外部機器を接続する

RI オーディオコントロール端子付きテレビとの連動について

本機はRI端子を持つテレビと接続すると、次のような動作が可能になります。
テレビの電源を入れると本機も自動的に電源が入り、入力が切り換わります。
このとき、テレビの音は消え、本機に接続されたスピーカーから音が出ます。また、テレビの電源を切る（スタンバイにする）と、本機もスタンバイ状態になります。ただし、本機で他の入力を選んでいる場合は、スタンバイ状態にはなりません。

- テレビに付属のリモコンで本機の音量調整、ミューティング（消音）ができます。
- 本機をスタンバイ状態にすると、テレビの音が復帰し、テレビに付属のリモコンでテレビ側の機能（音量、消音）をコントロールできるようになります。

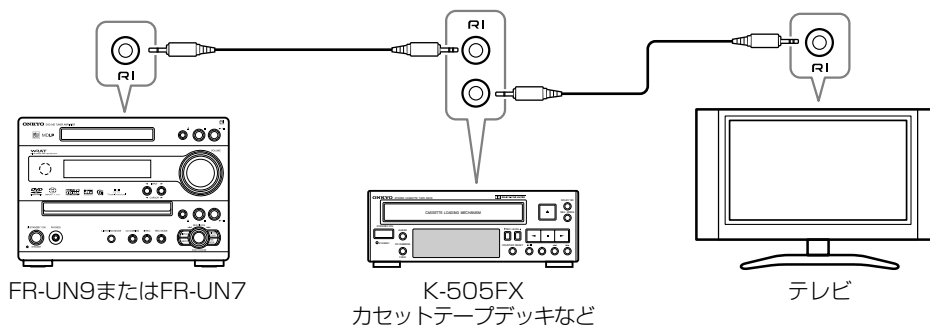
連動動作可能なテレビについては、テレビのカタログや取扱説明書で、RIオーディオコントロール端子が装備されているかどうかをご確認ください。本機にケーブルは付属していません。モノラルミニプラグコード（抵抗なし）を別途お求めください。

接続のしかた

設定のしかた

30ページを参照して設定を行ってください。

1. 本機の電源を入れる。
2. 本機のINPUT（インプット）◀/▶ボタンを（くり返し）押し、「LINE（ライン）」を表示させる。
3. EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、「Name（ネーム） Select（セレクト）?」を表示させる。
4. MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを押してから回し、「TV」を選ぶ。
5. MULTI JOGダイヤルを押す。
   - 光デジタルケーブルも接続した場合は、手順**2**〜**5**と同じ方法で入力の「DIGITAL（デジタル）」も「TV/dig」に設定します。

- 他のオンキヨー製品を接続する場合は、RIケーブルでRI端子どうしをつないでください。
- RI端子が2つある製品の場合、2つの働きは同じですのでどちらにでもつなげます。
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

FR-UN9またはFR-UN7　　K-505FX カセットテープデッキなど　　テレビ

電源を入れる

電源コードを接続する

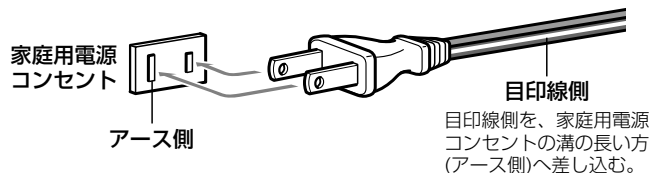
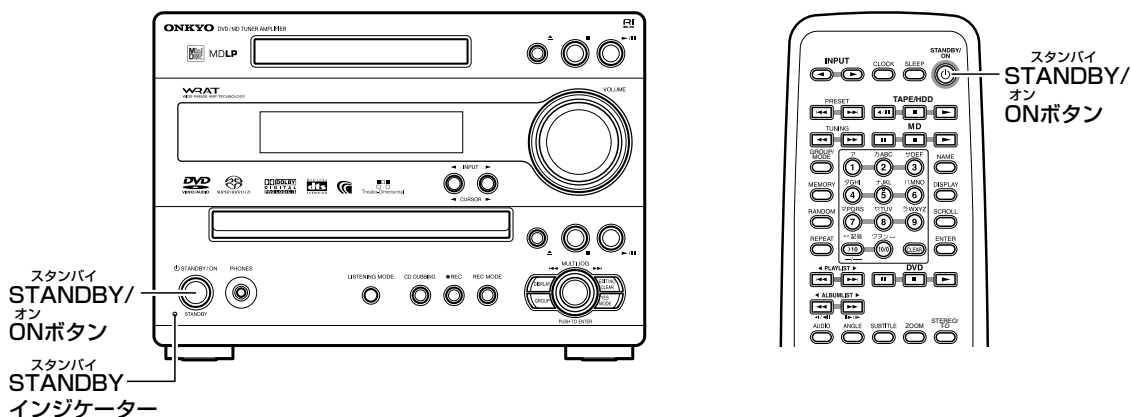
すべての接続が完了していることを確認してください。
電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態となり、STANDBYインジケーターが点灯します。

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。電源コードの片側に目印線の入っている側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

例：

電源を入れる

または

本体またはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押す

STANDBYインジケーターが消灯して電源が入ります。スタンバイ状態に戻すには、同じボタンをもう一度押します。

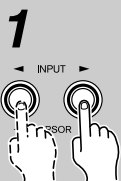
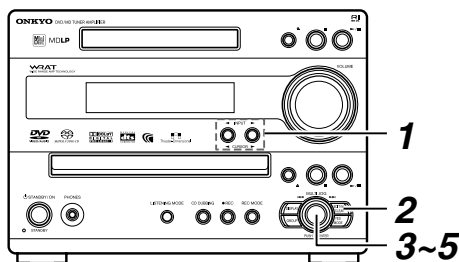
！ヒント

本機にRIケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続されているオンキヨー製CDレコーダーまたはカセットテープデッキの電源を入れたり、再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機のスタンバイとオンを切り換えると、接続されているこれらの機器の電源が入ったり、スタンバイ状態になります。

テレビの電源を入れて、32ページからの設定を行ってください。

外部入力機器の表示名称を変える

RI端子付きオンキヨー製品を接続した場合、ダイレクトチェンジなどのシステム動作を正しく行うために入力表示を切り換える必要があります。また、接続した外部機器に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。（☞24〜28ページ）

1

INPUT◀/▶ボタンを（くり返し）押して、名称を変える外部入力を選ぶ

TAPE、LINE、DIGITALから選べます。

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押して、「Name Select?」を表示する

3

MULTI JOGダイヤルを押す

4

MULTI JOGダイヤルを回して名称を選ぶ

入力による名称選択

TAPE ⇔ HDD ⇔ CD-R ⇕ PC※1 ⟺ MD2

LINE ⟺ TV※2 ⟺ GAME

DIGITAL ⇔ TV/dig※2 ⇔ CD-R/dig
⇕ ⇕
GAME/dig ⟺ PC/dig※1

変更をやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

※1 UE-205等、RI対応のオンキヨー製オーディオプロセッサーを接続したときに選択します。

※2 RIオーディオコントロール端子付きのテレビと接続したときに選択します。（☞28ページ）

5

MULTI JOGダイヤルを押して決定する

Complete

「Complete」が表示されます。
YES/MODEボタンを押しても同じです。

省略名称表示

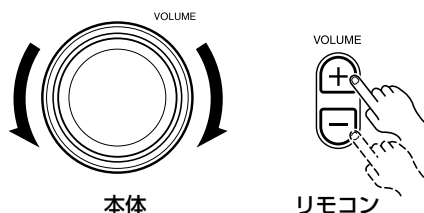
本機では入力の表示名称が省略される場合があります。そのような場合は、下の表で確認してください。

名称	省略名称
CD-R	CR
DIGITAL	DG
LINE	LI
MD2	M2
PC	PC
TAPE	TA
TV	TV
HDD（ハードディスク）	HD
GAME	GM

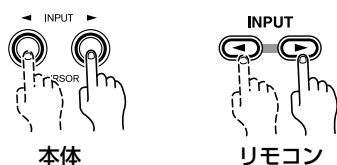
お知らせ

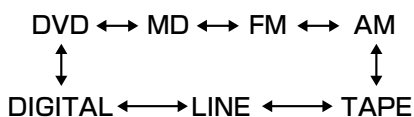
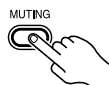
表示名称を変えたときに使用できるリモコンボタンについては、17ページをご覧ください。

基本の操作を理解する

音量を調節する

本体のVOLUMEつまみを回すか、リモコンのVOLUME+/−ボタンを押す

音量は基本的にMin·1·2····78·79·Maxまでの範囲で調整できます。
UWA-9またはUWA-N7を増設しているときは、「73·Max」となります。

入力を切り換える

本体またはリモコンのINPUT◄/►ボタンを押して切り換える

本機の入力にはDVD、MD、FM放送、AM放送、TAPE、LINE、DIGITALがあります。
ボタンを押すごとに、入力が以下のように切り換わります。

音量を一時的に小さくする

リモコンのMUTINGボタンを押す

MUTING表示が点滅し、音量がごく小さくなります。

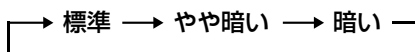
解除するには…
もう一度MUTINGボタンを押します。

- 音量を変えたり、STANDBY/ONボタンを押した場合にも解除されます。

表示部の明るさを変える

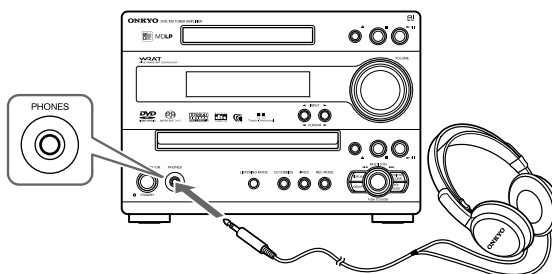
リモコンのDIMMERボタンを押す

押すたびに、表示部の明るさが以下のように切り換わります。

→ 標準 → やや暗い → 暗い

ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンのステレオミニプラグをPHONES端子に接続します。
接続するときは、音量を下げてください。
ヘッドホンを接続するとスピーカーの音声は消えます。

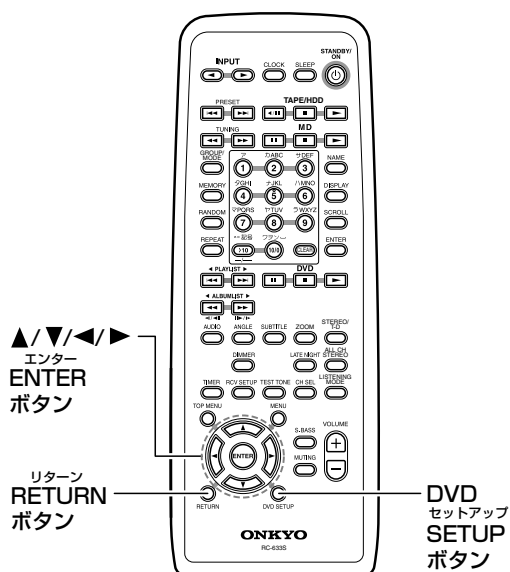
！ヒント

「Mono」、「Direct」または「Multich」以外のリスニングモードを選択している場合は、ヘッドホンを接続すると自動的に「ステレオ」になります。「Multich」の場合は、ダウンミックスされます。

DVDの基本設定

オンスクリーンディスプレイについて

本機は接続しているテレビの画面に各種再生操作、映像・音声などの各種設定操作を表示させ、テレビの画面上で簡単に操作ができるオンスクリーンディスプレイ機能を搭載しています。

画面表示について（HOME MENU画面）

画面下部に操作に対応するリモコンのボタンが表示されます。これらはリモコンや本体の以下のボタンに対応しています。また、画面下には選択している項目の簡単な説明が表示されますので、操作の参考にしてください。

リモコン	操作内容	画面表示
DVD SETUP	設定、終了	ホームメニュー
ENTER（▲/▼/◀/▶）	選択	◀▲▼▶
ENTER	決定	決 定
RETURN	戻る	表示無し または 戻 る

ワイドテレビをお使いの場合

ワイドテレビ（16：9）をお使いの場合、テレビ画面のタイプの設定をしてください。
従来の画面タイプのテレビ（4：3）をお使いの場合は、この設定をせずにお使いいただけます。詳しくは98ページをご覧ください。

1

停止中にリモコンのDVD SETUPボタンを押して設定画面を表示させる

2

▼ボタンで「初期設定」を選び、ENTERボタンを押す

3

▼ボタンで「映像出力」を選び、▶ボタンで「テレビ画面」を選ぶ

4

▶/▼ボタンで「16：9（ワイド）」を選び、ENTERボタンを押す

5

DVD SETUPボタンを押す

設定画面を終了させます。

スクリーンセーバーについて
本機の操作（本体またはリモコンで）を約5分間行わないと、テレビ画面にスクリーンセーバーが表示されます。

FR-UN9(29-36)(SN29344123) 32 05.9.9, 2:39 PM
ブラック

DVDやCDを再生する

再生を始める前に

- DVDビデオ、DVDオーディオ、SACD、ビデオCD、MP3/WMAディスク、JPEGディスク、音楽用CD以外は再生しないでください。
（☞「DVD、MDなどの予備知識」108～111ページ）
- ディスクを再生するときは、テレビの電源を入れ、テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えてください。
- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節して適正な状態にしてください。

本文の表記について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

DVD-V DVDビデオ
市販のDVDビデオ、またはビデオモード（DVDビデオフォーマット）にて記録されたDVD-R/RW

DVD-A DVDオーディオ
市販のDVDオーディオ

DVD-RW (VR) DVD-RW(VR)
VRモード（ビデオレコーディングフォーマット）にて記録されたDVD-RW

VCD ビデオCD
ビデオCD

SACD SACD
市販のSACD（スーパーオーディオCD）

CD CD(R/RW)
市販の音楽用CD、またはCDDAフォーマットで音楽が記録されたCD-R/RW

MP3 WMA MP3/WMA
WMAまたはMP3ファイルが記録されたCD-R/RW/ROM

JPEG JPEG
JPEGファイルが記録されたCD-R/RW/ROM

ご注意

- 再生中は本機を移動したり揺らしたりしないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。ディスクトレイが動いているときは、トレイに触れないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から押さないでください。また、本機で再生可能なディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- 映画などの再生が終わると、多くの場合メニュー画面があらわれます。メニュー画面を長く表示させているとそれがテレビ画面に焼き付いて、画面を傷める場合があります。これを避けるため、再生が終わったら、DVD/CD■（ストップ）ボタンを押してください。
- DVDのなかにはディスクをセットするだけで再生するものもあります。このようなディスクの場合、電源を入れるだけでも再生しますので、本機をスタンバイ状態にするときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

基本の再生をする
- 再生･停止･早送り/巻き戻し･スキップ
- 再生する曲や場面を数字ボタンで指定
- コマ送り
- スロー再生

→ 34-36ページ

ディスクナビゲーター機能を使って再生する
- ディスク内の内容をテレビ画面で見ながら再生する曲や場面を選ぶことができます

プレイモード機能を使って再生する
- 指定した部分だけをくり返し再生する（A−Bリピート）
- 曲や場面をくり返し再生する（リピート）
- 順不同に再生する（ランダム）
- お好みの順で再生する（プログラム）
- 見たい場面などを探して再生する（サーチモード）

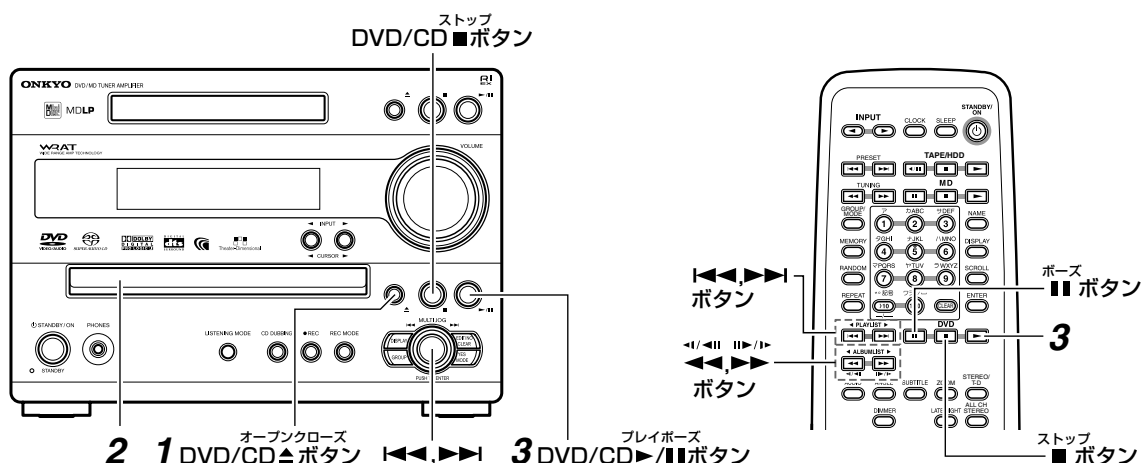
ディスクの情報を見る

その他の再生
- 画面を拡大する
- 音声を切り換える
- DVDの字幕言語を切り換える
- DVDのカメラアングルを切り換える
- ビデオCDのPBC再生
- JPEG画像を回転/反転させる

→ 44-47ページ

DVDやCDを再生する

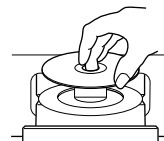
再生の手順

1

本体のDVD/CD▲（オープン/クローズ）ボタンを押して、ディスクトレイを開ける

DVD/CD▲ボタンを押すと、入力が自動的にDVDに切り換わります。

2

ディスクをディスクトレイに置く

ディスクの印刷面を上にします。
ディスクには2種類のサイズがあります。ディスクトレイのそれぞれのガイド内に収まるように置いてください。

3

本体

または

リモコン

本体のDVD/CD▶/II（プレイ/ポーズ）ボタンまたはリモコンのDVD/CD▶（プレイ）ボタンを押す

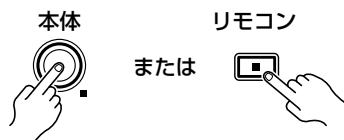
ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。

ディスクによっては、手順***2*** の後でDVD/CD▲（オープンクローズ）ボタンを押してディスクトレイを閉じると、自動的に再生が始まります。
- 表示部にセットしたディスクの種類が表示されます。

メニュー画面が表示されたら
再生を始めると最初にメニュー画面（ディスクメニュー）を表示するディスクがあります。ディスクメニューの内容や操作方法はディスクによって異なります｡ビデオCDのメニュー画面の操作法方については、47ページをご覧ください。メニュー画面が表示されたら、リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンやENTER（エンター）ボタンで操作してください。

画面の上下に黒い帯がつくDVDがあります。本機の故障ではありません。

再生を停止するには
本体のDVD/CD■（ストップ）ボタンまたはリモコンのDVDの■（ストップ）ボタンを押します。

リジューム/リジューム再生

または
本体のDVD/CD■(ストップ)ボタンまたはリモコンのDVDの■(ストップ)ボタンを押す

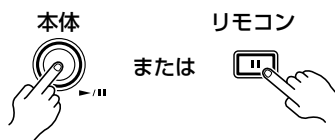
本体の表示部に「RESUME(リジューム)」と表示され、停止した場所を記憶します（リジューム機能）。
DVDビデオとビデオCDは、ディスクを取り出すとラストメモリー機能が働きます。次回、そのディスクを入れて本体のDVD/CD►/❚❚(プレイ/ポーズ)ボタンまたはリモコンのDVDの►(プレイ)ボタンを押すと、取り出す前に停止した場所から再生を始めます。（ラストメモリー機能）

止めたところから再生する（リジューム再生）
DVD/CD■ボタンを押してディスクを停止するとその場所を記憶するので、次回は続きから再生を開始します。（リジューム機能）。また、ディスクを取り出してもDVD5枚、ビデオCD1枚分の停止した場所を記憶しています。（ラストメモリー機能）。次回、そのディスクを入れると、取り出す前に停止した場所から再生を始めます。
停止中にDVD/CD■ボタンをもう一回押すと、リジューム機能またはラストメモリー機能が解除され、次に再生するときは、ディスクの最初から開始します。

！ヒント

- ラストメモリー機能では、6枚目のディスクを記憶すると前のディスクの古いメモリーから消去されます。
- ラストメモリーを記憶させたくない場合は、DVD/CD■ボタンを押さずに本体のDVD/CD▲(オープン/クローズ)ボタンでディスクを停止させて、取り出してください。

再生を一時停止する

DVD-V DVD-A DVD-RW(VR) VCD SACD CD MP3 WMA JPEG

または
再生中に本体のDVD/CD►/❚❚(プレイ/ポーズ)ボタンまたはリモコンのDVDの❚❚(ポーズ)ボタンを押す

再生を再開するには、同じボタンをもう1度押してください。

> **スクリーンセーバー画面があらわれたときは…**
> ディスク再生中、一定時間以上一時停止（ポーズ）状態にしておくと、スクリーンセーバーが働きます。
> 本体のDVD/CD►/❚❚(プレイ/ポーズ)ボタンまたはリモコンのDVDの❚❚ボタン（または►(プレイ)ボタン）を押すと再生が始まります。

ディスクを取り出す（本体操作）

DVD-V DVD-A DVD-RW(VR) VCD SACD CD MP3 WMA JPEG

本体のDVD/CD▲(オープン/クローズ)ボタンを押して、ディスクトレイを開く

ディスクトレイが完全に開いたら､デイスクを取り出します。
その後、再度DVD/CD▲ボタンを押してディスクトレイを閉じてください。

！ヒント

他の入力ソースを聞いているときにDVD/CD▲ボタンを押すと、入力がDVDに切り換わりますので、ご注意ください。

早送り、早戻しをする（リモコン操作）

DVD-V DVD-A DVD-RW(VR) VCD SACD CD MP3 WMA

再生中にリモコンの►►ボタンまたは◄◄ボタンを押す

ボタンを押すごとに早さを4段階まで切り換えることができます。
- 通常の再生に戻すにはDVD►ボタンを押します。

頭出し（スキップ ）する

DVD-V DVD-A DVD-RW(VR) VCD SACD CD MP3 WMA JPEG

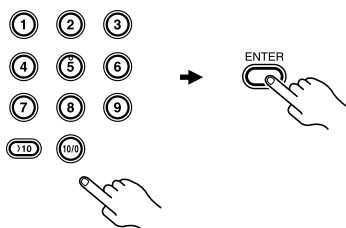
再生中に操作します。

再生中に本体のMULTI JOGダイヤルを回すかリモコンの|◀◀/▶▶|ボタンを押す

回した回数または押した回数だけチャプター/トラックをスキップします。

- ビデオCD のPBC再生中（☞47ページ）は、ディスクによって操作する方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

再生したいタイトル/チャプター/トラックを指定する（リモコン操作）

DVD-V DVD-A DVD-RW(VR) VCD SACD CD

数字ボタンでタイトル/チャプター/トラックの番号を入力して、ENTERボタンを押す

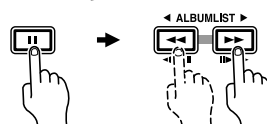
再生中のタイトル/チャプター/トラック指定の種類

DVDビデオ	DVD-RW(VR)	DVDオーディオ SACD ビデオCD CD(R/RW)
チャプター指定	タイトル指定	トラック指定

！ヒント

- ENTERボタンを押さなくても、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- DVDビデオのチャプター指定では、再生中のタイトル内のチャプターのみを指定することができます。
- タイトル/チャプター/トラックを指定できないディスクがあります。
- ディスク停止中に、タイトル/チャプター/トラック指定を行うと、DVDビデオはタイトル指定に、DVDオーディオはグループ指定になります。

コマ送り/コマ戻し再生をする（リモコン操作）

DVD-V DVD-A DVD-RW(VR) VCD

再生中にDVDの❚❚ボタンを押して一時停止させ、▶▶ボタンまたは◀◀ボタンを押す

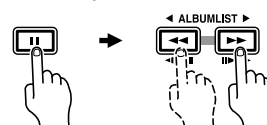
通常の再生に戻すには

DVDの▶ボタンを押します。

！ヒント

- ビデオCDは逆方向のコマ送りができません。
- コマ送り再生は音声が出力されません。
- コマ送り再生できないディスクもあります。
- 再生方向を変更したとき、一瞬映像が動くことがあります。
- 逆方向のコマ送り再生中、映像が揺れることがあります。

映像をスローで見る（リモコン操作）

DVD-V DVD-RW(VR) VCD

再生中にDVDの❚❚ボタンを押して一時停止させ、◀◀(◀❚/◀❚❚)ボタンまたは▶▶(❚❚▶/❚▶)ボタンを押し続ける

- 画面にスローの表示が出たら、手を離してもスロー再生を続けます。
- スロー再生中、ボタンを押すごとに速さを4段階まで切り換えることができます。

通常の再生に戻すには

DVDの▶ボタンを押します。

！ヒント

- ビデオCDは逆方向のスロー再生ができません。
- スロー再生中は音声が出力されません。
- スロー再生のできないディスクもあります。

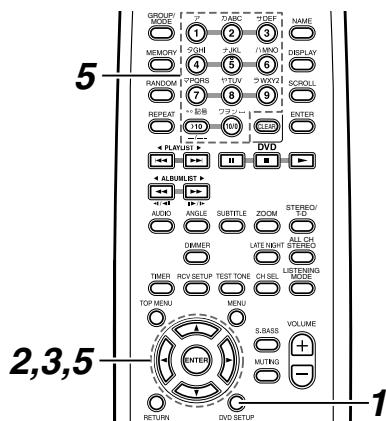
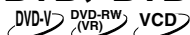
DVDやCDのいろいろな再生

ディスクナビゲーターを使って再生する

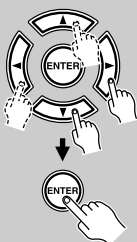
ディスクナビゲーターを使うとディスクの内容をテレビ画面で見ながら、再生するタイトル/チャプター/トラックを選ぶことができます。

DVD、DVD-RW、ビデオCDの場合

DVD-V DVD-RW (VR) VCD

1

ディスクを入れ、DVD SETUPボタンを押して、設定画面を表示する

DVD SETUP

2

▲/▼/◀/▶ボタンで「ディスクナビゲーター」を選び、ENTERボタンを押す

！ヒント

MENUボタンでディスクナビゲーター画面を表示することもできます。

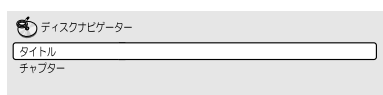
3

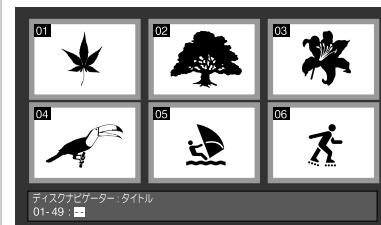
▲/▼ボタンで種類を選ぶ

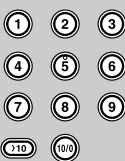
ディスクナビゲーター
タイトル
チャプター

DVDビデオ	DVD-RW(VR)	ビデオCD
タイトル チャプター	オリジナル：タイトル オリジナル：時間 プレイリスト:タイトル プレイリスト：時間	トラック 時間

！ヒント

「時間」を選ぶと、10分おきの画像を表示します。

4

先頭の画面が6枚ずつ表示されるので、再生したいタイトルなどを探す

- ▶▶❙ボタンを押すと、次の6枚に切り換わります。（❙◀◀ボタンで戻ります。）
- DVD SETUPボタンを押すと、ディスクナビゲーター画面が終了します。
- RETURNボタンを押すと、ディスクナビゲーターの種類を選択する画面に戻ります。

5

数字ボタンで番号を入力して、ENTERボタンを押す

画面にカーソルを合わせて、ENTERボタンを押しても再生することができます。

！ヒント

- ビデオCD のPBC再生中はディスクナビゲーター画面を表示することはできません。47ページの「メニュー画面を出さずに再生するには」を参考に、PBC再生を解除してください。
- DVDレコーダーで録画して作られたタイトルを「オリジナル」、オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」といいます。
- プレイリストが作成されていないときは、「プレイリスト」を選ぶことはできません。
- 一部の DVDビデオ では、ディスクナビゲーターが使用できない場合があります。

WMA、MP3、JPEGの場合 MP3 WMA JPEG

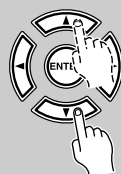
1 ディスクを入れ、DVD SETUP（セットアップ）ボタンを押して、設定画面を表示する

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで「ディスクナビゲーター」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

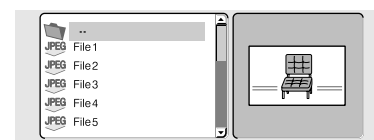
！ヒント

MENU（メニュー）ボタンでディスクナビゲーター画面を表示することもできます。

3 ▲/▼ボタンでフォルダを選び、ENTERボタンを押す

半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダ/トラック／ファイル名は文字化けしたり、「F_001」/「T_001」/「FL_001」のように表示されることがあります。

4 ▲/▼ボタンで再生したいトラック/ファイルを選ぶ

MP3/WMA の場合

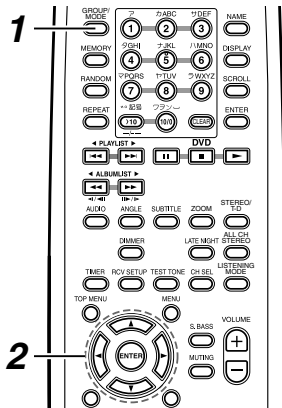
JPEG の場合

- JPEG でファイルにカーソルを合わせると、選ばれているファイルの画像が表示されます。
- ◀ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

5 ENTERボタンを押す

- 選んだトラック/ファイルから再生が始まります。
- JPEG では、画像が次々に表示されます。（スライドショー）
- スライドショーで表示される画像のアスペクト比が異なるときは、画像の縦、または横に黒帯が出ることがあります。
- SETUPボタンを押すと、ディスクナビゲーター画面は終了します。

！ヒント

- MP3/WMA JPEG では、ディスク情報の読み込み中に、画面に「読込中」と表示されます。表示が消えてから再生してください。
- ‥を選びENTERボタンを押しても、上の階層に戻すことができます。
- ディスクナビゲーターを使うと、フォルダごとの再生となります。フォルダをまたいで再生したいときは、ディスクをセットしたあとに、DVDの▶（プレイ）ボタンを押して再生を始めてください。

プレイモードを使ったいろいろな再生

ご注意

ビデオCDのPBC再生はプレイモード画面を表示することができません。47ページの「メニュー画面を出さずに再生するには」を参考に、PBC再生を解除してから操作してください。

1

GROUP/MODE（グループ/モード）ボタンを押して、プレイモード画面を表示させる

- ディスクメニューを表示中はプレイモード画面を表示することができません。

2

▲/▼ボタンで項目を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

A−Bリピート：再生中の指定した範囲をくり返し再生します。

リピート　：くり返し再生します。

ランダム　：順不同に再生します。

プログラム　：好みの順番で再生します。

サーチモード：見たい場面などを探して再生します。

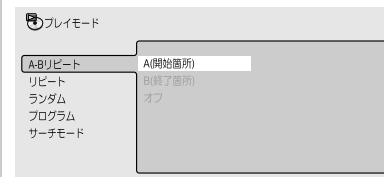
！ヒント

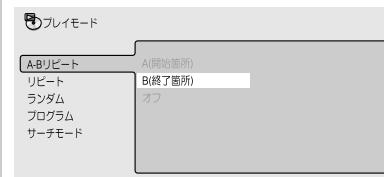
プレイモード画面はDVD SETUP（セットアップ）ボタンを押して、設定画面から表示することもできます。

A−Bリピート再生（指定した部分だけをくり返し再生する） DVD-V DVD-RW (VR) VCD CD

再生中にプレイモード画面を表示させ、「A−Bリピート」を選んでください。
A−Bリピート再生をするときは、CDの場合でも画面を見ながら操作してください。

1

「A（開始箇所）」を選び、くり返したい始めの場所で、ENTERボタンを押す

2

「B（終了箇所）」を選び、くり返したい終りの場所で、ENTERボタンを押す

ＥＮＴＥＲボタンを押すと、自動的に「A（開始箇所）」に戻りA−Bリピート再生が始まります。

ご注意

- 異なるタイトルをまたいでA−Bリピート再生をすることはできません。
- A−Bリピート再生ができないディスクもあります。

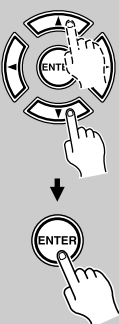
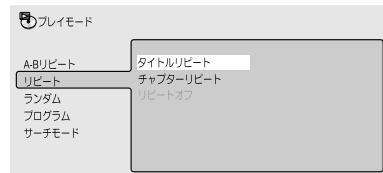
通常の再生に戻すには

「オフ」を選び、ENTERボタンを押します。

DVDやCDのいろいろな再生

リピート再生（くり返し再生する）

DVD-V DVD-A DVD-RW(VR) VCD SACD CD

再生中にプレイモード画面を表示させ、「リピート」を選んでください。

再生中にリピート再生の種類を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

選んだ種類のリピート再生が始まります。

リピート再生の種類

タイトルリピート
グループリピート
チャプターリピート
ディスクリピート
トラックリピート
プログラムリピート

- リピート再生の種類は再生しているディスクによって異なります。

！ヒント

- プログラム再生中にリピートモードにすると、プログラムをくり返し再生します。
- リピート再生できないディスクもあります。
- ビデオCD のPBC再生はプレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから操作してください。（☞47ページ）

通常の再生に戻すには

ディスクを停止するか、「リピートオフ」を選び、ENTERボタンを押します。

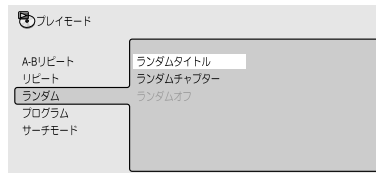
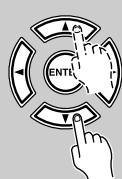
！ヒント リモコンのREPEAT（リピート）ボタンをくり返し押すと、プレイモード画面を使わずに直接リピート再生の種類を選ぶことができます。画面の右上にその時のリピート再生の種類が表示されます。

ランダム再生（順不同に再生する）

DVD-V DVD-A VCD SACD CD

再生中にプレイモード画面を表示させ、「ランダム」を選んでください。

1

ランダム再生の種類を選び、ENTERボタンを押す

選んだ種類のランダム再生が始まります。

ランダム再生の種類

ランダムタイトル：
　タイトルを順不同に再生します。
ランダムチャプター：
　チャプターを順不同に再生します。
ランダムグループ：
　グループを順不同に再生します。
ランダムトラック：
　再生中のグループ内のトラックを順不同に再生します。
ランダムオール（ランダムオン）：
　ディスク内のトラックを順不同に再生します。

- ランダム再生の種類は再生しているディスクによって異なります。

！ヒント

- ディスクを停止するか、「ランダムオフ」を選択するまで、ランダム再生を続けます。
- ランダム再生中にリモコン中央部の▶▶|ボタンを押すと、順不同に次のタイトルなどを選択して再生します。また、|◀◀ボタンを押すと、現在再生中のタイトルなどの始めに戻り再生します。
- 現在再生中のタイトルなどより前のタイトルなどに戻ることはできません。
- ランダム再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。
- ランダム再生できないディスクもあります。
- 毎回ランダムに選ぶため、同じタイトルなどを何度も再生することがあります。
- ビデオCD のPBC再生中はプレイモード画面を表示することができません。47ページの「メニュー画面を出さずに再生するには」を参考に、PBC再生を解除してから操作してください。

通常の再生に戻すには

ディスクを停止するか、「ランダムオフ」を選び、ENTERボタンを押します。

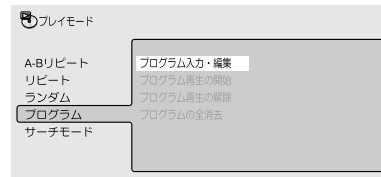
！ヒント リモコンのRANDOM（ランダム）ボタンをくり返し押すと、プレイモード画面を使わずに直接ランダム再生の種類を選ぶことができます。画面の右上にその時のランダム再生の種類が表示されます。
DVDビデオの場合は、RANDOMボタンで選択したあと、リモコン左下のENTERボタンで確定してください。

プログラム再生(お好みの順で再生する)

DVD-V DVD-A VCD SACD

再生中にプレイモード画面を表示させ、「プログラム」を選んでください。
- CDの場合で、本体表示部を見ながら操作するときは、42ページをご覧ください。

1

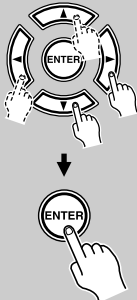
「プログラム入力・編集」を選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

プログラム入力画面が表示されます。
プログラム入力画面はセットしているディスクの種類により異なります。

DVDビデオの場合

プログラム　現在　タイトル:04 チャプター:009
プログラムステップ　タイトル 1-04　チャプター 1-017
01.　タイトル 01　チャプター 001
02.　タイトル 02　チャプター 002
03.　タイトル 03　チャプター 003
04.　タイトル 04　チャプター 004
05.　チャプター 005
06.　チャプター 006
07.　チャプター 007
08.　チャプター 008

！ヒント

リモコンのMEMORY(メモリー)ボタンを押すと、プレイモード画面で選ばなくてもプログラム画面を表示させることができます。

2

▲/▼/◀/▶ボタンで希望のタイトル/チャプター/グループ/トラックを選び、ENTERボタンを押す

タイトルの中に入っているチャプターを選ぶ場合は、▶ボタンでカーソルをチャプターの項に移動し、▲/▼ボタンで希望のチャプターを選び、ENTERボタンを押します。
- 選んだタイトルおよびチャプターがプログラムステップの項に表示されます。

ご注意

プログラム入力中にRETURN(リターン)ボタンを押すと、プログラムした内容が無効になります。

3

手順*2* をくり返し、希望のタイトルまたはチャプターをプログラムする

最大24ステップまでプログラムすることができます。

4

DVDの▶(プレイ)ボタンを押してプログラム再生を始める

プログラム再生しないでプログラム画面を終了するには、GROUP(グループ)/MODE(モード)ボタンまたはDVD SETUP(セットアップ)ボタンを押します。(RETURN(リターン)ボタンを押すと、プログラムが消去されますのでご注意ください。)

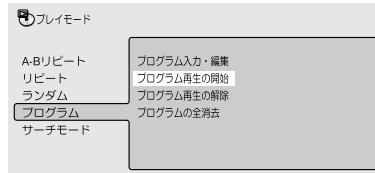
！ヒント

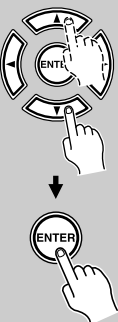
- タイトルなどが変わるときに、プログラムしていないタイトルなどの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。
- プログラム再生をリピートする(くり返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の**[リピート]**から**[プログラムリピート]**を選択します。(☞40ページ)
- プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。
- プログラム再生中にリモコン中央部の▶▶|ボタンを押すと、次のプログラムステップのタイトル/チャプターを再生します。
- ビデオCDのPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。47ページの「メニュー画面を出さずに再生するには」を参考に、PBC再生を解除してから操作してください。

ご注意

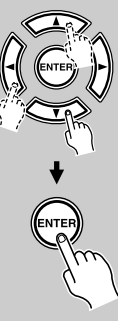
ディスクを取り出したときや本機をスタンバイ状態にしたときは、プログラムが消去されます。

プログラムメニューのその他の機能

プレイモード画面を表示させ、「プログラム」を選んでください。

プログラム再生の開始
すでにプログラムされている内容を始めから再生します。

プログラム再生の解除
通常の再生に戻ります。
プログラム内容はそのまま残ります。

プログラムの全消去
プログラムされている内容をすべて消去します。

ステップの間にプログラムを追加するには

プレイモード画面を表示させ、「プログラム」を選んでください。

例： プログラムステップ02の前にタイトル1のチャプター7を追加するには

1

▲/▼ボタンで「プログラム入力・編集」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

すでにプログラムされているプログラム画面が表示されます。

プログラム
プログラムステップ
01. 01 － 001
02. 02 － 001
03. 03
04. 04 － 001
05.
06.
07.
08.
タイトル 1-04 / タイトル 01 / タイトル 02 / タイトル 03 / タイトル 04
チャプター 1-017 / チャプター 001 / チャプター 002 / チャプター 003 / チャプター 004 / チャプター 005 / チャプター 006 / チャプター 007 / チャプター 008

2

◀ボタンでプログラムステップに移動し、▲/▼ボタンでカーソルをプログラムステップ02に合わせてENTERボタンを押す

プログラム
プログラムステップ
01. 01 － 001
02. 02 － 001
03. 03
04. 04 － 001
05.
06.
07.
08.
タイトル 1-04 / タイトル 01 / タイトル 02 / タイトル 03 / タイトル 04
チャプター 1-017 / チャプター 001 / チャプター 002 / チャプター 003 / チャプター 004 / チャプター 005 / チャプター 006 / チャプター 007 / チャプター 008

3

▲/▼/▶ボタンでタイトル1のチャプター7を選び、ENTERボタンを押す

プログラムステップ02にタイトル1のチャプター7が追加されます。もともとプログラムステップ02にあったプログラムは追加したプログラムの後ろに移動します。

プログラムを消去するには

プレイモード画面を表示させ、「プログラム」を選んでください。

例： プログラムステップ02を消去する

1

▲/▼ボタンで「プログラム入力・編集」を選び、ENTERボタンを押す

すでにプログラムされているプログラム画面が表示されます。

プログラム
プログラムステップ
01. 01 － 001
02. 02 － 001
03. 03
04. 04 － 001
05.
06.
07.
08.
タイトル 1-04 / タイトル 01 / タイトル 02 / タイトル 03 / タイトル 04
チャプター 1-017 / チャプター 001 / チャプター 002 / チャプター 003 / チャプター 004 / チャプター 005 / チャプター 006 / チャプター 007 / チャプター 008

2

◀ボタンでプログラムステップに移動し、▲/▼ボタンでカーソルをプログラムステップ02に合わせる

プログラム
プログラムステップ
01. 01 － 001
02. 02 － 001
03. 03
04. 04 － 001
05.
06.
07.
08.
タイトル 1-04 / タイトル 01 / タイトル 02 / タイトル 03 / タイトル 04

3

CLEAR（クリア）ボタンを押す

プログラムステップ02のプログラムが消去され、その後にあったプログラムが1つ前にくり上がります。

！ヒント

プログラム再生しないでプログラム画面を終了するには、GROUP/MODE（グループ/モード）ボタンまたはDVD SETUP（セットアップ）ボタンを押して画面を消してください。

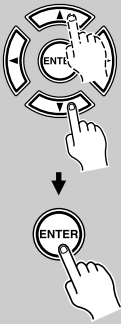
CDのプログラム再生をするには

1. **停止中に、MEMORY（メモリー）ボタンを押す**
2. **数字ボタンまたは▲/▼/◀/▶ボタンでトラックを選ぶ**
3. **リモコンのENTER（エンター）ボタンを押す**
4. **手順*1*～*3*をくり返し、希望のトラックをプログラムする**
   CLEAR（クリア）ボタンを押すと、最後に入力したトラックが取り消されます。
5. **▶（プレイ）ボタンを押す**
   再生が始まります。

● ■（ストップ）ボタンを押して停止させた後、CLEARボタンを押すと、「Mem.（メモリー） Clear（クリア）」と表示され、プログラムした内容がすべて消去されます。

サーチモード（見たい場面などを探して再生する）DVD-V DVD-A DVD-RW(VR) VCD SACD CD

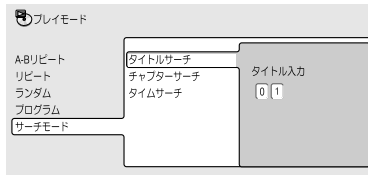
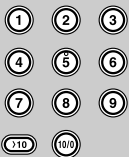
再生中にプレイモード画面を表示させ、「サーチモード」を選んでください。

1

▲/▼ボタンでサーチモードの種類を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

使用しているディスクによりサーチできる種類が異なります。

タイトルサーチ
チャプターサーチ
グループサーチ
トラックサーチ
タイムサーチ

CD(R/RW) とビデオCDでは、再生中のトラック内の時間を指定して再生します。DVDビデオは、再生中のタイトル内の時間を指定して再生します。

例：タイトルサーチを選んだとき

2

数字ボタンで再生したいタイトル/チャプター/グループ/トラックまたは時間を入力する

時間は「分」に換算して入力します。たとえば、1時間14分の場合は、74分00秒となります。

入力例：
3を選ぶには「3」を押します。
10を選ぶには「1」と「0」を押します。
37を選ぶには「3」と「7」を押します。
21分43秒を選ぶには「2」､「1」､「4」､「3」と押します。
74分00秒を選ぶには「7」､「4」､「0」､「0」と押します。

！ヒント

ディスクによっては、数字ボタンで直接選択できない場合があります。

3

ENTERボタンを押す

指定したタイトル/チャプター/トラックまたは時間から再生が始まります。

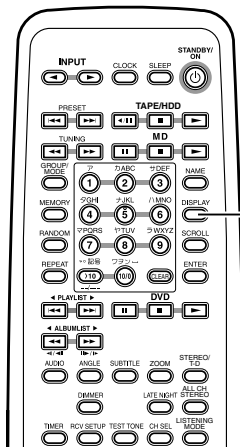
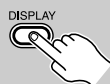
！ヒント

- DVDオーディオには、静止画が収録されているディスクがあります。静止画の種類によって、静止画の番号（ページ）を指定してサーチすることができます。
- DVDビデオでは、ディスクメニューで見たい場面を探す（サーチ）ことができるディスクがあります。この場合は、リモコンのMENU（メニュー）ボタンでディスクメニューを表示させてサーチしてください。

ご注意

- ビデオCD のPBC再生はプレイモード画面を表示することができません。47ページの「メニュー画面を出さずに再生するには」を参考に、PBC再生を解除してから操作してください。
- DVDオーディオ SACD ではタイムサーチができません。

ディスクの情報を見る

DVD-V DVD-A DVD-RW (VR) VCD SACD CD MP3 WMA JPEG

再生中にDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押す

ボタンを押すごとに経過時間や残量などのディスク情報が表示されます。

例：DVDビデオ
1回押すと･･･
タイトル情報画面

再生	►	DVDビデオ		チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
タイトル	1/3	0.12	138.47	138.59
音声	1. 英語 ドルビーデジタル3/2.1CH	字幕	2. 日本語	アングル 1

現在再生中のタイトルの情報が表示されます。

- ディスクによっては、DISPLAYボタンを押すごとに表示内容が切り換わります。
- DISPLAYボタンを数回押すと、表示が「オフ」になります。

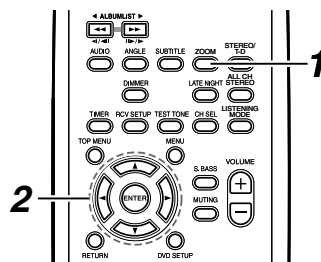
！ヒント

ビデオCD のPBC再生中は、一部の情報が表示されません。47ページの「メニュー画面を出さずに再生するには」を参考に、PBC再生を解除してください。

画面をズーム（拡大）するには

DVD-V DVD-RW (VR) VCD JPEG

再生中、一時停止中に好みの部分をズーム（拡大）することができます。

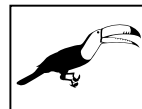
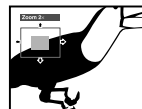
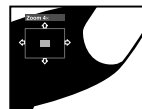
1

再生中、一時停止中にZOOM（ズーム）ボタンを押して、画面をズーム（拡大）する

ズームエリア（拡大する場所）が左上に表示されます。
ボタンを押すたびに下記のように切り換わります。

→2×（2倍）→ 4×（4倍）→ 標準 ─

標準

2×（2倍）

4×（4倍）

＊JPEG（ジェイペグ）の場合、ズームエリアは表示されません。

2

ズームエリア表示中に▲/▼/◀/▶ボタンでカーソルを好みの場所に移動する

ご注意

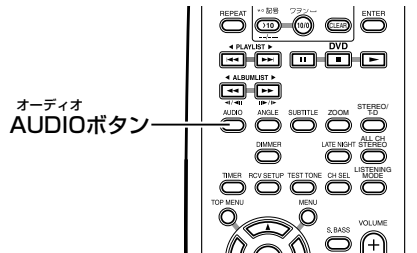
- 約5秒間ボタン操作がないと、ズームエリアが消えます。さらに倍率を変えたいときは、もう一度ZOOMボタンを押してズームエリアを表示してください。
- ズーム中は字幕が表示されません。
- DVDのメニュー画面を表示中に映像をズームすると、項目を選択することができません。通常の映像に戻してから、選択してください。

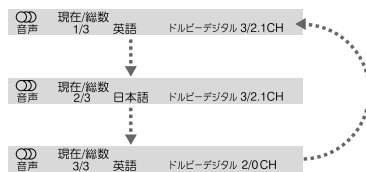
！ヒント

- JPEG では、DVDの▶（プレイ）ボタンを押してスライドショーに戻すこともできます。
- 拡大すると画像精度は、粗くなります。

音声を切り換える

DVD-V DVD-A DVD-RW (VR) VCD CD

複数の言語で音声が記録されているディスクでは、再生する音声言語を切り換えることができます。

再生中にAUDIO(オーディオ)ボタンを（くり返し）押して、希望の音声言語を選ぶ

例：

＊3/2.1CHはディスクに記録されている音声のチャンネル数です。

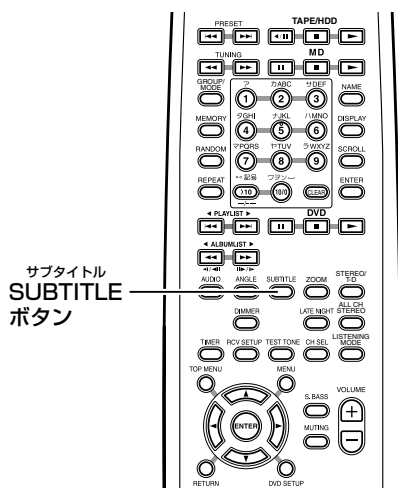
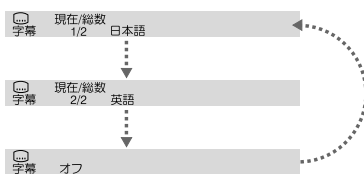
- DVDビデオの中にはディスクメニューから音声言語を選ぶディスクもあります。このような場合は、TOP MENU(トップ メニュー)ボタンを押してください。
- DVDオーディオ の再生中にAUDIOボタンで音声を切り換えると、そのトラックの始めから再生を行います。
- 音声言語の初期設定については「音声言語を設定する」（☞99ページ）をご覧ください。
- ディスクによっては音声を切り換えたとき、一瞬静止画になることがあります。
- ここで切り換えた音声の設定は、リジューム機能を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定に戻ります。

！ヒント

- ビデオCD CD(R/RW) では、ステレオ、左、右が切り換わります。
- 2ヵ国語で記録された DVD-RW(VR) では、主・副・主/副音声が切り換わります。

DVDビデオのいろいろな再生

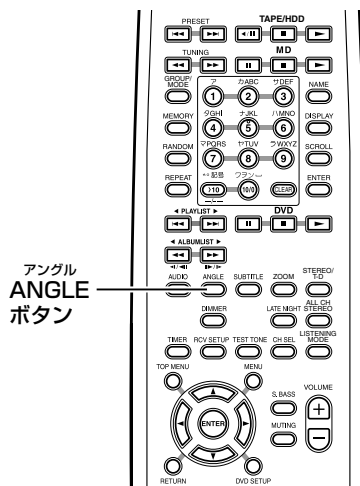
字幕言語を切り換える DVD-V

複数の言語で字幕が記録されているDVDビデオでは、表示する字幕を変更することができます。

再生中にSUBTITLE(サブタイトル)ボタンを（くり返し）押して、希望の字幕言語を選ぶ

＊字幕が収録されていないときは「_ _」（アンダーバー）が表示されます。

- DVDビデオの中にはディスクメニューからサブタイトルを選ぶディスクもあります。このような場合は、TOP(トップ) MENU(メニュー)ボタンを押してください。
- 字幕言語の初期設定については「字幕言語を設定する」(☞99ページ）をご覧ください。
- ここで切り換えた字幕言語の設定は、リジューム機能を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定に戻ります。

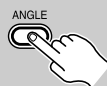
カメラアングルを切り換えるには DVD-V

複数の方向（アングル）から映した映像を収録したDVDビデオでは、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録されたDVDのジャケットにはマークが付いています。

1

マークが表示されたら、ANGLE(アングル)ボタンを押す

複数のアングルが収録されている場所にくると、マークがテレビ画面に表示されます。

アングル 現在/総数 2/4

2

さらにANGLEボタンを押して、お好みのアングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

テレビ画面上のマークを消すには…

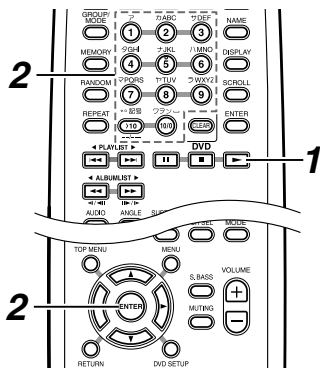
マークを表示させたくないときは、初期設定画面の「アングルマーク表示」を「オフ」にします（☞102ページ)。

！ヒント

- ディスクによってはマークが表示されてもアングルを切り換えることができないものがあります。
- ディスクのメニュー画面でアングルを切り換えることができるディスクもあります。

ビデオCDのいろいろな再生 VCD

メニュー画面から再生する（PBC再生）

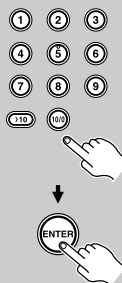
ビデオCDでは、メニュー画面に従って再生できるものもあります。これをPBC（プレイバックコントロール）再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。
ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

1

PBC再生対応ディスクを入れ、DVDの▶ボタンを押す

ビデオCDカラオケ

1	Stand up!	Rock
2	Hello!	Pops
3	Over the Mountain	R&B
4	Help Me!	Jazz
5	It's fine today	Pops

メニュー画面が表示されます。
- ディスクによって、表示内容が異なります。

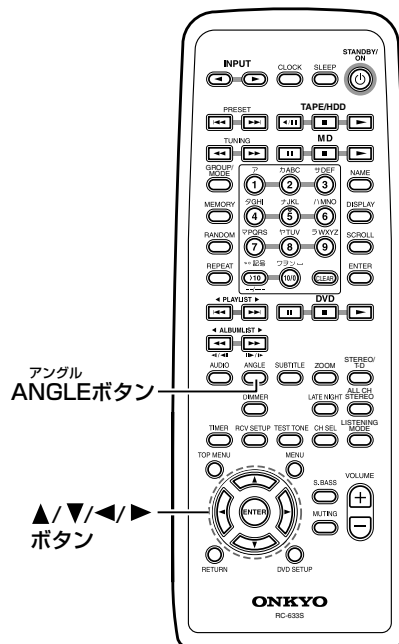
2

数字ボタンで再生したいトラックを選び、ENTERボタンを押す

再生を始めます。
- 再生中にRETURNボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

メニュー画面のページをめくる、または戻すには…
メニュー画面を表示中に▶▶▎ボタン、または▎◀◀ボタンを押します。

■メニュー画面を出さずに再生するには（PBC再生を解除して再生する）
以下の操作で再生してください。
- 停止中に数字ボタンで再生するトラックを選び、ENTERボタンを押す

JPEGのいろいろな再生 JPEG

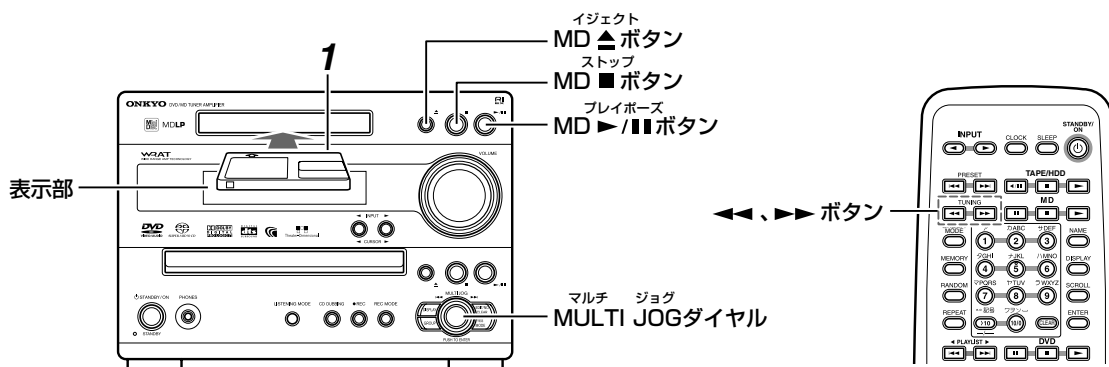
JPEG画像を回転/反転させる

▲/▼/◀/▶ボタンを押す

▶ボタン：押すたびに画像が右回りに90゜回転します。
◀ボタン：押すたびに画像が左回りに90゜回転します。
▲ボタン：画像の上下が反転します。
▼ボタン：画像の左右が反転します。

リモコンのANGLEボタンで操作することもできます。
ボタンを押すたびに、90゜ずつ右回りに回転します。

！ヒント

画像を回転しているときはスライドショーが一時停止します。通常のスライドショーに戻すには、ENTERボタンまたはDVDの▶ボタンを押します。

MDを再生する

1

MDをセットする

再生専用か、録音済みのMDを選んでください。
ラベル面を上に、矢印を本体の挿入口に向けて差し込みます。
軽く押すと自動的に引き込まれます。

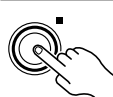
！ヒント

スタンバイ時はMDをセットすることができません。電源を入れてからMDを挿入してください。

2

MD►/❚❚ボタンを押す

再生が始まります。

再生を止める

MD■ボタンを押します。

一時停止する

MD►/❚❚ボタンを押します。
表示部に❚❚表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

MDを取り出す

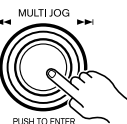
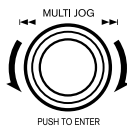
MD≜ボタンを押します。

聞きたい曲を選ぶ

再生中にMULTI JOGダイヤルを左に回すと再生中の曲の頭に戻り、さらに回すと1曲ずつ前に戻ります。右に回すと1曲ずつ次へ進みます。

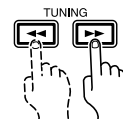
- 停止中は左に回すと1曲ずつ前の曲に戻り、右に回すと1曲ずつ次の曲に進みます。
- リモコンでは、再生中に❙◄◄ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻ります。
- 停止中は❙◄◄ ボタンを押すと1曲ずつ前の曲に戻り、►►❙ボタンを押すと1曲ずつ次の曲に進みます。

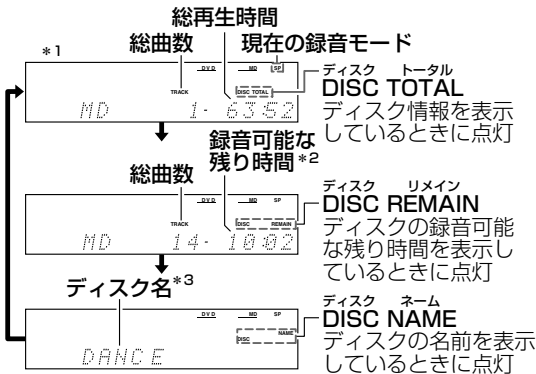
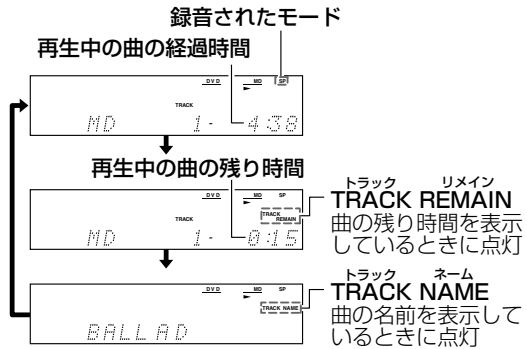
停止中はMULTI JOGダイヤルを押すと、再生が始まります。

- 再生中にMULTI JOGダイヤルを押すと、1曲ずつ次の曲に進みます。

リモコンで早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。

！ヒント

一時停止中の早戻し/早送りは音が出ません。表示部の経過時間で確認してください。

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

停止中

*1 なにも録音されていないMDのときは、「MD BlankDisc（ブランクディスク）」が表示されます。
*2 再生専用ディスクのときは表示しません。
*3 ディスクや曲に名前がついていないときは時間表示部がブランク（空白）になります。
「MD、登録した放送局に名前をつける」(☞92ページ)

再生中、一時停止中

● グループがある場合は、トラック名表示のあとにグループ名表示が追加になります。

ディスク名、曲名が長いときは

リモコンのSCROLL（スクロール）ボタンを押すと、全部の文字を順番に表示させることができます。

リモコンで操作する

聞きたい曲を選ぶ

※ 再生中、一時停止中に⏮ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに1つ前の曲になります。
※ ⏭ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

数字ボタン

選曲して再生する

>10は入力する位の指定、10/0は10もしくは0を表します。

例）曲番　押すボタン

曲番	押すボタン
8	8
10	10/0
34	>10、3、4
103	>10、>10、1、10/0、3

● グループがある場合の再生方法は、80ページをご覧ください。

MDを選ぶ

再生を一時停止する

一時停止したところから再生を始めるには、同じ⏸（ポーズ）ボタンまたは、MDの▶（プレイ）ボタンを押します。

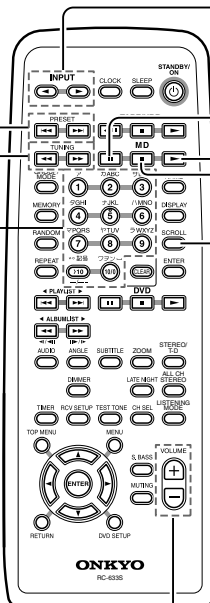
再生する

スタンバイ状態でMDがセットされていれば、自動的に電源が入り、再生が始まります。

再生を止める

長いディスク名/曲名をスクロール表示する

音量を調節する

VOLUME（ボリューム）＋ボタンを押すと音が大きく、VOLUME（ボリューム）－ボタンを押すと小さくなります。

MDのいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。

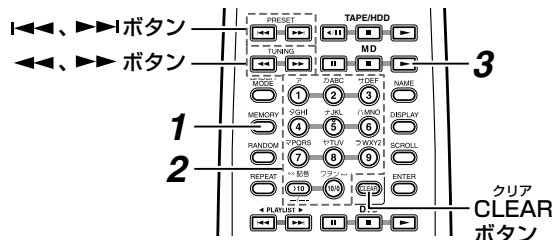
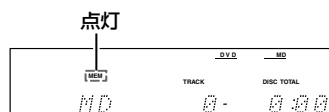
MEMORY(メモリー)再生

曲を指定し（25曲まで）、その順序で再生します。

入力がMDで停止中

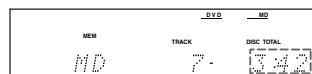
1

MEMORY(メモリー)ボタンを押して、「MEM(メモリー)」を表示させる

点灯

2

数字ボタンを押して曲を選ぶ

次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。

予約曲番

予約曲の合計再生時間

間違って予約した曲を取り消すには

CLEAR(クリア)ボタンを（くり返し）押すと、新しく入力したものから取り消されていきます。

！ヒント

予約時間の合計が以下の時間を越えると合計時間表示が不可能になりますが、MEMORY再生に支障はありません。
511分59秒を超えると「－－－：－－」となります。
26曲以上は予約できません。
「Memory(メモリー) Full(フル)」と表示されます。

3

MDの▶(プレイ)ボタンを押す

MEMORY再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。

予約した曲のなかで選曲する

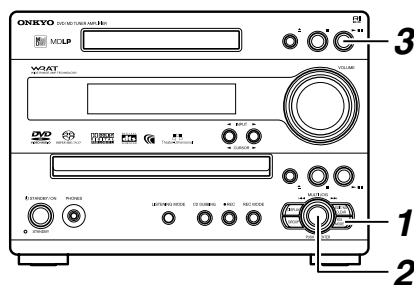
再生中に本体のMULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回すか、リモコン左上のPRESET(プリセット)⏮/⏭ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

停止中にリモコン左上のTUNING(チューニング)◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

- MEMORY再生モードの停止中に、CLEARボタンを(くり返し)押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。
- ディスクを取り出すと、記憶した内容は消えます。

本体で操作するには

1. YES(イエス)/MODE(モード)ボタンをくり返し押して、「MEM」を表示させる
2. MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回して曲を選び、ダイヤルを押して確定する
   次の曲を選ぶときは、本手順をくり返します。
3. MD▶/❙❙(プレイポーズ)ボタンを押す

通常再生に戻すには

入力がMDで停止中にリモコンのMEMORYボタンを押します。（本体のYES/MODEボタンを（くり返し）押して、「MEM」と表示されない状態にしても通常再生に戻ります。）

RANDOM再生

曲順をランダムに並べかえて、全曲を1通り再生します。

本体で操作するには

入力がMDで停止中

RANDOMボタンを押し、MDの►ボタンを押す

ランダム再生が始まります。

入力がMDで停止中

1

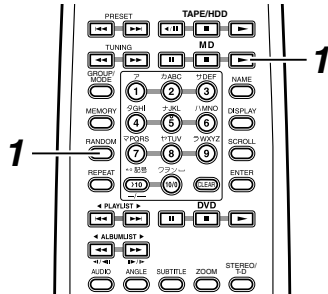
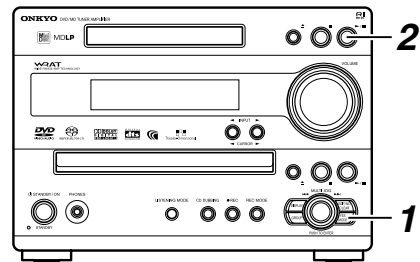
YES/MODEボタンを（くり返し）押して、「RDM」を表示させる

「RDM」が点灯

2

MD►/❚❚ボタンを押す

ランダム再生が始まります。

再生中の曲番

解除するには

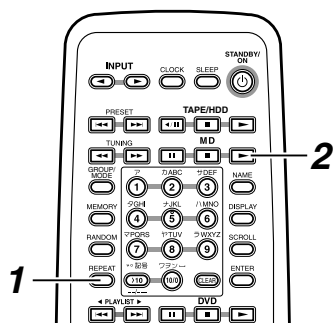
☞「通常再生に戻す」52ページ

- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

MDのいろいろな再生

REPEAT再生

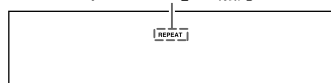
- リモコンで設定します。
- MDをくり返し再生します。
- MD1グループ再生（☞81ページ）、MEMORY再生、RANDOM再生、通常再生と組み合わせて使うことができます。

1

REPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」を表示させる

「REPEAT」が点灯

REPEAT

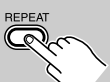
リピート再生モードになります。

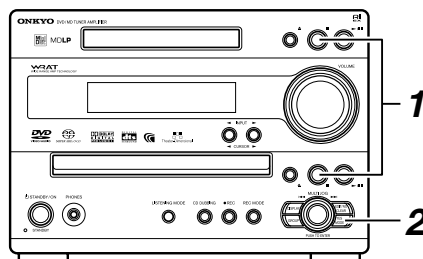
2

MDの▶ボタンを押す

リピート再生が始まります。

！ヒント

1曲だけをくり返し再生するには
① リモコンのREPEATボタンを（くり返し）押して「REPEAT 1」を表示する。
② 数字ボタンで好みの曲を選び、再生する。

リピート、REPEAT 1再生を取り消す

リモコンのREPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にする

通常再生にもどす

メモリー、ランダム再生を取り消す

1

または

DVD/CD■ボタンまたはMD■ボタンを押して再生を止める

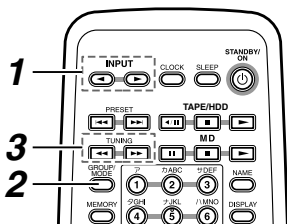
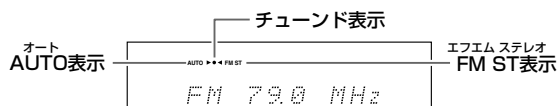
2

YES/MODEボタンを（くり返し）押して、「NORMAL」を点灯させる

「NORMAL」が点灯

FM/AM放送局を聞く

手動で周波数を合わせるときは

お好みの放送局を簡単に登録することができます。操作の前に電源を入れておいてください。

放送局を受信するとチューンド表示（▶●◀）が点灯します。
FMステレオ局を受信すると、FM ST表示が点灯します。

オートチューニングモード

1

入力をFMまたはAMにする

INPUT◀/▶ボタンを押して、FMまたはAMを選びます。

2

MODEボタンを押して「AUTO」表示を点灯させる

● 本体のYES/MODEボタンを押して、切り換えることもできます。

3

リモコン左上のTUNING◀◀/▶▶ボタンを押す

放送局を見つけると、停止します。

マニュアルチューニングモード

1

入力をFMまたはAMにする

INPUT◀/▶ボタンを押して、FMまたはAMを選びます。

2

MODEボタンを押して「AUTO」表示を消す

● 本体のYES/MODEボタンを押して、切り換えることもできます。

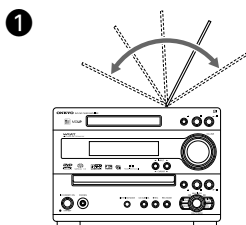
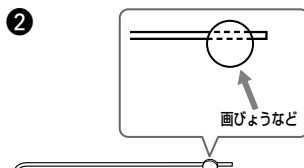
3

リモコン左上のTUNING◀◀/▶▶ボタンを押して周波数を合わせる

1回押すごとに周波数がFMでは0.1MHz、AMでは9kHzずつ変わります。
押し続けると周波数が連続して変化します。
指を離したところで周波数が止まります。

アンテナの調整をする

FM室内アンテナを調整して固定する

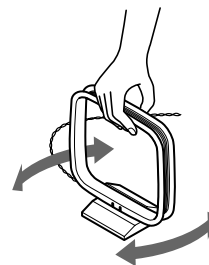
FM放送を聞きながらFMアンテナの調整をします。

アンテナの方向を変えて受信状態が良好になるように設置場所をみつける。

画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止める。

ご注意　画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

！ヒント

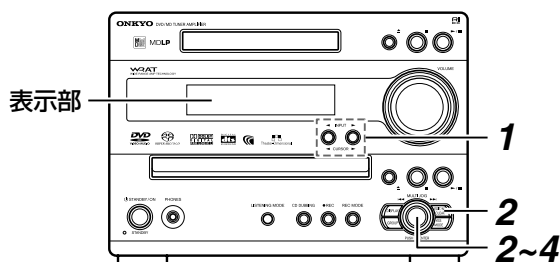
はずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。

AM室内アンテナを調整する

AM放送を聞きながら受信状態が良好になる位置に置き直したり、左右に回して調整します。

自動で登録する−オートプリセット−

登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局ができます。受信から登録まで、一括して自動（オート）で行えます。AM局は自動で登録できませんので、53ページをご覧ください。

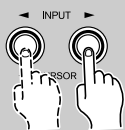
予備知識

- FMの受信周波数は76.0～90.0MHzです。また、本機は、テレビのVHF1～3CHの音声を受信することができます。
  表示部に「VHF 3CH」のように表示されます。
  テレビの音声周波数
  1CH：95.75MHz、2CH：101.75MHz、
  3CH：107.75MHz
- すでにFM局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録はすべて消え、新たに登録されます。

操作の前に

電源を入れてください。
FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。（☞53ページ）

ご注意

お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）がプリセットされることがあります。このようなチャンネルは削除してください。（☞59ページ）

1

INPUT（インプット）◀/▶ボタンを（くり返し）押して、「FM」を表示させる

2

EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押し、MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して「AutoPreset?（オートプリセット?）」を表示 させる

AutoPreset?

3

MULTI JOGダイヤルを押す

AutoPreset??

再確認のため、「AutoPreset??（オートプリセット??）」が表示されます。
中断するときはEDIT/NO/CLEARボタンを押してください。

4

MULTI JOGダイヤルを押す

FM 76.2 MHz 1

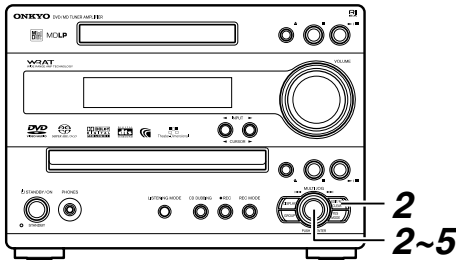
オートプリセットが始まります。
周波数の低い順から自動的に最大20局まで登録していきます。

！ヒント

登録したあとにこんなこともできます。

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞92ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞59ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞58ページ

1局ずつ登録する－プリセットライト－

AM局は周波数を手動で合わせて、1局ずつ登録します。（FMは、この方法と自動で登録する方法「オートプリセット」があります。）

操作の前に
電源を入れてください。

1 登録したい放送局を受信する

53ページを参考に、登録したい放送局を受信します。

2 EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押し、MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して「Preset Write?（プリセット ライト?）」を表示させる

3 MULTI JOGダイヤルを押す

登録するチャンネルが表示されます。
中断するときはEDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押します。

4 別のチャンネルに登録するときは、MULTI JOGダイヤルを回す

予 備 知 識

- FM、AM合わせて30チャンネルまで登録できます。例えば、FMで8チャンネル使っている場合はAMで22チャンネルまで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されますので、FMとAMに同じチャンネル番号があってもかまいません。
- 1局ずつ登録する場合は、お好みのチャンネル番号に登録することが可能です。例えばAMチャンネル2、5、9のようにすることができます。

5 MULTI JOGダイヤルを押して決定する

「Complete（コンプリート）」(完了）と表示されたときは

放送局がプリセットチャンネルに登録されました。

「Overwrite?（オーバーライト?）」(書き換えますか?）と表示されたときは

選んだチャンネル番号は登録済みです。

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、YES/MODE（イエス モード）ボタンを押します。
- 登録をやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

「Memory Full（メモリー フル）」と表示されたときは

FM、AM合わせてすでに30チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから（☞59ページ）、再度登録してください。

6 次を登録するときは、手順*1*～*5*をくり返す

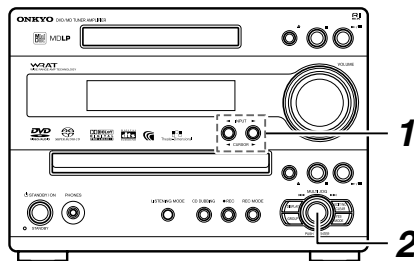
！ヒント

登録したあとにこんなこともできます。

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞92ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞59ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞58ページ

FM/AM放送局を聞く

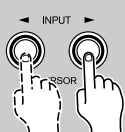
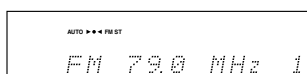
登録した放送局を選ぶ

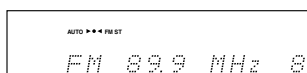
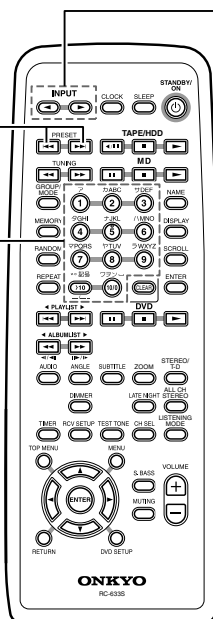
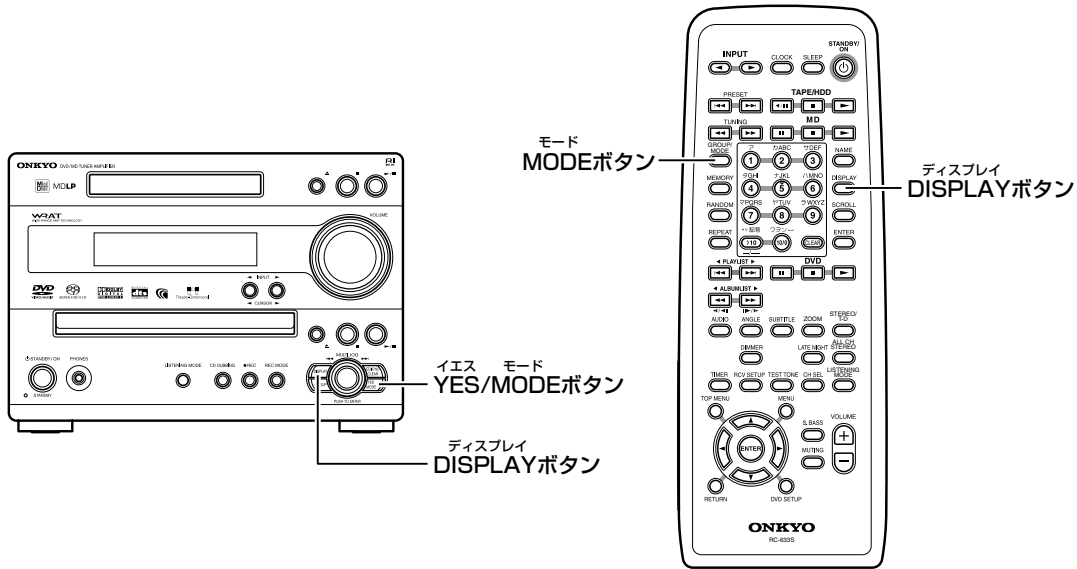
あらかじめ放送局を登録しておいてください。(☞54〜55ページ)

操作の前に
電源を入れてください。

1

入力をFMまたはAMにする

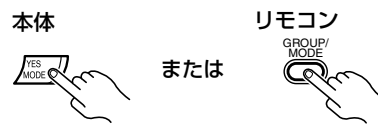
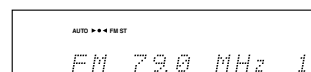
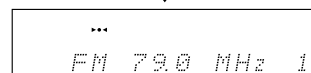
INPUT◀/▶ボタンを押して、FMまたはAMを選びます。

2

MULTI JOGダイヤルを回してプリセットチャンネルを選ぶ

左に回すと前のチャンネルを、右に回すと次のチャンネルを選べます。

リモコンで操作する

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

- 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name（ノー ネーム）」が表示され、周波数表示に戻ります。
  ☞「MD、登録した放送局に名前をつける」（92ページ）

FM放送を受信しにくいときは

電波の弱い所や雑音の多い所では本体のYES/MODE（イエス/モード）ボタンまたはリモコンのMODEボタンを押し、AUTO（オート）表示を消してモノラル受信にしてください。
雑音や音切れを軽減できます。
AUTO（オート）にもどすときは、同じボタンを再度押します。

FM/AMの登録した放送局を編集する

削除とコピーの2つの基本機能を使って、不要なチャンネルの削除、あるチャンネルに登録された放送局の別チャンネルへのコピー、チャンネル番号の変更などができます。

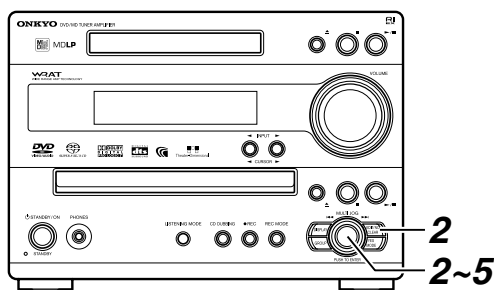
編集のヒント

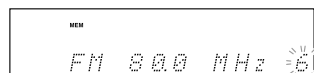
チャンネル番号を変更するには
コピーと削除機能を使います。
例えば、FMで4チャンネルに登録された放送局を6チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、
❶ 4チャンネルを6チャンネルにコピーする。
❷ 4チャンネルを削除する。
という手順で行うことができます。

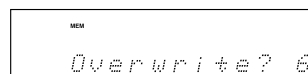
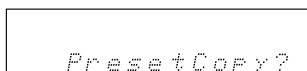
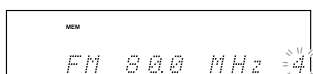
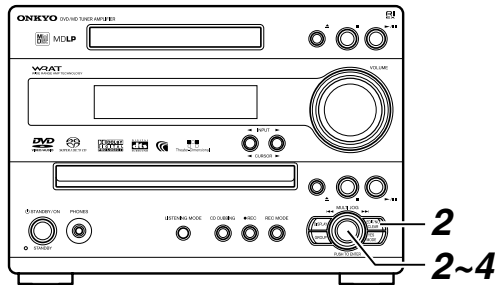
登録した放送局をコピーする

登録した放送局をコピーすると、放送局につけた名前（☞92ページ）も同時にコピーされます。

1 FMまたはAMの、コピーするチャンネルを呼び出す
例）4CH（チャンネル）、FM80.0MHzを選んだとき

2 EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押し、MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回し「Preset Copy?（プリセット コピー?）」を表示する

3 MULTI JOGダイヤルを押す

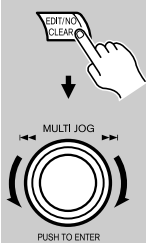
4 MULTI JOGダイヤルを回してコピー先のチャンネルを選ぶ

5 MULTI JOGダイヤル押す
放送局が指定のチャンネルにコピーされ、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。

「Overwrite?（オーバーライト?）」（書き換えますか?）と表示されたときは

選んだチャンネルは登録済みです。
- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、MULTI JOGダイヤルを押します。
- 書き換えをやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

登録した放送局を削除する

1

FMまたはAMの、削除するチャンネルを呼び出す

例）4CH（チャンネル）、FM80.0MHzを選んだとき

FM 80.0 MHz 4

2

EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回し「Preset（プリセット） Erase?（イレーズ?）」を表示する

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

3

MULTI JOGダイヤルを押す

再確認のメッセージが表示されます。

削除をやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

4

MULTI JOGダイヤルを押す

登録した放送局が削除され、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

リスニングモードを楽しむ

リスニングモードについて

本機のサラウンド再生によって、お部屋にいながら映画館やコンサートホールなどの臨場感あふれる雰囲気を味わっていただけます。 最適なサラウンド再生をお楽しみいただくためには、スピーカーの設定を行う必要があります。（☞106ページ）本機には以下のリスニングモードがあります。

Mono（モノ）

モノラル信号で収録された古い映画を再生したり、2言語が記録されているソースを左右のチャンネルを独立して再生するモードです。DVDなどに記録された音声多重のサウンドトラックに適しています。

Ditect（ダイレクト）

もともとの音源に手を加えない、ピュアな音をお楽しみいただけます。入力ソースのチャンネルのまま音声を出力します。

Stereo（ステレオ）

左右フロントスピーカーから出力されます。UWA-9またはUWA-N7を増設しているときは、サブウーファーからも出力されます。

Theater-Dimensional（シアター ディメンショナル）

2または3つのスピーカーで、あたかも5.1チャンネル再生しているかのようなバーチャル再生をお楽しみいただけます。

FR-UN9/FR-UN7には別売りシステムUWA-9またはUWA-N7を増設し、「スピーカーの数」を正しく設定すると、以下のサラウンドモードがお楽しみいただけます。

Dolby Digital（ドルビー デジタル）

劇場やコンサートホールさながらの臨場感あふれるサウンドが体験できるサラウンドモードです。DOLBY DIGITALマークのついたDVD、LD、CDなどの再生時に楽しむことができます。

DTS（デーティーエス）

限りなく原音に忠実なサラウンドを再現するデジタルサラウンド方式です。完全に分離させた5.1チャンネルで膨大となる音声データを、可能な限り原音に近い状態で圧縮したデジタルデータです。極めて高音質の音声を提供します。dtsマークのついたCD、DVD、LDなどを再生時に楽しむことができます。

Dolby Pro Logic II（ドルビー プロ ロジック）

2チャンネルで収録された音楽や映画を5.1チャンネルで再生できます。Movie（ムービー）モードは映画観賞用、Music（ミュージック）モードは音楽再生用、Game（ゲーム）モードはゲームに適したモードです。

- PLII Movie（ムービー）
  DOLBY SURROUNDマークのついたVHSやDVDビデオ、または一部のテレビ番組再生時に楽しむことができます。
- PLII Music（ミュージック）
  CDなどのステレオ音楽や、ライブを記録したDVDに適しています。
- PLII Game（ゲーム）
  ゲームディスクを楽しむときに使用できます。

AAC

MPEG-2AAC（エムペグ）方式で圧縮されたデジタルデータで、最大5.1チャンネルのサラウンド音声を提供します。BSデジタル放送などのAACソースを再生するために使用します。

Multich（マルチチャンネル）

アナログのマルチチャンネル接続をしているときに使用できるリスニングモードです。

オンキヨー独自のリスニングモード（DSP）

ドルビーデジタルまたはDTS、AAC以外の信号を再生するときは、オンキヨー独自のリスニングモードを楽しむことができます。

Mono Movie（モノ ムービー）

古い映画などモノラル信号の映画ソースを再生するのに適したモードです。センターチャンネルからはそのままの音声を、他のスピーカーからは適度に残響処理を施した音を出力します。モノラルでも臨場感をお楽しみ頂けます。

Orchestra（オーケストラ）

クラシックやオペラに適したモード。
センターチャンネルをカットするとともに、音声イメージが全体に広がるようなサラウンド感を強調。大ホールで聞いているような自然な響きが楽しめます。

Unplugged（アンプラグド）

アコースティックやボーカル、ジャズなどに適したモード。フロントの音場イメージを重視することで、あたかもステージの前で聞いているような音場イメージをつくります。

Studio-Mix（スタジオ ミックス）

ロック、ポピュラーミュージックなどに適したモード。パワフルな音響イメージを再現した臨場感あふれるサウンドは、あなたをあたかもクラブハウスにいるような気分にするでしょう。

TV Logic（ティーヴィーロジック）

放送局のスタジオから放映されているテレビ放送に適したモード。局のスタジオにいるような臨場感を高めます。すべてのサラウンド音声を強調し、会話音声を明瞭にします。

All Ch St（オールチャンネルステレオ）

BGMとして音楽をかける時に便利なモード。サラウンドスピーカーもフロントスピーカーと同じ音が出て迫力ある音場をお楽しみいただけます。

Full Mono（フル モノ）

すべてのスピーカーからモノラル音声で再生されます。どの場所にいても同様の音楽を聞くことができます。

2チャンネル音声で楽しむ場合のヒント

SACDやDVDオーディオを2チャンネル音声で楽しむ場合やスピーカー設定が「2ch（チャンネル）」のとき、ヘッドホン使用時、録音時などでは、次のような方法でより良い音を楽しむことができます。

- ＳＡＣＤは初期設定メニューの「オプション」の設定で「SACD再生方式」を「2chエリア」（デフォルトも2chエリア）にする。
- DVDオーディオで2chソースを選択できる場合は、2chソースを選択する。

リスニングモードを選ぶ

1

選んだ機器を再生する

2

本体

LISTENING MODE

または

リモコン

LISTENING MODE

STEREO/T-D

ALL CH STEREO

リスニングモードを選ぶ

本体またはリモコンのLISTENING MODEボタンを押してリスニングモードを選びます。

ボタンを押すたびに、リスニングモードが切り換わります。再生する信号によって選択できるリスニングモードが異なります。下記の「再生するソースと対応するリスニングモード」をご覧ください。

！ヒント

- リモコンのSTEREO/T-Dボタンを押してステレオとシアターディメンショナルを切り換えることもできます。
- UWA-9またはUWA-N7を増設している場合は、リモコンのALL CH STEREOボタンを押してAll Ch Stに切り換えることもできます。

レベルメーターについて

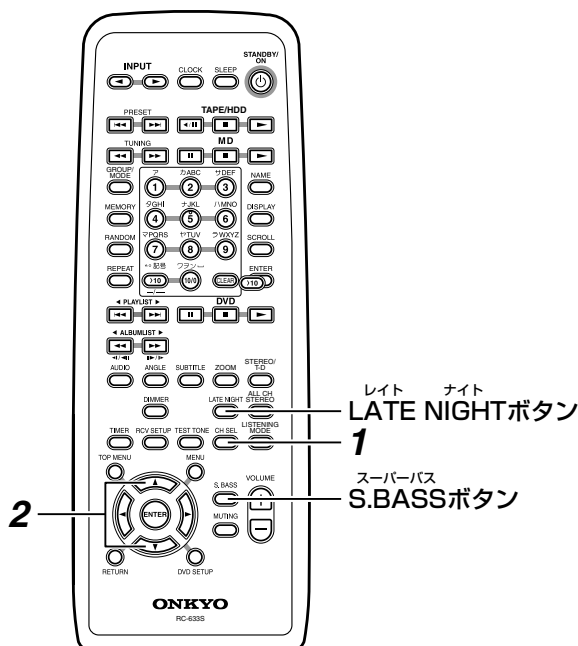
録音時以外では、下記状態にするとレベルメーターが振れます。

- MD再生時
- 入力セレクターが「FM/AM」、「LINE」、「TAPE」で音声入力時
- 入力セレクターが「Digital」で、PCM（32kHz、44.1kHz、48kHz）音声入力時
- 入力セレクターが「DVD」で、リスニングモードが「Stereo」かつ「Rec Signal」がアナログの状態で、DVDビデオ、音楽用CD、MP3/WMA（32kHz、44.1kHz、48kHz）を再生した時

再生するソースと対応するリスニングモード

スピーカー数	再生するソース	ANALOG/PCM	DOLBY D モノラル音声多重	DOLBY D ステレオ	DOLBY D それ以外	DTS	AAC モノラル音声多重	AAC ステレオ	AAC それ以外	マルチチャンネル
	ソースとなるソフト／サラウンドモード	カセット、CD、ビデオ、チューナー	DVDビデオ			DVDビデオ LD、CD	BSデジタル/地上波デジタル			DVDオーディオ SACD
2ch	Direct	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Stereo	●	●	●	●	●	●	●	●	
	Mono	●	●	●	●	●	●	●	●	
	Theater-Dimensional	●	●	●	●	●	●	●	●	
	Multich									●
別売りのUWA-9やUWA-N7を増設すると以下のリスニングモードがお楽しみいただけます。										
5ch	Dolby D				●					
	DTS					●				
	AAC								●	
	PL II Movie/Music/Game	●		●				●		
	Mono Movie	●	●	●	●	●	●	●	●	
	Orchestra	●	●	●	●	●	●	●	●	
	Unplugged	●	●	●	●	●	●	●	●	
	Studio-Mix	●	●	●	●	●	●	●	●	
	TV Logic	●	●	●	●	●	●	●	●	
	All Ch St	●	●	●	●	●	●	●	●	
	Full Mono	●	●	●	●	●	●	●	●	

- ヘッドホンを使用中にTheater-Dimensionalを選択することはできません。

音の調整をする

一時的に各スピーカーレベルを調整する

一時的に各スピーカーのレベルをお好みに調整することができます。
- この設定は、本機をスタンバイ状態にすると解除されます。
- ミューティング中は調整できません。

1

CH SELボタンを（くり返し）押し、音量レベルを調整するスピーカーを選ぶ

Left（左フロントスピーカー）→ ※Center（センタースピーカー）→ Right（右フロントスピーカー）→ ※Surr R（右サラウンドスピーカー）→ ※Surr L（左サラウンドスピーカー）→ ※Subwfr（サブウーファー）→ Left（左フロントスピーカー）

※は、別売りのUWA-9またはUWA-N7を増設しているときに表示されます。
お買い上げ時は、UWA-9またはUWA-N7に合わせたレベルに設定されています。

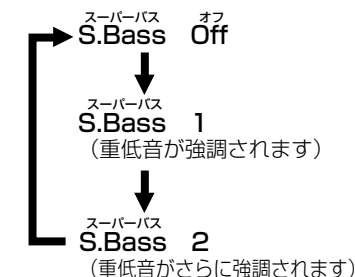
2

◀/▶ボタンを押して、各スピーカーの音量レベルを調整する

▶ボタンを押すと音量が上がり、◀ボタンを押すと下がります。
−12dB～＋12dBの範囲で設定できます。（サブウーファーは−15dB～＋12dBの範囲で設定できます。）
スタンバイ状態にしても、調整した値を記憶させておくにはTEST TONE（テスト トーン）ボタンを押してください。

重低音を強調する

S.BASS（スーパーバス）ボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

ご注意

UWA-N7と組み合わせて使用しているときは、あまり効果が得られないことがあります。
その場合は、サブウーファーの音量レベルを調整すると重低音が強調されます。
（☞106ページ）

レイトナイト機能を使う（DOLBY DIGITAL（ドルビー デジタル）ソフト再生時のみ）

ドルビーデジタル録音されたソフトを再生するとき、ダイナミックレンジ（音量の大小幅）を小さくします。夜中などに音量を絞って映画を鑑賞するとき、小さな音も聞こえやすくなります。
この機能は、本機をスタンバイ状態にすると解除されます。

LATE NIGHT（レイト ナイト）ボタンを押す

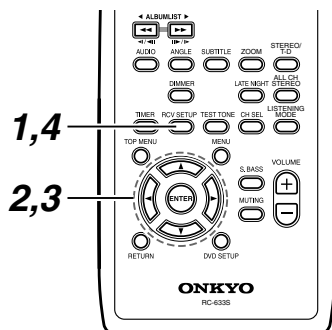
押すたびに2段階のレイトナイトモード（High（ハイ）/Low（ロー））とOff（オフ）を切り換えることができます。HighにするとLowよりさらに効果があります。

ご注意

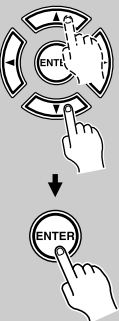
- レイトナイト機能は、ドルビーデジタルソフトにのみ効果があります。
- レイトナイト効果は、ソフトによっては効果が少なかったり、効果がない場合もあります。

音響効果を調整する

ここでは、音質（Tone）の調整やリスニングモードのMono、Multiplex、T-Dのさらに細かな設定をすることができます。

1

RCV SETUPボタンを押す

「1. SP Config」と表示されます。

2

▲/▼ボタンを押して「4. Audio Adj」を選び、ENTERボタンを押す

3

▲/▼ボタンを押して調整したい項目を選び、◀/▶ボタンで数値や設定を選ぶ

4

RCV SETUPボタンを押す

設定を終了します。

■Bass（低音）

「Direct」以外のリスニングモード時に左右フロントスピーカーのみ低音を調整することができます。－10dB～+10dBの範囲内で2dBずつ調整できます。

■Treble（高音）

「Direct」以外のリスニングモード時に左右フロントスピーカーのみ高音を調整することができます。－10dB～+10dBの範囲内で2dBずつ調整できます。

■Mono（2ch）

2チャンネルで記録されたドルビーデジタルなどのデジタル信号やアナログ/PCM信号を、「Mono」リスニングモードで再生するときに使用する信号チャンネルを設定します。

LR：左右チャンネルの信号両方を再生します。（お買い上げ時の設定）
L：左チャンネルの音声を再生します。
R：右チャンネルの音声を再生します。

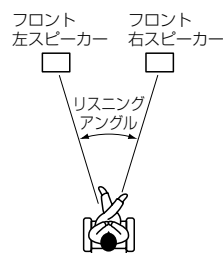
■Multiplex

ドルビーデジタルやAACなど多重音声や多重言語の放送などで音声や言語を選択します。

M：主音声を出力します。（お買い上げ時の設定）
S：副音声を出力します。
MS：主音声と副音声の両方を出力します。

■LstnAngl

リスニングモードに「Theater-Dimensional」を選んだ時に調整することができます。

リスニングアングルとは、視聴者から見た左右フロントスピーカーに対する角度です。バーチャルサラウンド処理は、この角度を元に信号処理を行います。20°、30°、40°の三つの角度から選べるようになっています。左右フロントスピーカーから等距離で、かつ選択したリスニングアングルに近い視聴位置が最も良い位置となります。

■ T-Dモード

スピーカーの構成が5チャンネルで、リスニングモードに「Theater-Dimensional」を選んだ時の設定です。

ALL：サラウンドスピーカーをフロントスピーカーの上もしくは横に置いている場合
FRT：上記以外の場合。（お買い上げ時の設定）

録音方法の種類

●CDダビング …… CD DUBBING（ダビング）ボタンを使って本機CDからMDに録音する
- デジタル入力録音…自動でデジタル入力録音します。
- MDに曲番は自動でつきます。

●シンクロ録音 …… オンキヨー製外部機器からMDに録音する
- レベルシンク…（入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能）のオン/オフが可能です。
- 録音レベル…録音レベルはお好みに調整できます。

●シグナルシンクロ録音 ……… その他の外部機器からMDに録音する
- レベルシンク…（入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能）のオン/オフが可能です。
- 録音レベル…録音レベルはお好みに調整できます。

こんな録音はどうするの？	この機能を使うと便利です	
アルバムCDをMDにそのまま録音したい	CDダビング	65、66ページ
今聞いている曲だけを録音したい	トラック指定CDダビング	67ページ
CDの中から好きな曲だけを録音したい	好きな曲だけをダビングする プログラム再生機能と組み合わせて録音します	67ページ
グループを作りながら録音をしたい	MDグループダビング	71ページ
FM/AM放送を録音したい	FM/AM放送をMDに録音する	68ページ
オンキヨー製カセットテープデッキやCDレコーダーからMDに録音したい	シンクロ録音	69ページ
その他の外部機器からMDに録音したい	シグナルシンクロ録音	70ページ
MDLPを使ってたくさんの曲を1枚のMDに入れたい	録音モードを切り換える	65ページ
録音レベルを調整したい	録音レベルを調整する	72ページ
レベルシンクを切り換えたい	レベルシンクを切り換える	73ページ
MDの最後をフェードアウトさせたい	フェードアウトダビング	71ページ
CDからMDにアナログで録音したい	アナログ入力録音に設定し、 シンクロ録音をする	72ページ 69ページ
DVDの音声をMDに録音したい	アナログ入力録音に設定し、 シグナルシンクロ録音をする	72ページ 70ページ
MP3をMDに録音したい	シグナルシンクロ録音をする	70ページ

録音する

CDをMDに録音する（CDダビング）

- ワンタッチデジタル録音です。
- 曲番は自動でつきます。

ご注意

- CDダビングできるのは、音楽用CDのみです。MP3やWMAの入ったCDは使用できません。
- CDがランダム再生モードになっているときは、CDダビングはできません。

1 CDとMDをセットする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを(くり返し)押してください。

！ヒント

録音モードを切り換えるには、REC MODE（レック モード）ボタンを押します。

2 CD DUBBING（ダビング）ボタンを押す

“X2 Dubbing?”が3秒間表示されます。

＜録音開始＞
その後、録音を開始します。録音にはCDの記録時間と同じだけの時間がかかります。

＜録音停止＞
CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音すると、録音が止まります。
録音停止後、TOC表示が点滅し、録音した情報を書込みます。

！CDダビング中のご注意

DVD/CDの▶/❚❚（プレイ/ポーズ）、▲（イジェクト）などのボタンは働きません。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体のMD▶/❚❚ボタンまたはリモコンのMDの▶（プレイ）ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

録音モードを切り換える（MDLP）

MDが停止中

録音を開始する前に設定します。

REC MODE（レック モード）ボタンを押すたびに、以下の順で録音モードが切り換わります

録音モードによって録音できる時間が異なります。
1曲ずつ設定できます。

録音モード

SP：通常のステレオ録音モードです。ディスクに記載されている時間分のステレオ録音ができます。

LP2：通常のステレオ録音を1/2に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の2倍になります。

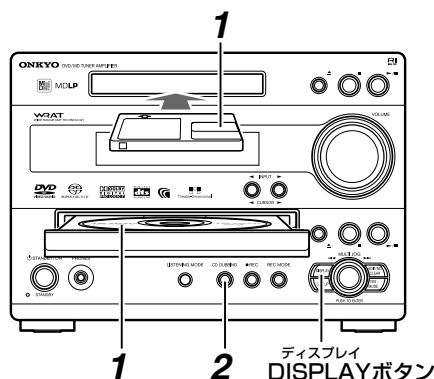
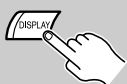
LP4：通常のステレオ録音を1/4に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の4倍になります。

Mono（モノ）：モノラル録音モードです。
録音可能時間は「SP」の2倍になります。

ご注意

「LP2」、「LP4」の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モードの搭載機器以外では再生できません。
また、「LP2」、「LP4」モードで録音したディスクは、SPモード録音と比べて多少音質が異なります。

CDをMDに録音する（CD倍速ダビング）

- CD倍速ダビングできるのは、音楽用CDのみです。MP3やWMAの入ったCDは使用できません。
- デジタル録音を通常の約半分の時間で行います。
- 曲番は自動でつきます。
- CD倍速ダビング中、音声は聞こえません。
- CDがプログラム再生、ランダム再生モードになっているときは、CD倍速ダビングはできません。
- CD倍速ダビングは、ディスクの汚れ等の影響をうけやすくなります。音飛び、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

1 CDとMDをセットする

DISPLAY

MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押してください。

！ヒント

録音モードを切り換えるには、REC MODE（レック モード）ボタンを押します。（☞65ページ）

2 CD DUBBING（ダビング）ボタンを2回押す

CD DUBBING

CD DUBBING（ダビング）ボタンは続けて3秒以内に押してください。

CD-MD×2 Dubbing がスクロールします

＜録音開始＞
その後、録音を開始します。録音にはCDの記録時間の約半分の時間がかかります。

＜録音停止＞
CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音にすると、録音が止まります。
録音停止後、TOC（トック）表示が点滅し、録音した情報を書込みます。

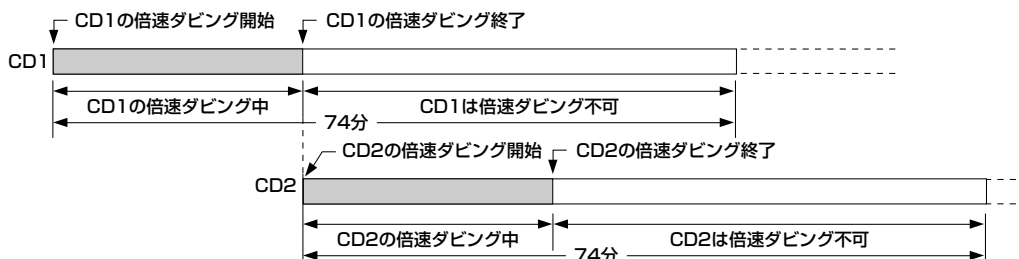
CDダビング中のご注意

DVD/CDの▶/❚❚（プレイ/ポーズ）、▲（イジェクト）などのボタンは働きません。

録音結果を確かめるには

☞65ページの同項目

CD倍速ダビングの制限について

CD倍速ダビングを行ったCDはその記録時間に関係なく、著作権保護のため開始時より74分間はCD倍速ダビングをすることができません。CD倍速ダビングをしようとすると“Time Protect（タイム プロテクト）”と表示され、そのCDがCD倍速ダビングができるまでの待ち時間が表示されます。（例：“Wait（ウエイト） 42 min”）他のCDを使用する場合は、続けて録音することができますが、74分以内に21枚以上のCDを続けて録音することもできません。
また、“Time Protect”中に停電または電源コードを抜いて再度電源を入れたときは、どのディスクでも最大74分は倍速録音できません。

CDをMDに録音する（いろいろなCDダビング）

CDダビングできるのは、音楽用CDのみです。
MP3やWMAの入ったCDは使用できません。

今聞いている曲のみを頭から録音する（トラック指定CDダビング）

❶CDとMDをセットし、DVD/CD►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押して再生を始める

❷CD鑑賞中に録音したい曲があったら、CD DUBBING（ダビング）ボタンを押す

聞いていた曲の頭から録音が始まります。
録音にはCDのトラックと同じだけの時間がかかります。
その曲のダビングが終わるとMDは停止します。CDはそのまま再生を続けます。

ご注意

- CD倍速ダビングはできません。
- CDがランダム再生モードになっているときは、CDダビングはできません。
- グループ録音設定になっていても、グループにはなりません。

好きな曲だけをダビングする

❶CDとMDをセットし、入力をCDにしたあとメモリー再生の設定をする

42ページの設定を行います。
（再生はしないでください。再生すると、トラック指定CDダビングになります。）

❷CD DUBBINGボタンを押す

録音が始まります。

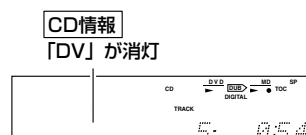
ご注意

- CDがプログラム再生、ランダム再生になっているときは、CD倍速ダビングができません。
- REPEAT（リピート） 1再生モードで録音すると曲番がつかない場合があります。

録音中に表示を切り換える

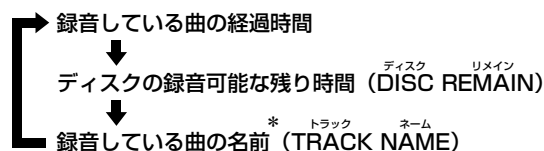
CDからMDに録音中、表示情報を切り換えることができます。

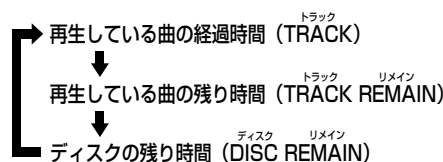
- INPUT（インプット）◄/►ボタンを押すと、CDとMDの表示切り換えができます。

MD情報
「DV」が点灯

CD情報
「DV」が消灯

- CD/MD表示切り換え後、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すと、以下のように切り換わります。

MD情報のとき

録音している曲の経過時間
↓
ディスクの録音可能な残り時間（DISC（ディスク） REMAIN（リメイン））
↓
録音している曲の名前*（TRACK（トラック） NAME（ネーム））

＊名前がついていないときは、時間表示部はブランク（空白）になります。
☞「MD、登録した放送局に名前をつける」（92ページ）

CD情報のとき

録音する

FM/AM放送をMDに録音する

長時間のラジオ番組などを録音するときは、録音モード（☞65ページ）を切り換えて使うと便利です。

1	MDをセットする
2	INPUT◀/▶ボタンを（くり返し）押して、入力を「FM」または「AM」にする
3	MULTI JOGダイヤルを回して録音したい放送局を選ぶ 放送局を選ぶにはあらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞54、55ページ）
4	●RECボタンを押して、録音待機状態にする
5	MD▶/IIボタンを押して、録音を始める 録音モード 録音中の曲番 MDの最後まで録音すると、自動的に停止します。 途中で止めるときは、MD■ボタンを押します。 録音停止後、TOC表示が点滅し、録音した情報を書込みます。

！ヒント

録音モードを切り換えるには、REC MODEボタンを押します。（☞65ページ）

録音レベルを調節するときは

☞72ページ

レベルシンクを切り換えるには

☞73ページ

一時停止するには

MD▶/IIボタンを押します。もう一度押すと一時停止したところから録音が始まります。曲番は次の曲番に移ります。

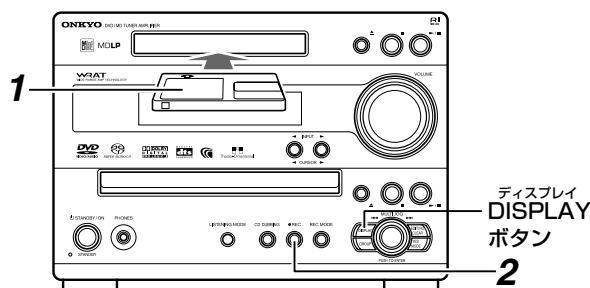
曲番を好きなところにつけたいときは

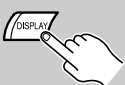
録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただしボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音結果を確かめるには

☞65ページの同項目

オンキヨー製品からMDに録音する（シンクロ録音）

- オンキヨー製の外部機器からの録音に便利です。
- 本機のCDからMDへ選曲しながら録音するときにも便利です。
- DVDはシンクロ録音できません。

ここではカセットテープデッキから本機のMDにシンクロ録音する手順を説明します。

1

録音するソース（接続したカセットデッキのテープ）とMDをセットする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押してください。

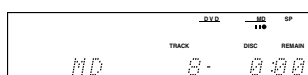
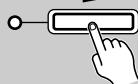
2

●REC

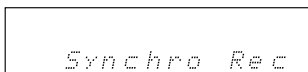
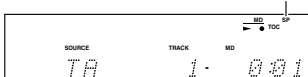
●REC（レック）ボタンを押して、録音待機状態にする

「Rec Now（レック ナウ）」と表示されたあと、下記のような表示になります。

！ヒント

- 録音モードを切り換えるには、REC MODE（レック モード）ボタンを押します。（☞65ページ）
- ディスクがCDの場合は、リジューム停止の状態から▶（プレイ）ボタンを押してもシンクロ録音はできません。■（ストップ）ボタンを押してリジュームを解除してください。

3

（カセットテープデッキ側）

録音するソース（接続したカセットテープ）を再生する

Synchro Rec

録音が始まります。

シンクロ録音を中断するには

再生しているソース（接続しているカセットテープ）を停止すると、MDは録音待機状態になります。

録音停止後、TOC（トック）表示が点滅し、録音した情報を書込みます。

一時停止して選曲する

再生しているソースを一時停止または停止すると、MDも録音待機状態となります。選曲して再度再生すると、MDの録音が始まります。

ただし、MD■（ストップ）ボタンを押すとMDは停止しますが、カセットテープデッキは再生を続けます。

曲番をすきなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●REC（レック）ボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音結果を確かめるには

☞65ページの同項目

！ヒント

別売のオンキヨー製カセットテープデッキまたはCDレコーダーを本機に接続すると、以下のような操作ができます。

CDからカセットテープやCDレコーダーへのシンクロ録音

MDからカセットテープやCDレコーダーへのシンクロ録音

- CDやMDからカセットテープへのシンクロ録音については、カセットテープデッキ側の録音レベルを調節する必要があります。詳しくはカセットテープデッキの取扱説明書をご覧ください。
- CDレコーダーへの録音方法は、CDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- リスニングモードは自動的に「STEREO（ステレオ）」になります。

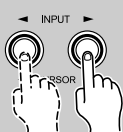
外部機器からMDに録音する

本機と接続した外部機器からMDに録音します。

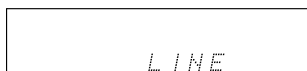
デジタル録音について
本機のデジタル録音は、PCM信号のみに対応しています。本機にはサンプリング・レート・コンバーターが搭載されていますので、CD（44.1kHz）以外の、デジタル外部機器（DATや衛星放送など）からのデジタル信号（32kHzや48kHz）も録音することができます。
デジタル録音されたMDやCD-RをMDにデジタル録音することはできません。

1

MDをセットする

2

◄ INPUT ►

INPUT◄/►ボタンを（くり返し）押して、録音する外部機器を選ぶ

TAPE、LINE、DIGITALのいずれかを選びます。

！ヒント

名称を変えると、その名称が表示されます。（☞30ページ）
録音モードを切り換えるには、REC MODEボタンを押します。（☞65ページ）

3

●RECボタンを押して、録音待機状態にする

！ヒント

外部デジタル入力の場合、「D.In Unlock」が表示されたときや、DIGITAL表示が点滅しているときは、デジタル端子接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。

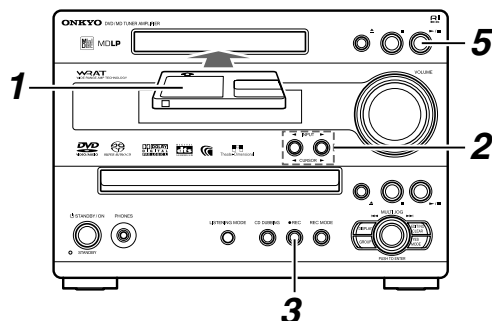
4

外部機器の再生を始める

外部デジタル入力で録音レベルを調整すると、モニター音も変化します。

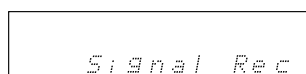
5

MD►/❚❚ボタンを押して、録音を始める

MDの最後まで録音すると自動的に停止します。
途中で止めるときは、MD■ボタンを押します。

シグナルシンクロ録音をする

シグナルシンクロ録音とは、外部の入力信号が入ってきた時点で自動的にMD録音を開始する機能です。

❶左項の手順*1*～*3*を行う
通常の録音待機状態になっています。

❷●RECボタンを押す

Signal Rec

「Signal Rec」が表示され、シグナルシンクロ録音待機状態となります。►●インジケーターが点滅しているときは、信号待機（Signal Wait）状態です。
録音が始まると点灯に変わります。

❸外部機器の再生を始める
外部機器からの信号が入ってくると自動的に録音が始まります。（☞左項の手順 **4** を行う必要はありません。）

！ヒント

本機のCDとのシグナルシンクロ録音をすることもできます。

録音レベルを調節するときは

☞72ページ

レベルシンクを切り換えるには

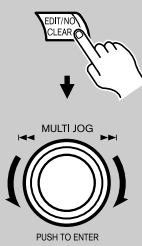
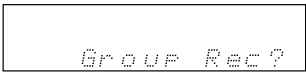
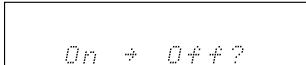
☞73ページ

曲番をすきなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音を一時停止するときは

MD►/❚❚ボタンを押します。録音を再開するときは、同じボタンをもう一度押します。

録音結果を確かめるには

☞65ページの同項目

録音の設定

MDグループ録音設定　入力がMDで停止中

録音を開始する前に設定します。
録音時、複数の曲をひとまとまりのグループにして録音することができます。（トラック指定CDダビング時は1曲ずつダビングするため、グループになりません。）

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Group Rec?」を表示させる

Group Rec?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

On → Off?

現在の設定が表示されます。この場合は「On→Off？」でグループ録音モードを解除しますか？の意味です。

On ：グループ録音モードが働きます。複数の曲をひとまとまりにして録音します。

Off ：グループ録音モードは働きません。

3

MULTI JOGダイヤルを押して確定する

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

- この設定でCDダビングや録音をすると、ひとまとまりのグループにして録音します。シンクロ録音やシグナルシンクロ録音では、録音を開始してからMDの■ボタンを押すまでグループにして録音します。

！ヒント

録音中にGROUPボタンを押すと、現在の設定が表示されます。

MDグループ機能については、80ページをご覧ください。

フェードアウトダビング設定　入力がMDで停止中

録音を開始する前に設定します。
この機能を「On」にして、CDダビング、トラック指定CDダビングをすると、ディスクがいっぱいになって最後まで録音されない曲を途中でフェードアウト（音量を徐々に小さくする）します。

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Fade Dub?」を表示させる

Fade Dub?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

Off → On?

現在の設定が表示されます。この場合は「Off→On？」でフェードアウトモードにしますか？の意味です。

3

MULTI JOGダイヤルを押して確定する

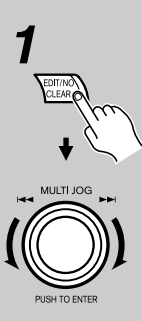
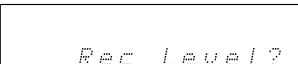
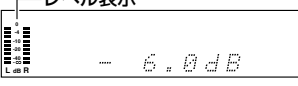
この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

- 「On」の設定でCDダビング、トラック指定CDダビングをすると、フェードアウトダビングになります。

！ヒント

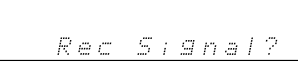
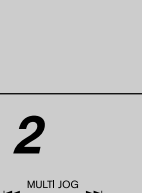
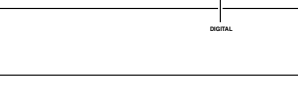
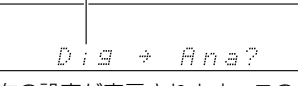
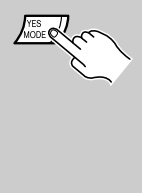
CDダビング中にCD DUBBINGボタンを押すと、現在の設定が表示されます。

録音の設定

録音レベルを調整する

MDが録音中または録音待機中

録音レベルが適当でないときに録音レベルを調整します。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に調整できます。

録音するソースを再生中、●RECボタンを押して録音待機中に以下の操作をします。

録音レベルの調整はアナログ、デジタルそれぞれの入力で設定することができます。

- ここで調整したレベルは記憶され、次回録音するときも、同じレベルで録音されます。

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Rec Level?」（録音レベル）を表示させる

Rec Level?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

3

MULTI JOGダイヤルを回して録音レベル（Rec Level）を調節する

調節できる範囲は－∞dBから＋18.0dBです。
－12.5dBから＋18.0dBの範囲では0.5dB間隔で、－12.5dBから－30.0dBは2.5dB間隔、－30dBから－60dBは5.0dB間隔で調整できます。

- アナログ録音をするときは、入力レベルが一番高いときに、レベル表示の－4dBが時々点灯するように調整します。

4

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」が表示され、調整が完了します。

CDからMDへのデジタル入力録音/アナログ入力録音を選ぶ

入力がDVDでMD/CDが停止中

DVD部からMDへのシンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に有効です。DVDやデジタル録音されたCD-RをMDに録音するときは、アナログ入力録音を選んでください。ディスクを入れてから設定します。

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Rec Signal?」を表示させる

Rec Signal?

！ヒント

CD表示のときに“DIGITAL”が点灯している場合は、現在の設定はデジタル入力録音となっています。点灯していない場合はアナログ入力録音です。

2

MULTI JOGダイヤルを押す

現在の設定が表示されます。この場合は「Dig→Ana?」でアナログ入力録音にしますか？の意味です。

3

YES/MODEボタンを押して確定する

変更しない場合は、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

ご注意

- CD DUBBINGボタンを押すと、設定がデジタルに戻りますので、アナログ録音をするときは、CD DUBBINGボタンを操作しないでください。
- CDを取り出したときも、設定がデジタルに戻ります。

録音に関するご注意

- DVDの映像はコピーできません。
- 音楽用DVDによく使用されているPCM信号で、コピーガードの入っていない信号のみデジタル録音ができます。

- DVDのPCM以外のデジタル信号（ドルビーデジタル/DTS）を録音する場合は、アナログ入力録音で録音することができます。
- 本機の内蔵DVDから他社製のカセットデッキやCDレコーダーへアナログ録音するときは、リスニングモードを「STEREO」にしてください。また、SACDおよびDVDオーディオは録音することはできません。
- MP3やWMAの入ったCDを録音するときは、録音先が本機内蔵のMDやオンキヨー製の録音機器の場合でも、再生終了後に録音が自動的に停止しません。録音機側で停止ボタンを押してください。

！ヒント

ディスクがDVDオーディオやSACDのときは自動的にアナログになるため、設定を選ぶことはできません。また、録音中および録音待機時のみレベルメーターが振れます。DVDオーディオは著作権保護の関係上、録音できません。

曲番をつける−レベルシンクを切り換える

入力がMDで停止中

- レベルシンクとは、入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番をつける機能です。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時レベルシンクがオンになっていると録音中自動的に曲番がつきます。（ただし無音部が短すぎるとつかないことがあります。）
- CDのデジタル録音のときは、レベルシンクのオン/オフに関係なく自動で曲番がつきます。
- 好きなところに曲番をつけたいときは、レベルシンクをオフにし、録音中に曲番をつけたい所で●RECボタンを押します。（ボタンを押す間隔が短いと曲番がつかないことがあります。）
- FM/AM放送を録音する場合、うまく曲番がつかない場合があります。そのときは、上記の方法で手動で曲番をつけてください。
- レベルシンクがオンになっていると、入力信号の無音部が60秒以上続いた場合、自動的に録音を停止します。
- LEVEL-SYNC表示が点灯しているときは、レベルシンクがオンの状態です。（オフにするとLEVEL-SYNC表示は消えます。）
- ラジオやレコードを録音するときで、曲番がつきすぎる場合は、「Off」にしてください。

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Level Sync?」を表示する

L.SYNC Level Sync?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

L.SYNC On → Off?

「On→Off?」、または「Off→On?」が表示されます。

3

MULTI JOGダイヤルを押す

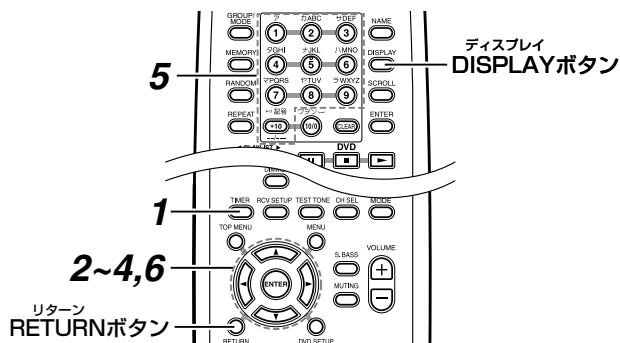
LevelSyncOff

消灯

オフになったときは「LevelSyncOff」が、オンになったときは「LevelSyncOn」が表示されます。

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

曜日と現在時刻を設定する

お好みにより、12時間（am/pm）表示と24時間表示が選べます。（本書では24時間表示の設定方法で説明しています。）

1 TIMERボタンを(くり返し)押して、「Clock」を表示する

2 ENTERボタンを押す

曜日入力に入ります。

3 ▲/▼ボタンを押して、今日の曜日を選ぶ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4 ENTERボタンを押して、曜日を確定する

時間入力に入ります。

5 数字ボタンを押して、時刻を合わせる

数字ボタンで4桁（時、分）をつづけて入力してください。

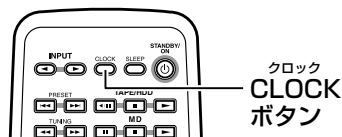
24時間表示

am/pm表示のときは、>10ボタンでamとpmが切り換わります。24時間表示のときは、>10ボタンを押すと12時間後の設定になります。▲/▼ボタンで時刻を合わせることもできます。

6 時報に合わせてENTERボタンを押す

時計が始動し、秒点が点滅を始めます。

曜日、時刻を表示させる

リモコンのCLOCKボタンを押します。
再度CLOCKボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
スタンバイ時は、約8秒間表示した後、消灯します。

12時間表示/24時間表示を切り換えるには

時刻表示中にDISPLAYボタンを押します。

STANDBY時の時刻表示あり/なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体のSTANDBY/ONボタンを2秒以上押します。

時刻表示を「あり」にすると「なし」のときより待機電力が増えます。

タイマー機能を使う

Sleepタイマー、Onceタイマー、Everyタイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは4つまで設定することができます。

タイマーの種類

- タイマーPlay（再生）は設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマーRec（録音）は設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。
- タイマーRecは本機のMD、または本機に接続したRI端子付きのオンキヨー製カセットテープデッキに録音します。入力表示を正しく設定してください。

再生機器の設定

AM、FM、CD（DVDトレイに音楽用CDを入れた場合のみ）、MDまたは本機に接続しているオンキヨー製カセットテープデッキなど、タイマー機能のある外部機器が選択できます。（表示名称を正しく設定する必要があります。）

タイマーRec（録音）はFM、AM、またはLINE、DIGITALに接続したタイマー機能のある外部機器から選択して録音できます。

曜日の設定

タイマーは1回だけ働く「Onceタイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Everyタイマー」があります。

また、Everyタイマーには「Everyday（毎日)」、「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

例）

Timer 1　毎朝の目覚ましがわりに
タイマーPlay(再生)—Every—Everyday(毎日)—7:00～7:30

Timer 2　毎週のラジオ放送を録音
タイマーRec(録音)—Every—MON(月曜日)～SAT(土曜日)—15:10～15:30

Timer 3　今週の日曜だけラジオ放送を録音
タイマーRec(録音)—Once—SUN(日曜日)—10:00～12:00

ご注意

- タイマー再生中や録音中に、TIMERボタンを押すと現在使用中のタイマーは解除され、タイマーオフの時間になっても電源はスタンバイ状態になりません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマーを予約するときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。
- タイマーRec（録音）中は、MUTING機能が働いて音声がごく小さくなります。タイマーRec中に音声を聞くには、リモコンのMUTINGボタンを押してください。

TIMER 1

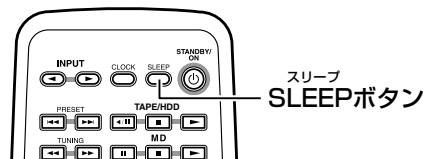
タイマー表示について
タイマーが1つでも設定されていると、TIMER表示が点灯します。数字が点灯していたら、設定されている状態です。□が点灯している数字はタイマーRecが設定されています。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

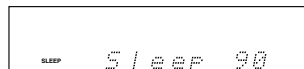
- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が早い方が優先されます。

Timer 1　9：00 – 10：00
Timer 2　8：00 – 10：00
↑ 優先(タイマー開始時刻が早い方)
Timer 3　12：00 – 13：00
↑ 優先（タイマー番号が早い方）
Timer 4　12：00 – 12：30

Sleepタイマーを使う

設定した時間がくると自動的にスタンバイ状態になります。

SLEEPボタンを押す

SLEEP表示が点灯し、「Sleep 90」が表示され、90分後に電源が切れる設定になります。
ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。

SLEEP　Sleep 90

1分単位で時間を設定したいときは、▲/▼ボタンを押します。1～99分の範囲で設定することができます。
設定した時間が約8秒間表示されたのち、元の表示に戻ります。

残り時間を確認するには

SLEEPボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びSLEEPボタンを押すとSLEEPタイマーは解除されます。

Sleepタイマーを解除するには

「Sleep Off」の表示が出るまでSLEEPボタンを（くり返し）押します。

！ヒント

「CDダビング」中にスリープタイマーの設定時間になった場合、「CDダビング」が完了してからスタンバイ状態になります。
この機能を利用して、寝る前や外出前にCDダビングを始めることができます。

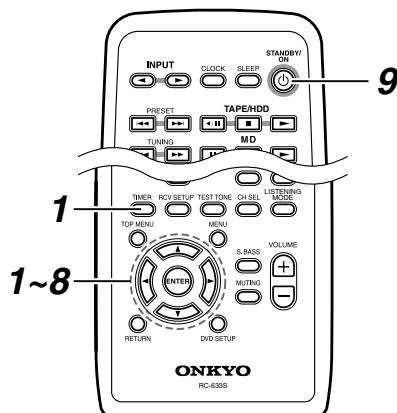
FR-UN9(74-79)(SN29344123)　75　05.9.9, 2:45 PM
ブラック

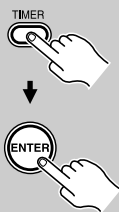
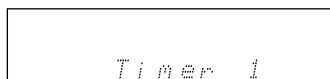
タイマー機能を使う

タイマーを予約する

FM、AMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞54、55ページ）

ご注意

現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
設定中60秒間何も操作しないと通常の表示に戻ります。

リモコンのみの操作です。

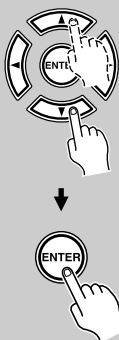
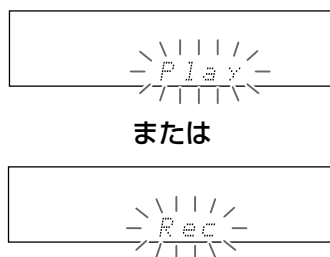
1

＜タイマー番号の選択＞

Timer 1

TIMERボタンを（くり返し）押して、設定するタイマーの番号を選ぶ

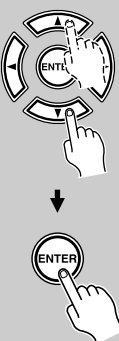
Timer 1からTimer 4のいずれかを選び、ENTERボタンを押します。

2

＜タイマー種類の選択＞

または

▲/▼ボタンを押して、タイマーPlay（再生）またはタイマーRec（録音）を選ぶ

タイマーの種類が表示されたらENTERボタンを押します。
タイマーRecは本機MDまたは本機に接続しているテープデッキに録音されます。

3

＜再生機器の選択＞

▲/▼ボタンを押して、再生する機器を選ぶ

再生する機器が表示されたらENTERボタンを押します。
タイマーRec(録音)の時はAM、FM、DIGITAL、LINEの中から選べます。

FMまたはAMを選んだ場合

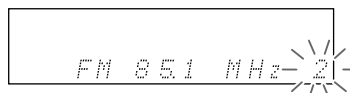
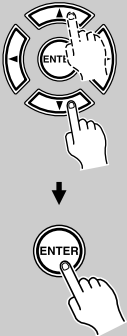
▲/▼ボタンを押して、プリセット番号を選ぶ

プリセット番号が表示されたらENTERボタンを押します。

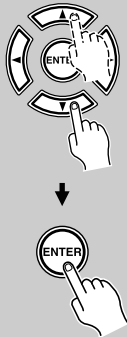
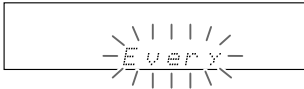
FM 85.1 MHz 2

4

＜録音機器の選択＞（タイマーRec（レック）設定時のみ）

FM → MD

▲/▼ボタンを押して、録音する機器を選ぶ

MDまたはTAPE（テープ）を選ぶことができます。
ただし、TAPEの入力表示名称を他の名前に変えているときは、テープデッキを接続していても選択することはできません。
録音する機器が表示されたらENTER（エンター）ボタンを押します。

5

＜曜日の設定＞

▲/▼ボタンを押して、“Once（ワンス）” または “Every（エブリイ）” を選ぶ

“Once”を選ぶと1度だけ、“Every”を選ぶと毎週タイマーが働きます
選んだらENTERボタンを押します。

“Once”の場合：設定した曜日に１度だけ働きます。

▲/▼ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

MON	（月曜日）	FRI	（金曜日）
TUE	（火曜日）	SAT	（土曜日）
WED	（水曜日）	SUN	（日曜日）
THU	（木曜日）		

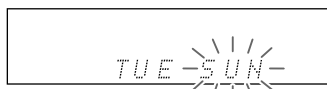
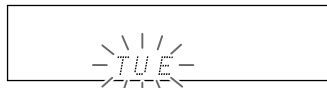
“Every”の場合：設定した曜日に毎週働きます。

▲/▼ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ MON ⇔ SUN　　　⇕ FRI ⇔ SAT
SUN（日） ⇔ Days Set［曜日の範囲をお好みで設定します。］ ⇔ Everyday ⇔ SAT（土）

「Days Set（ディズ セット）」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。

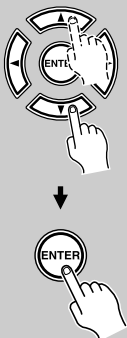
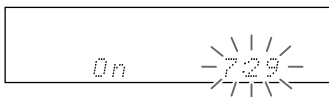
MON–SAT

① ▲/▼ボタンを押して、最初の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

② ▲/▼ボタンを押して、最後の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

この場合、毎週火曜から日曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

6

＜開始時刻の設定＞

▲/▼ボタンを押して、タイマー開始時刻を設定する

数字ボタンでも設定できます。
時刻を表示させたらENTERボタンを押します。
7：29を設定するには、0、7、2、9と押します。

- am/pm表示のときは、＞10ボタンでamとpmが切り換わります。

！ヒント

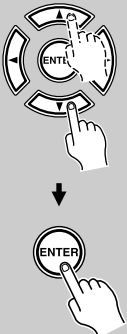
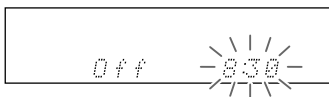
- 開始時刻（On）を設定すると終了時刻（Off）は自動的に1時間後の表示になります。
- 本機MDにタイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので録音開始時刻を1分程早めに設定してください。

7

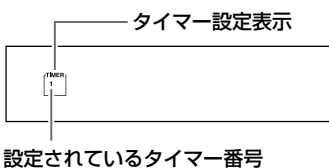
＜終了時刻の設定＞

タイマー設定表示

TIMER 1

設定されているタイマー番号

▲/▼ボタンを押して、タイマー終了時刻を設定する

時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

8

＜音量の設定＞（タイマーPlay設定時のみ）

▲/▼ボタンを押して、音量を設定する

お買い上げ時の設定は25です。
音量を表示させたらENTERボタンを押します。

9

STANDBY/ON

＜スタンバイにする＞

電源をスタンバイ状態にする

STANDBY/ONボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。

ご注意

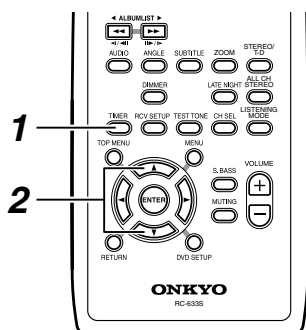
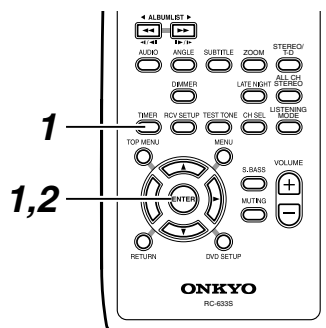
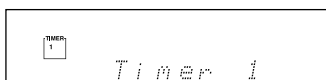
- MDやCDのタイマー再生で、メモリー、ランダム、1 GRモードなどを設定しても、タイマーオン時には通常再生になります。
- 電源がスタンバイ状態以外の時には、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させる時には、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMERボタンを押すと動作中のタイマーは解除されます。
- タイマーRec（録音）中はMUTING機能が働いて音声がごく小さくなります。音声を聞くには、リモコンのMUTINGボタンを押してください。

タイマー予約をやり直したいときは…

TIMERボタンを押し、最初から設定してください。

タイマーのOn（実行）/Off（取消）を切り換える

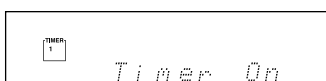
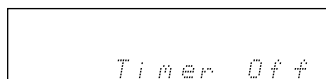
- 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、タイマーを再び実行させたいときに使います。
- 現在時刻が設定されていないとタイマー予約はできません。

1

TIMERボタンを（くり返し）押して、設定するタイマー番号を表示させる

タイマー番号が点灯していたら、オン(実行)で設定されている状態です。

2

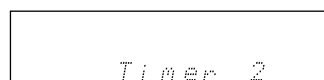
▲/▼ボタンを押して、On(実行)/Off(取消)を切り換える

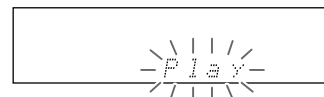
または

Timer Off

切り換えると約2秒後に元の表示に戻ります。

タイマー設定の内容を確認するには

1

TIMERボタンを(くり返し)押して、確認したいタイマーの番号を表示させ、ENTERボタンを押す

2

ENTERボタンを (くり返し)押して、次の内容を確認する

押すたびに次の設定内容が確認できます。

！ヒント

確認中▲/▼ボタンを押して設定内容を変更することもできます。
TIMER設定がOffになっている場合、設定内容を変更すると自動的にタイマー設定がOnになります。

すべての項目を確認し、設定に変更がないと元の表示に戻ります。
通常の表示にするにはTIMERボタンを押します。

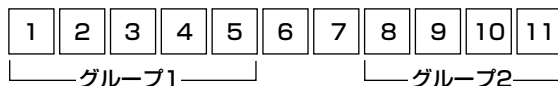
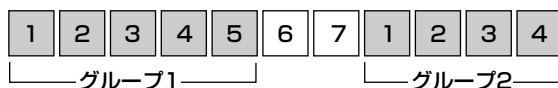
FR-UN9(74-79)(SN29344123) 79 05.9.9, 2:46 PM
ブラック

MDグループ機能

1枚のMDに入っている曲を好みのグループに分けることができます。MDLPなどを使用して、たくさんの曲が入っているディスクで使用すると便利です。
- グループにできるのは連続した曲です。（例：1曲目〜15曲目）
- あとからグループに曲を追加することができます。
- 1つの曲を複数のグループに入れることはできません。
- 本機でグループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で再生するとディスクネームが正しく表示されません。
- グループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で編集しないでください。グループ情報が破壊されることがあります。

曲番について

グループの中で1曲目から順番につきます。グループに入っていない曲は総曲数の表示になります。

通しトラック番号表示

グループ内トラック番号表示

グループ内で1から番号がふられます。

表示方法を切り換える

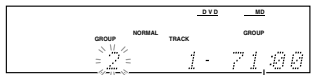
お買い上げ時の設定では、通しトラック番号表示になっています。グループ内トラック番号表示にするには、下記の操作で切り換えてください。

GROUPボタンを3秒以上押し続ける

「Gr. Mode On」と表示されます。
これでグループ内トラック番号表示になります。

！ヒント
- 元の通しトラック番号表示に戻すときも、同じ方法で操作してください。
- リモコンのGROUP/MODEボタンでも操作することができます。

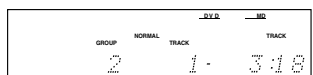
グループの中の曲を選ぶ　入力がMDで停止中

■本体で選ぶ

1 **GROUPボタンを押す**

グループ番号が点滅します。

2

MULTI JOGダイヤルを回してグループを選ぶ

再生しているグループ　グループ総再生時間

3 **GROUPボタンを2回押す**

グループ番号の点滅が止まります。

4

MULTI JOGダイヤルを回して、グループの中の曲を選ぶ

■リモコンで選ぶ

1

GROUP/MODEボタンを押す

2

PRESET|◀◀/▶▶|ボタンでグループを選ぶ

3

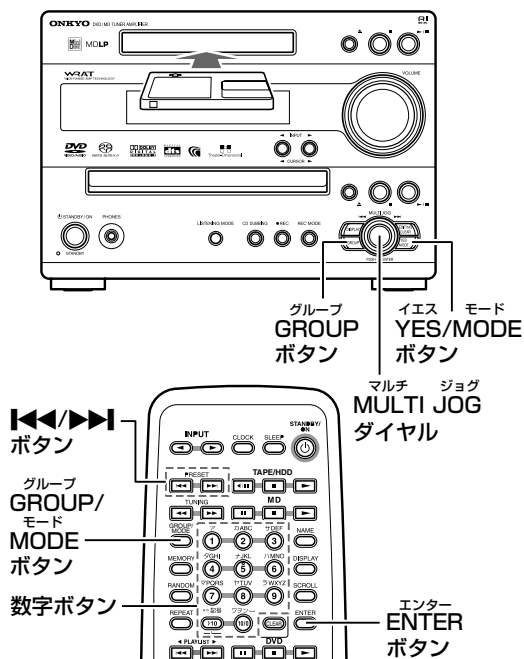
GROUP/MODEボタンを2回押す

グループ番号の点滅が止まります。

4

PRESET|◀◀/▶▶|ボタンでグループの中の曲を選ぶ

MDグループを再生する

ディスクにグループを作成しておく必要があります。
(☞82ページ)

MDグループ再生 入力がMDで停止中

選択したグループから最後までを再生します。

1 GROUPボタンを押す

2 MULTI JOGダイヤルを回して、再生したいグループを選ぶ

3 MULTI JOGダイヤルを押す

選んだグループの最初のトラックから再生が始まります。

！ヒント

リモコンのGROUP/MODEボタン、PRESET|◀◀/▶▶|ボタンもしくは数字ボタンでも操作することができます。

MD 1グループ再生 入力がMDで停止中

選択したグループのみ再生します。
停止させてから操作します。また、「MEM」や「RDM」が点灯しているときは、YES/MODEボタンをくり返し押して、「NORMAL」を点灯さてください。

1 GROUPボタンをくり返し押して「1GR」を点灯させる

グループ番号が点滅します。

2 MULTI JOGダイヤルを回して、グループを選ぶ

3 MULTI JOGダイヤルを押す

再生が始まります。
- 再生が終わると、MD1グループ再生モードは解除されます。

！ヒント

リモコンのGROUP/MODEボタン、PRESET|◀◀/▶▶|ボタン、右上のENTERボタン、MDの▶ボタンでも操作することができます。

MDグループスキップ

再生中、他のグループにスキップすることができます。

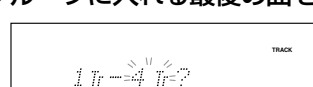
1 再生中にGROUPボタンを押す

2 MULTI JOGダイヤルを回して、グループを選ぶ

選んだグループの最初のトラックから再生が始まります。

！ヒント

リモコンのGROUP/MODEボタン、PRESET|◀◀/▶▶|ボタン、もしくは数字ボタンでも操作することができます。

ご注意
- MD 1グループ再生中は、操作できません。
- 「1GR」、「MEM」、「RDM」インジケーターが点灯しているときは、操作できません。

MDグループを作成/解除する

1GR、MEM、RDMが点灯していると編集できません。通常再生モード（NORMAL表示）にしてください。

グループセット　入力がMDで停止中

グループに入っていない複数の曲をまとめて新規のグループに入れます。

1 MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる最初の曲を選ぶ

2 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G. Set?」を表示させる

3 MULTI JOGダイヤルを押す

4 MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる最後の曲を選ぶ

！ヒント

連続した曲（Tr）のみの選択になります。離れた曲（Tr）は、TrMove（☞89ページ）やグループイン機能を使用してください。

5 MULTI JOGダイヤルを押す

グループが作成され、「Complete」(完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

グループイン　入力がMDで停止中

グループに入っていない曲を、すでにあるグループに入れます。

1 MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる曲を選ぶ

2 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G. In?」を表示させる

3 MULTI JOGダイヤルを押す

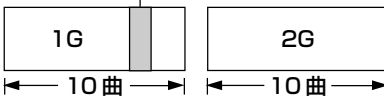
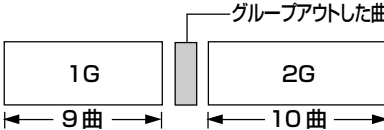
4 MULTI JOGダイヤルを回して、どこのグループに入れるかを選ぶ

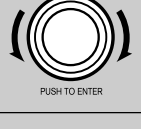
5 MULTI JOGダイヤルを押す

選んだグループの最後に入り、「Complete」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

グループアウト 入力がMDで停止中

すでにグループに入っている曲をグループから外します。

1 MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して、グループから外す曲を選ぶ

2 EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G.Out?（トラックグループアウト）」を表示させる

3 MULTI JOGダイヤルを押す

選んだ曲がグループから外れ、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

選択グループの解除 入力がMDで停止中

選んだグループのみ解除します。

1 GROUP（グループ）ボタンを押す

2 MULTI JOGダイヤルを回して、解除するグループを選ぶ

3 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Release?（リリース）」を表示させる

4 MULTI JOGダイヤルを押す

選んだグループのみ解除され、「Complete」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。

全グループの解除 入力がMDで停止中

ディスクに入っているすべてのグループを解除します。

1 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Gr. Release?（グループ リリース）」を表示させる

2 MULTI JOGダイヤルを押す

再確認のため、「Gr. Release??」（本当に解除していいですか？）が表示されるので、MULTI JOGダイヤルを再度押します。

「Complete（コンプリート）」が表示され、すべてのグループが解除されます。

MDグループ機能

MDグループを編集/消去する

グループを移動してグループを入れ換える、2つのグループをまとめて1つにする、グループ内の曲を消去する、の3つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

グループを消去する－G.Erase（グループイレーズ）
指定したグループに含まれる曲を全て消去します。

グループを移動する－G.Move（グループ ムーブ）
グループを移動する機能です。

グループをつなぐ－G.Combine（グループ コンバイン）
前のグループとつなぎ1つのグループにまとめる機能です。

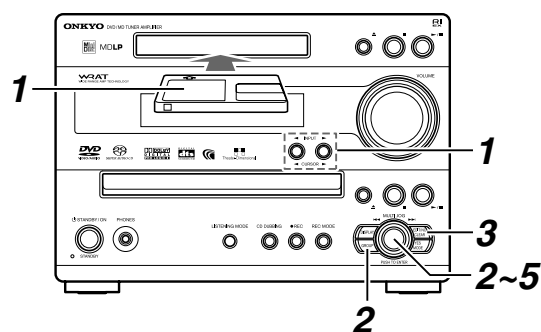
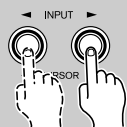
編集の組み合わせ

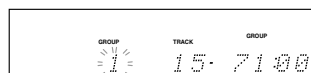
離れた2つのグループをつなぐ
（G.Move（グループ ムーブ）＋G.Combine（グループコンバイン））
G.Combine（グループコンバイン）は選んだグループと直前のグループをつなぐ機能です。離れた2つのグループをつなぐときは、G.Move（グループ ムーブ）機能でグループを移動したあとに、G.Combine（グループコンバイン）機能を使います。

編集/消去についてのご注意

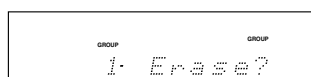
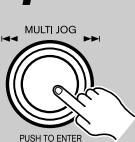
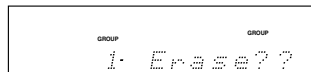
- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC（トック））に書き込まれます。TOC（トック）表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。
- MEM（メモリー）または、RDM（ランダム）、1GR（ワングループ）表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モードにしてください。

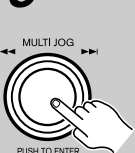
選択したグループに含まれる曲を全て消す－G.Erase（グループイレーズ） 入力がMDで停止中

途中で中止するときは、MD■（ストップ）ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

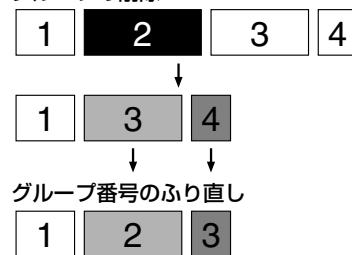
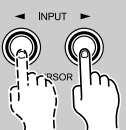
2 GROUP（グループ）ボタンを押し、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回して消すグループを選ぶ

グループに含まれる曲数　グループ総再生時間

選択したグループが点滅します。

3 EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Erase?（イレーズ?）」を表示する

4 MULTI JOGダイヤルを押す

1 Erase??

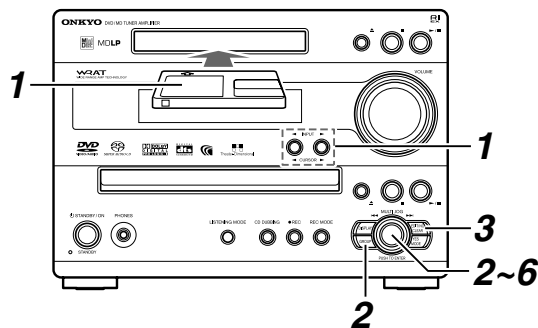
再確認のため「Erase??（イレーズ）」（本当に消していいですか？）が表示されます。

5 MULTI JOGダイヤルを押す

グループ内の曲が消され、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。
グループ番号は新たにふり直されます。

グループの削除

グループを移動する－G.Move

入力がMDで停止中

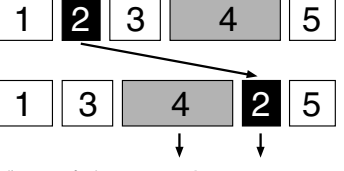
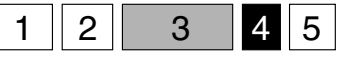
途中で中止するときは、MD■ボタンを押します。

1
MDをセットして、入力をMDにする

2
GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して移動するグループを選ぶ

3
EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Move?」を表示する

4
MULTI JOGダイヤルを押す

移動するグループ番号と移動先のグループ番号が表示されます。

5
必要なときは、MULTI JOGダイヤルを回して移動先のグループ番号を変える

6
MULTI JOGダイヤルを押す

指定した曲が移動し、「Complete」(完了)が表示された後、元の表示に戻ります。グループ番号は新たにふり直されます。

MDグループ機能

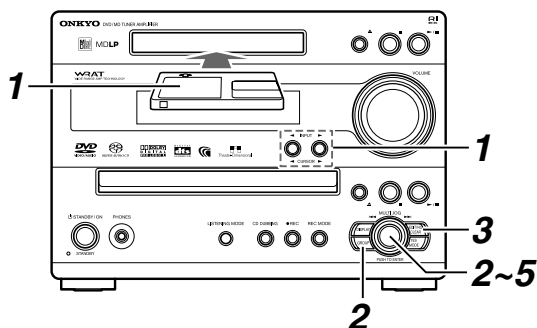
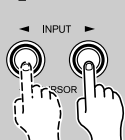
グループをつなぐ ―G.Combine(グループ コンバイン)

入力がMDで停止中

- 前のグループにグループ名がついている場合、そのグループ名がCombine(コンバイン)後のグループ名になります。
- 途中で中止するときは、MD■(ストップ)ボタンを押します。

1

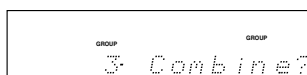
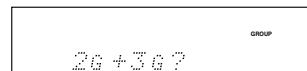
MDをセットして、入力をMDにする

2

GROUP(グループ)ボタンを押し、MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回してつなぐグループを選ぶ

選んだグループが、1つ前のグループとつながることになります。したがって、最初のグループは選ぶことはできません。

3

EDIT(エディット)/NO(ノー)/CLEAR(クリア)ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Combine?(コンバイン?)」を表示する

4

MULTI JOGダイヤルを押す

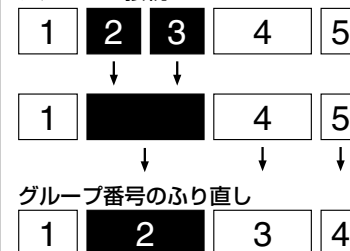
選んだグループの番号と、その直前のグループ番号が表示されます。

5

MULTI JOGダイヤルを押す

グループがつながり、「Complete(コンプリート)」(完了)が表示された後、元の表示に戻ります。グループ番号は新たにふり直されます。

グループの接続

グループ番号のふり直し

MDを編集/消去する

曲を移動して曲番を入れ換える、1つの曲を2つに分ける、2つの曲をまとめて1つにする、曲を消去する、MDの録音すべてを消去する、の5つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

全曲消去する－All Erase
MDに記録されているすべての曲とタイトルを消去します。(BLANK DISCになります。)

曲を消去する－TrErase
1曲選んで消去する機能です。

曲を移動する－TrMove
1曲選んで移動する機能です。

曲を分ける－TrDivide
1曲を2つに分ける機能です。

曲をつなぐ－TrCombine
1曲選び、その1つ前の曲とつないで1曲にまとめる機能です。

編集/消去機能の組み合わせ

曲の一部を消去する
(Divide ＋ Erase)
消去したい部分をDivide機能で（またはこの機能をくり返して）分けてから、Erase機能で消去します。

離れた2つの曲をつなぐ
(Move ＋ Combine)
Combineは、選んだ曲と直前の曲をつなぐ機能です。離れた2つの曲をつなぐときは、Move機能で曲を移動したあとに、Combine機能を使います。

曲をつなぐ－Combineについてのご注意

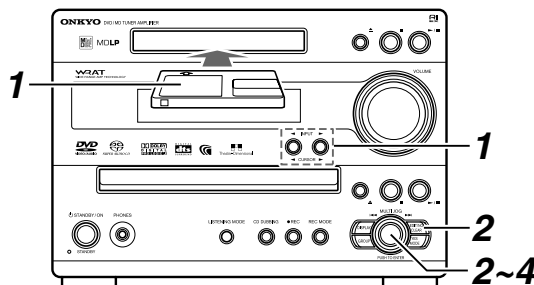
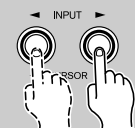
Combineは同じ録音モードで録音された曲のみ可能です。
例：Monoモードで録音した曲とLP2モードで録音した曲をつなぐことはできません。
　　デジタル録音で録音した曲と、アナログ録音で録音した曲をつなぐことはできません。

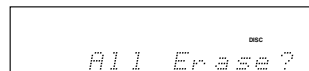
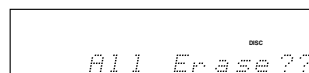
編集／消去についてのご注意

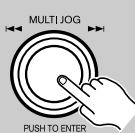
- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。
- MEMまたは、RDM、1GR表示が点灯しているときは編集できません。一度ディスクを出し入れしてから編集してください。
- グループ作成されたMDを編集すると、グループ情報が変わることがあります。

全曲消去する－All Erase

入力がMDで停止中

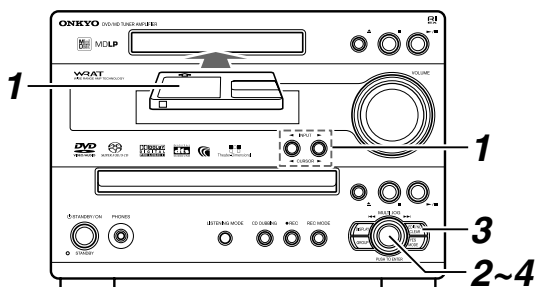
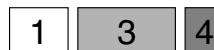
途中で中止するときは、MD■ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「All Erase?」（MDの録音をすべて消しますか?）を表示する

DISC
All Erase?

3 MULTI JOGダイヤルを押す

再確認のため、「All Erase??」（本当に消去していいですか？）が表示されます。

4 MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）が表示され、「MD Blank Disc」が表示されます。

MDを編集/消去する

1曲選んで消す－TrErase（トラックイレーズ）

入力がMDで停止中/一時停止中

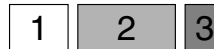
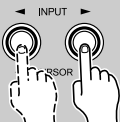
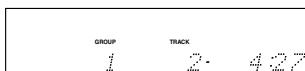
途中で中止するときは、MD■（ストップ）ボタンを押します。

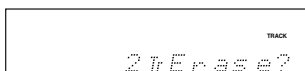
1

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して消す曲を選ぶ

3

EDIT/NO/CLEAR（エディット/ノー/クリア）ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「TrErase?（トラック イレーズ?）」を表示する

TRACK
2 TrErase?

再確認のため、「TrErase??」（本当に消去していいですか？）が表示されます。

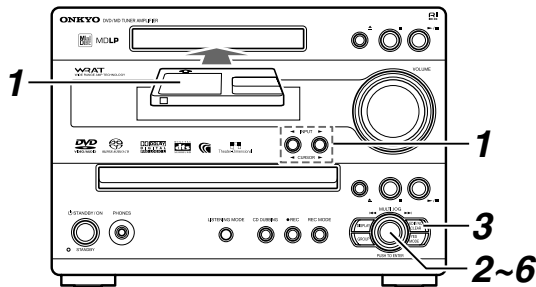
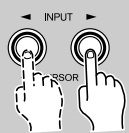
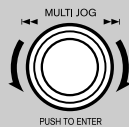
4

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete（コンプリート）」（完了）が表示され、通常の表示に戻ります。
曲番は新たにふり直されます。

曲を移動する－TrMove

入力がMDで停止中/一時停止中

途中で中止するときは、MD■ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI JOGダイヤルを回して移動する曲を選ぶ

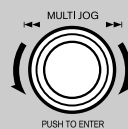
3

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「TrMove?」を表示する

4

MULTI JOGダイヤルを押す

移動する曲番と移動先の曲番が表示されます。

5

必要なときは、MULTI JOGダイヤルを回して移動先の曲番を変える

6

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」(完了)が表示された後、通常の表示に戻ります。
曲番は新たにふり直されます。

- グループに入っている曲はグループ内でしか移動できません。他のグループに移動したい場合は、一度グループアウト機能でグループから出してから、新しいグループに移動します。
- グループに入っていない曲はグループの中に移動することができます。
- 曲を移動すると、曲順が入れ換わります。

曲の移動

！ヒント

曲の移動は、通しトラック番号表示のときはグループを越えて移動させることができますが、グループ内トラック番号表示のときは、グループ内でのみ移動させることができます。表示の切り換えについては、80ページをご覧ください。

グループのあるMD

グループ1の4Trになり、元の4Trは5Trになります。

MDを編集/消去する

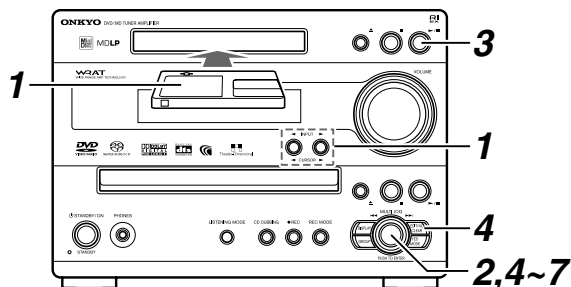
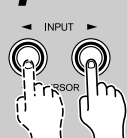
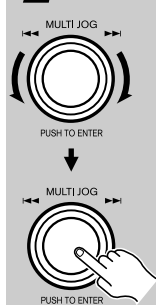
曲を分ける−TrDivide

入力がMDで再生中/一時停止中

- 曲名がついているとき（☞92ページ）は、前の曲にのみ名前が残ります。
- 途中で中止するときは、MD■ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI JOGダイヤルを回して分ける曲を選び、MULTI JOGダイヤルを押す

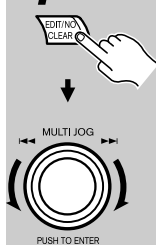
分ける曲が再生されます。

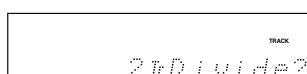
3

分けたいところでMD►/❚❚ボタンを押す

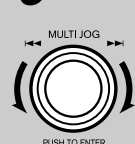
一時停止になります。

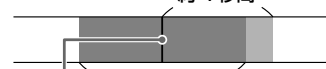
リモコン右上のTUNING◀◀/▶▶ボタンで早戻し/早送りができます。

4

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「TrDivide?」を表示する

5

MULTI JOGダイヤルを押す

「Rehearsal」（確認再生中）と「Position OK?」（分けてもいいですか?）が交互に表示され、曲が分かれる位置より約4秒間がくり返し再生されます。

6

音声を聞きながらMULTI JOGダイヤルを回し、分ける位置の微調整をする

その曲内で数値−45〜+45（REC MODEがSP時 ± 約3秒）の間で調整できます。

分かれる位置が微調整で前後に移動します。

Position+11

7

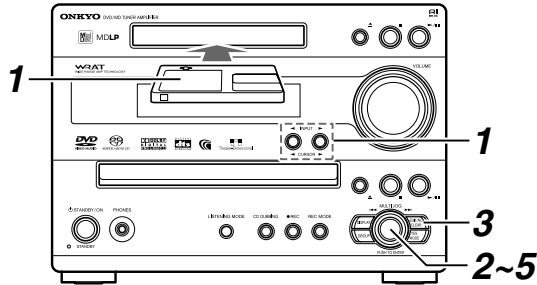
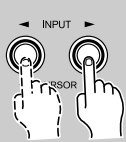
MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）が表示された後、分けられた曲の再生が始まります。

曲番は新たにふり直されます。

曲をつなぐ －TrCombine

入力がMDで停止中/再生中/一時停止中

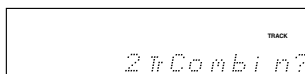
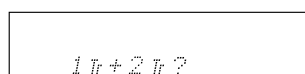
- 前の曲に曲名がついている場合、その曲名がCombine後の曲名になります。
- 途中で中止するときは、MD■ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 MULTI JOGダイヤルを回してつなぐ曲を選ぶ

選んだ曲が、1つ前の曲とつながることになります。したがって、1曲目は選ぶことはできません。

3 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「TrCombin?」を表示する

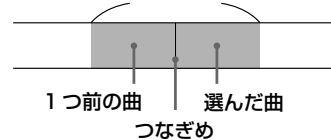
4 MULTI JOGダイヤルを押す

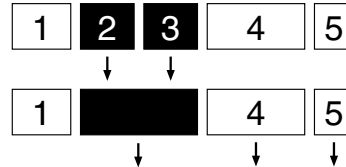
1Tr+2Tr?

選んだ曲の番号と、その直前の曲番が表示されます。

5 MULTI JOGダイヤルを押す

「Rehearsal」（確認再生中）と「Track OK?」（つないでいいですか?）が交互に表示され、曲のつなぎめの前後合計約8秒間がくり返し再生されます。

Rehearsal 再生
約８秒間

１つ前の曲　選んだ曲
つなぎめ

「Complete」（完了）が表示され、通常の表示に戻ります。
曲番は新たにふり直されます。

！ヒント

リモコンのPRESET|◀◀/▶▶|ボタン、GROUP/MODEボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

！ヒント

- TrCombineは、通しトラック番号表示のときはグループを越えてつなぐことができますが、グループ内トラック番号表示のときは、グループ内でのみつなぐことができます。
  グループを越えてつなごうとすると、「Impossible」(できません)」の表示が出ます。番号表示の切り換えについては、80ページをご覧ください。
- 異なる録音モードで録音した曲はつなぐことはできません。また、デジタル録音した曲とアナログ録音した曲をつなぐこともできません。
- 下表のように1曲の時間が短いと、曲をつなげないことがあります。

録音モード	曲の長さ
SPモード LP2/Monoモード LP4モード	12秒以下 24秒以下 48秒以下

MD、登録した放送局に名前をつける

MDにはディスク名や曲名、FMやAMの登録した放送局にはチャンネル名をアルファベットやカタカナでつけることができます。

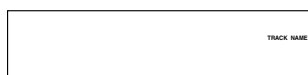
登録した放送局に名前をつける

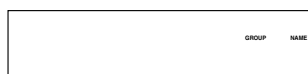
FMまたはAMのチャンネルを選び、右項または94ページで「文字を入力する」を行います。8文字までの名前がつけられます。

MDにディスク名をつける

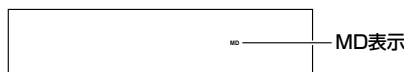
❶ MDをセットし、入力をMDにする
❷ 右項または94ページで「文字を入力する」を行う

MDに曲名をつける

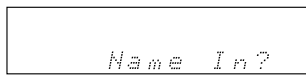
❶ MDをセットし、入力をMDにする
❷ MULTI JOGダイヤルを回し、名前をつけたい曲を選ぶ
❸ 右項または94ページで「文字を入力する」を行う

MDにグループ名をつける（グループがあるとき）

❶ MDをセットし、入力をMDにします。
❷ GROUPボタンを押してから、MULTI JOGダイヤルを回して名前をつけたいグループを選ぶ
❸ 右項または94ページで「文字を入力する」を行う

ご注意

- 誤消去防止孔の開いたMDや、再生専用MDには名前はつけられません。（☞112ページ）
- ディスクに名前をつけるときは、曲を選択していないかご確認ください。曲を選択しているときは、MD■ボタンを押してください。

- 曲に名前をつけたいときは、録音中、再生中にもつけることができます。次の曲に移ってしまうと、文字入力が正しくできない場合があります。グループ名は録音中にはつけられません。
- 録音中、MDに曲名をつける場合は入力をMDに切り換えてから文字を入力してください。

- MEM、RDM、1GRの表示が点灯している場合は、ディスク名はつけることができません。
- 名前などの情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるとき、録音停止時などにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。

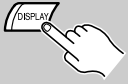
本体操作ボタンで文字を入力する

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Name In?」を表示する

Name In?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

文字入力モードに入ります。

3 DISPLAYボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

押すたびに、以下の選択ができます。

文字の種類の表示

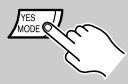
A（大文字のアルファベット）
↓
a（小文字のアルファベット）
↓
1（数字）
↓
ア（カタカナ）
↓
♪（カンタンネーム）※1

※1 放送局に名前をつけるときには、表示されません。

4 MULTI JOGダイヤルを回して文字を選び、ダイヤルを押して確定する

この手順をくり返して名前を入力します。途中で文字の種類を変える場合は、手順**3** を行います。

！ヒント

文字を訂正/消去する場合は、95ページをご覧ください。

5 入力が終わったら、YES/MODEボタンを押す

「Complete」が表示され、文字入力が完了します。名前の入力を途中でやめるときはEDIT/NO/CLEARボタンを2秒以上押します。

入力できる文字

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_ @ ` < > # ＄ % & * = ; : + − / ( ) ? ! ' " , . ␣（空白） ⁞（挿入）
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜

表示されるカンタンネーム
（放送局に名前をつけるときは表示されません。）
MULTI JOGダイヤルを回して選んでください。

BALLAD	POPS	African	Anthology	Heavy
BLUES	REGGAE	American	Best of␣	Hit Songs
CLASSIC	ROCK	Asian	[ofの後ろには空白(␣)が1文字分入ります。]	Omnibus
DANCE	SOUL	British		Selection
FUSION	TECHNO	Euro	Collection	Special
JAZZ	VOCAL	German	Favorite	Super
LIVE		Japanese	Happy	␣（空白）

MDにつけた名前をコピーする

他のディスクや曲につけた名前をコピーして使うことができます。
コピーできるのは、ディスク名、曲名、グループ名で、それぞれ最後につけた名前がコピーされます。
ここでは、グループ名をコピーする操作を説明します。

❶ **グループに名前をつける（前ページ参照）**

❷ **同じ名前をつけたいグループを選ぶ**
グループからはグループへのみ、トラックからはトラックへのみ、ディスクからはディスクへのみコピーできます。

❸ **EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Name Copy?」を表示させる**

❹ **MULTI JOGダイヤルを押す**
「Complete」と表示されたあと、その名前を表示します。

！ヒント

リモコンで操作するときは、手順❶❷の次にNAMEボタンを2回押します。
「Name Copy?」と表示されたら、右上のENTERボタンを押します。

MD、登録した放送局に名前をつける

リモコンで文字を入力する

1

（MDの場合）

92ページを参照して名前をつけたい項目を表示させておきます。

リモコンではPRESET◀◀/▶▶ボタンで曲を選べます。

NAMEボタンを押す

「Name In?」と表示されるので、ENTERボタンを押します。

1

（放送局の場合）
NAMEボタンを押す

2

DISPLAYボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。SCROLLボタンを押すと逆順に切り換わります。

アルファベットを入力するには
数字ボタンを押すごとに記載されている文字が切り換わり表示されます。たとえば、②ボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコン中央部右側のENTERボタンを押してください。

数字を入力するには
数字ボタンを押すと数字が表示されます。

カタカナを入力するには
数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字の行が切り換わります。
たとえば、①ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ」と切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコン中央部右側のENTERボタンを押してください。

カンタンネームを入力するには（放送局に名前をつけるときは、表示されません。）
数字ボタンを押すごとにボタンの上のアルファベットが頭文字になるカンタンネームが切り換わり表示されます。たとえば、③ボタンは押すごとにDANCE→Euro→Favorite→FUSIONなどと切り換わりますので、希望のカンタンネームを表示させてリモコン中央部右側のENTERボタンを押してください。

記号を入力するには
>10ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。（>10ボタンは、␣./＊-,!?&'（ ）を10/0ボタンはスペースが入力できます。）希望の数字または記号を表示させてリモコン中央部右側のENTER ボタンを押してください。
リモコンのPRESET◀◀または▶▶ボタンを押して文字を選び、リモコン中央部右側のENTERボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意

リモコンの数字ボタンではすべての記号を入力することはできません。
文字を挿入するときの「 」や、その他記号の入力は、リモコン左上のPRESET◀◀または▶▶ボタンを押して選んでください。

3

NAMEボタンを押して入力を終了する

文字を訂正/消去する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（92ページ）の手順 **1** と**2** を行ってください。

❶ **本体のCURSOR◀/▶ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる**

❷ ● **訂正するときは、「文字を入力する」の手順 3、4（92ページ）に従って正しい文字を入力する**
 ● **消去するときは、EDIT/NO/CLEARボタンまたはリモコンのCLEARボタンを押す**

ご注意

- 続けて文字を挿入する場合は93ページ手順**3**、**4** を、終わるときは手順**5** を行います。
- EDIT/NO/CLEARボタンを2秒以上押し続けると消去せずに元の表示に戻ります。

！ヒント

リモコンのNAMEボタン、TUNING◀◀/▶▶ボタン、数字ボタンでも操作することができます。

文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（92ページ）の手順 **1** と **2** を行ってください。

❶ **本体のCURSOR◀/▶ボタンを押して、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる**

❷ **MULTI JOGダイヤルを左に回して「M」を表示し、ダイヤルを押す**

❸ **「文字を入力する」の手順 3、4 にしたがって挿入する文字を入力する**

続けて文字を挿入する場合は93ページ手順 **3**、**4** を、終るときは手順 **5** を行います。

！ヒント

リモコンのNAMEボタン、TUNING◀◀/▶▶ボタン、数字ボタンでも操作することができます。

放送局につけた名前を消去する

❶ **入力をAMまたはFMにする**

❷ **MULTI JOGダイヤルを回して名前を消去したい放送局を選ぶ**

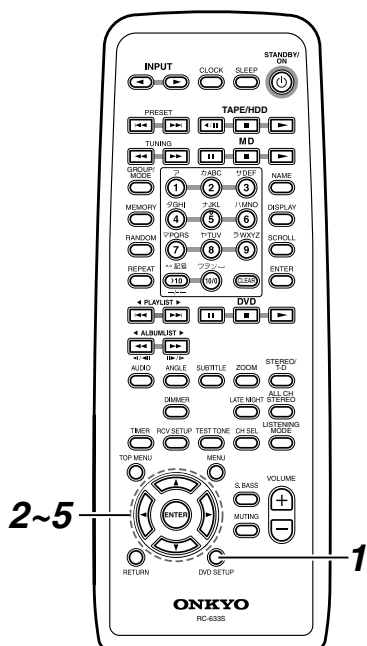
❸ **EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Name Erase?」を表示させる**

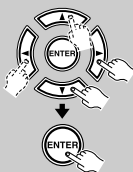
❹ **MULTI JOGダイヤルを押す**
「Complete」と表示され名前が消去されます。

DVDの応用設定をする

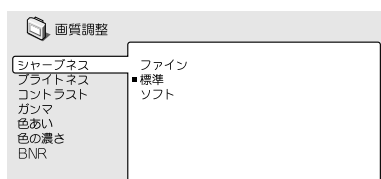
画質調整

画質を調整する

1

DVD SETUP（セットアップ）ボタンを押して、設定画面を表示させる

2

▲/▼/◀/▶ボタンで「画質調整」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

3

▲/▼ボタンで「項目」を選び、ENTERボタンを押す

シャープネス：
画像の鮮明度を調整します。
- ファイン、標準、ソフト（お買い上げ時の設定：標準）

ブライトネス：
画面の明るさを調整します。
- −20～+20（お買い上げ時の設定：0）

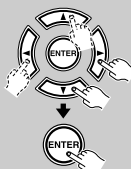
コントラスト：
最も明るい部分と最も暗い部分の明るさの比率を調整します。
- −16～+16（お買い上げ時の設定：0）

ガンマ：
画像の暗い部分の見えかたを調整します。
- 大、中、小、オフ（お買い上げ時の設定:オフ）

色あい：
緑色と赤色のバランスを調整します。
- 緑9～赤9（お買い上げ時の設定：0）

色の濃さ：
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。
- −9～+9（お買い上げ時の設定：0）

BNR：
映像のブロックノイズを軽減します。
- オン、オフ（お買い上げ時の設定：オフ）

4

▲/▼/◀/▶ボタンで各項目を設定し、ENTERボタンを押して決定する

5

DVD SETUP

手順*3*、*4*をくり返してすべての項目を調整し、DVD SETUPボタンを押す

ご注意

- すでに画質設定が記憶されているときは、新しく設定した内容に上書きされます。
- ディスクやテレビ（モニター）によっては効果がはっきりしないことがあります。

！ヒント

RETURN（リターン）ボタンを押すと、1つ前の画面に戻ることができます。

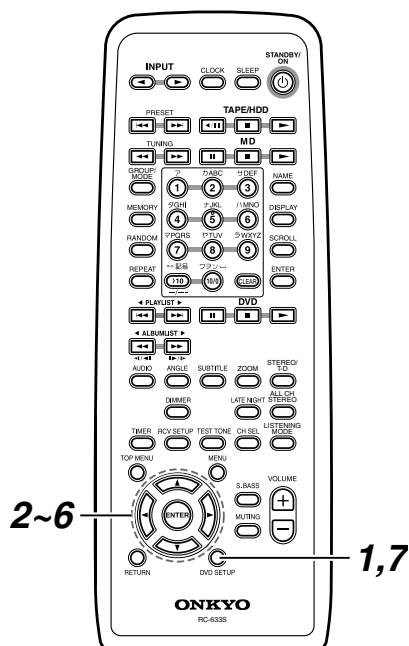
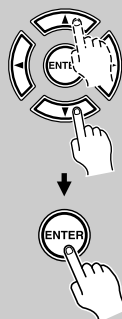
初期設定

初期設定画面の操作のしかた

初期設定画面では、言語、音声出力などをお好みの設定にすることができます。
- 設定画面で変更できない項目は灰色で表示されます。

停止状態で操作してください。

1 DVD SETUP（セットアップ）ボタンを押して、設定画面を表示させる

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで「初期設定」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンで左側の設定を選び、ENTERボタンを押す

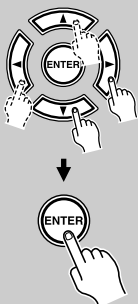
4 ▲/▼ボタンで中央の項目から変更したい設定を選び、ENTERボタンを押す

5 ▲/▼ボタンで設定を変更し、ENTERボタンを押す

6 ◀ボタンで左側の項へ戻る

7 手順*3*〜*6* をくり返してすべての項目を調整し、DVD SETUPボタンを押す

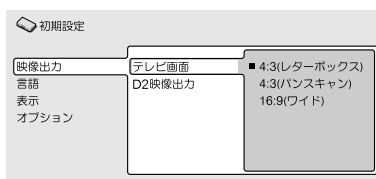
設定画面を終了させます。

！ヒント

RETURN（リターン）ボタンを押すと、1つ前の画面に戻ることができます。

DVDの応用設定をする

「映像出力」の設定をする

テレビ画面（テレビにあわせて映像の縦横比を選ぶ）

本機に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビの場合は「16：9（ワイド）」に設定します。DVDの映画の多くは、ワイドテレビに対応しており、画面の比率（一般にアスペクト比と呼ばれています）が横16：縦9で記録されていますので、DVDを従来サイズのテレビで見ると、映像が横4：縦3となり縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、従来サイズのテレビをお使いのときは、「4：3（レターボックス）」、または「4：3（パンスキャン）」に設定してください。この設定を再生中に変更することはできません。

4:3（レターボックス）：

従来サイズのテレビと接続し、16：9の映像をレターボックス方式(画面の上下に黒い帯を入れて、4：3の画面で16：9の映像を再現する方式)で見たいときに選択します。(お買い上げ時の設定)

4:3（パンスキャン）：

従来サイズのテレビと接続し、16：9の映像をパンスキャン方式(16：9の映像の左右をカットして、4：3の画面全体に映し出す方式)で見たいときに選択します。

16:9（ワイド）：

ワイドテレビと接続したとき選択します。

！ヒント

- アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。
  詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。
- テレビ側の設定もご確認ください。

お使いのテレビに合わせて、下記のように本機の[テレビ画面]の設定をしてください。

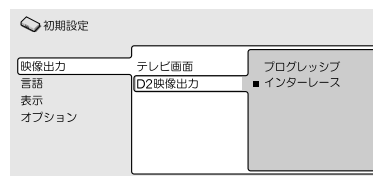
お使いのテレビが従来サイズ（4：3）のとき

本機の設定	映像の見えかた	
	16：9の映像	4：3の映像
（4：3）（レターボックス）		
（4：3）（パンスキャン）		

お使いのテレビがワイドテレビ（16：9）のとき

本機の設定	映像の見えかた	
	16：9の映像	4：3の映像
（16：9）（ワイド）		

D2映像出力（インターレース/プログレッシブを切り換える）

D2映像出力端子に出力される映像をインターレースかプログレッシブにするかを設定します。

インターレース：
プログレッシブ入力対応でないテレビまたはプロジェクターのときに選択します。(お買い上げ時の設定)

プログレッシブ：
きめ細かな映像が得られる高画質モードで、プログレッシブ入力対応のテレビまたはプロジェクターとD端子接続（☞22ページ）しているときに選択します。

- 「プログレッシブ」を選択してENTER(エンター)ボタンを押すと確認の画面が出ます。変更する場合は、ENTERボタンを押してください。変更しない場合は、その他のボタンを押してください。

ご注意

- 「プログレッシブ」と「インターレース」を切り換えるとき映像が乱れることがあります。
- 「プログレッシブ」と「インターレース」を再生中に切り換えることはできません。ディスクを停止させてから切り換えてください。
- プログレッシブ入力に対応していないテレビとD端子接続しているときは、「プログレッシブ」を選択しないでください。正常な映像が出力されません。誤って「プログレッシブ」を選択してしまったときは、以下の方法で「インターレース」に切り換えてください。

「プログレッシブ」⇒「インターレース」

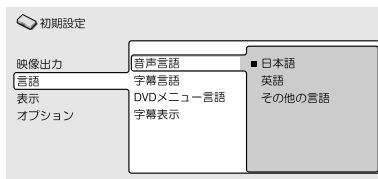
1. **DVDを停止するか、ディスクが入っていない状態にする**
2. **EDIT/NO/CLEARボタンを押す**
3. **MULTI JOGダイヤルを回して、「Interlace?」を選ぶ**
4. **MULTI JOGダイヤルを押す**
   "Waiting" と表示されたのち、元の表示に戻るまでお待ちください。
   映像出力が「インターレース」に変わります。

本機とプログレッシブ対応テレビとの互換性について
一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機の出力を「インターレース」に切り換えてください。

「言語」の設定をする

DVDビデオの中には1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、お客様が目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは初期設定画面の「言語」にあるさまざまな言語と字幕に関する設定を行います。初期設定画面の操作のしかたについては97ページをご覧ください。

音声言語を設定する

DVDビデオの音声言語を変更します。

日本語：
音声言語が日本語になります。(お買い上げ時の設定)

英語：
音声言語が英語になります。

その他の言語：
136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは100ページの「字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で「その他の言語」を選んだとき」をご覧ください。

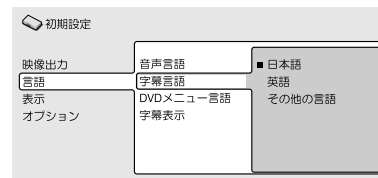
ご注意

- ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。
- ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するものもあります。この場合はTOP MENUボタンを押して、ディスクメニューを表示させてから、音声の言語を選択してください。

！ヒント

再生中にAUDIOボタンで切り換えることもできます。ただし、設定内容を変更し記憶することはできません。

字幕言語を設定する

DVDビデオの字幕言語を変更します。

日本語：
日本語の字幕を表示します。(お買い上げ時の設定)

英語：
英語の字幕を表示します。

その他の言語：
136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは100ページの「字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で「その他の言語」を選んだとき」をご覧ください。

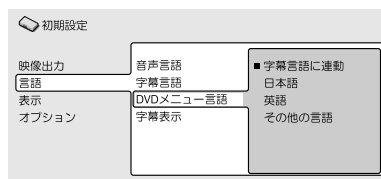
！ヒント

再生中にSUBTITLEボタンで切り換えることもできます。ただし、設定内容を変更し、記憶することはできません。

ご注意

- ディスクによっては、ディスクで決められている字幕の言語になることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューで選択するものもあります。この場合はTOP MENUボタンを押して、ディスクメニューを表示させてから、字幕の言語を選択してください。

DVDメニュー言語を設定する

DVDビデオのディスクメニューに表示する言語を変更します。

字幕言語に連動：
「字幕言語」で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。（お買い上げ時の設定）

日本語：
日本語でメニュー画面が表示されます。

英語：
英語でメニュー画面が表示されます。

その他の言語：
136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは右項の「字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で「その他の言語」を選んだとき」をご覧ください。

字幕表示をオン/オフする

DVDビデオの字幕を表示する/しないを設定します。

オン：
字幕を表示します。（お買い上げ時の設定）

オフ：
字幕を表示しません。ただし、DVDビデオの中には強制的に字幕を表示するものがあります。

字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で「その他の言語」を選んだとき

言語コード表（次ページ）にある136言語の中から選ぶことができます。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1 「その他の言語」を選んで、ENTER（エンター）ボタンを押す

2 ◀/▶ボタンで「言語表」または「コード」を選び、ENTERボタンを押す

「コード」で言語を選ぶとき
以下のいずれかの操作をします。

例　フランス語を選ぶ場合
- 数字ボタンの0、6、1、8を押す
- 1桁ごとに▲/▼ボタンを押して数字を選択する（◀/▶ボタンを押して桁を移動します）

「言語表」で言語を選ぶとき

例　フランス語を選ぶ場合
- ▲ボタンを2回押す

言語コード表

言語名(言語コード)	入力コード
日本語 (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Chinese (zh)	2608
Dutch (nl)	1412
Portuguese (pt)	1620
Swedish (sv)	1922
Russian (ru)	1821
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712
Guarani (gn)	0714

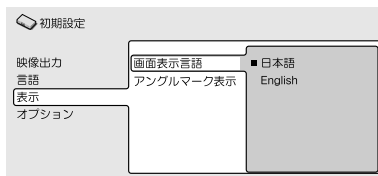
言語名(言語コード)	入力コード
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612
Pashto, Pushto (ps)	1619
Quechua (qu)	1721

言語名(言語コード)	入力コード
Rhaeto-Romance (rm)	1813
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

DVDの応用設定をする

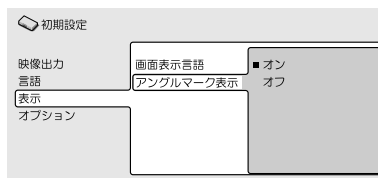
「表示」の設定をする

画面に表示される言語を切り換える

画面に表示される言語を日本語と英語に切り換えることができます。

日本語：
画面に表示される言語が日本語になります。（お買い上げ時の設定）

English：
画面に表示される言語が英語になります。

アングルマーク（🎥）を表示する

再生中に画面に表示される🎥マークを表示させたくないとき設定を変更します。

オン：
画面に🎥マークを表示します。（お買い上げ時の設定）

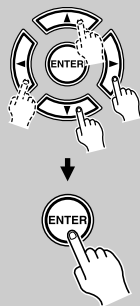
オフ：
画面に🎥マークを表示しません。

「オプション」の設定をする

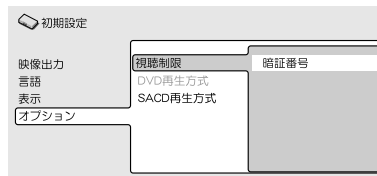
視聴制限をする（パレンタルロック）

暴力シーンなどを含むDVDビデオの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル7のディスクは再生することができません。レベル7のディスクを再生するためには、あらかじめレベルを7以上に設定しておく必要があります。この視聴制限は国ごとに異なる規制レベルにしたがって働く機能です。国コードをあらかじめ設定しておくと、この「国ごとに異なる規制」が可能になります。初期設定画面の操作のしかたについては97ページを、国コードの変更のしかたについては104ページをご覧ください。

暗証番号を登録する

1

▲/▼/◀/▶ボタンで「オプション」→「視聴制限」→「暗証番号」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

最初に暗証番号を登録します。暗証番号を登録していないと「レベル」、および「国コード」を選択することはできません。

暗証番号の画面が表示されます。

2

暗証番号を数字ボタンを押し、4桁で入力する

3

ENTERボタンを押す

初期設定画面表示に戻ります。

！ヒント

- 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、お買い上げ時の設定に戻して（☞119ページ）、再度設定してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生します。詳しくは、ディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

暗証番号を変更するには

1

「暗証番号変更」を選ぶ

暗証番号入力の画面が表示されます。

ENTER（エンター）ボタンを押します。

2

すでに登録している暗証番号（4桁）の数字ボタンを押す

ENTERボタンを押します。

3

新しい暗証番号（4桁）の数字ボタンを押す

4

ENTERボタンを押す

暗証番号が変更されます。

レベルを変更する

1

「レベル変更」を選び、ENTERボタンを押す

暗証番号入力の画面が表示されます。

2

すでに登録している暗証番号（4桁）の数字ボタンを押し、ENTERボタンを押す

視聴制限レベルを変更します。お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

3

◀/▶ボタンでレベルを選ぶ

4

ENTERボタンを押す

視聴制限のレベルが設定されます。

視聴制限できるDVDを再生するには

視聴制限されたディスクを再生すると暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと再生することができません。以下の手順で操作します。

1. 数字ボタンを押して、4桁の暗証番号を入力する
2. ENTERボタンを押す

DVDの応用設定をする

国コードを変更する

視聴制限の設定で「国コード」を選んだときは、右項の国コード表を見ながら操作します。その国の規制にもとづいた視聴制限（パレンタルロック）が可能になります。

1

「国コード」を選ぶ

暗証番号入力の画面が表示されます。

ENTER（エンター）ボタンを押します。

2

すでに登録している暗証番号（4桁）の数字ボタンを押し、ENTERボタンを押す

3

「国コード表」、または「コード」を選ぶ

「コード」で国コードを選ぶとき
以下のいずれかの操作をします。

例　日本を選ぶ場合
- 数字ボタンの1、0、1、6を押す
- ▲/▼ボタンを押して数字を選択する（◀/▶ボタンを押してケタを移動する）

「国コード表」で国コードを選ぶとき

例　日本を選ぶ場合
▼ボタンで「jp」を選ぶ

4

ENTERボタンを押す

国コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

国コード表

	入力コード	国コード
アメリカ	2119	us
アルゼンチン	0118	ar
イギリス	0702	gb
イタリア	0920	it
インド	0914	in
インドネシア	0904	id
オーストラリア	0121	au
オーストリア	0120	at
オランダ	1412	nl
カナダ	0301	ca
韓国	1118	kr
シンガポール	1907	sg
スイス	0308	ch
スウェーデン	1905	se
スペイン	0519	es
タイ	2008	th
台湾	2023	tw
中国	0314	cn
チリ	0312	cl
デンマーク	0411	dk
ドイツ	0405	de
日本	1016	jp
ニュージーランド	1426	nz
ノルウェー	1415	no
パキスタン	1611	pk
フィリピン	1608	ph
フィンランド	0609	fi
ブラジル	0218	br
フランス	0618	fr
ベルギー	0205	be
ポルトガル	1620	pt
香港	0811	hk
マレーシア	1325	my
メキシコ	1324	mx
ロシア	1821	ru

DVD再生方式の設定

DVDビデオとDVDオーディオが1枚に収録されているディスクを再生するとき、どちらを再生するかを設定します。
ディスクを入れてから操作してください。
対応しているディスクの場合に設定することができます。

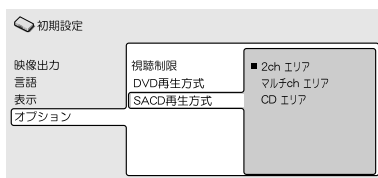
DVDオーディオ：
DVDオーディオ（オーディオゾーン）を再生するときに選びます。（お買い上げ時の設定）

DVDビデオ：
DVDビデオ（ビデオゾーン）を再生するときに選びます。

！ヒント

「DVDビデオ」を選択していても、本体のDVD/CD▲（オープン/クローズ）ボタンを押したり、電源を切ると「DVDオーディオ」に戻ります。

SACD再生の設定

SACDは、2チャンネルと5.1チャンネルのエリアが別々になっています。ハイブリッドSACDはSACD層とCD層の2層構造になっています。ここでは、SACDの再生するエリアを切り換えます。

2chエリア：
2チャンネルエリアを再生するときに選びます。
（お買い上げ時の設定）

マルチchエリア：
マルチチャンネルエリアを再生するときに選びます。

CDエリア：
CD層を再生するときに選びます。

！ヒント

マルチchエリア、CDエリアはディスクに記録されていないと、選んでも反映されません。

スピーカーの設定をする

サブウーファーの設定およびスピーカーの数を設定する

本機は2つのフロントスピーカーに加えて別売りの3.1CHスピーカーシステムUWA-9やUWA-N7を増設すると、より本格的なホームシアターもお楽しみいただけます。
UWA-9やUWA-N7を接続すると本機は自動的にスピーカーが5個とサブウーファーが接続されていることを認識しますので、設定の操作は必要ありません。5個のスピーカーのうち、フロントの2個のみを使いたいなどスピーカーの数を変更したい場合は、組み合わせるスピーカーの数によってサラウンド効果が変わるため、スピーカーの数を設定し直す必要があります。

1

RCV SETUPボタンを押す

「1. Sp Config」と表示されます。

2

ENTERボタンを押す

「Subwfr :　　」と表示されます。

3

◀/▶ボタンを押して、「Yes」と「No」を切り換える

Yes　サブウーファーから重低音が出力されます
UWA-9やUWA-N7を増設しているときは、この設定になります。

No　サブウーファーから重低音が出力されません

4

▲/▼ボタンを押して「Speaker :」の表示にする

5

◀/▶ボタンを（くり返し）押して、接続しているスピーカーの数を選択する

2ch　左右フロントスピーカーのみ

5ch　左右フロントスピーカーとセンタースピーカー、サラウンドスピーカー（本機にUWA-9またはUWA-N7を増設した場合）

6

RETURNボタンを押す

「1. Sp Config」の表示に戻ります。
次に次項の「スピーカーの距離を設定する」に進んでください。

お手持ちのサブウーファーのみ接続される場合は：

① RCV SETUPボタンを押す
「1. Sp Config」と表示されます。

② ENTERボタンを押す
「Subwfr :　　」と表示されます。

③ ◀/▶ボタンを押して、「Yes」にする

④ RETURNボタンを押す

スピーカーの距離を設定する

視聴位置からスピーカーまでの距離を設定します。距離を設定することで、それぞれのスピーカーから視聴位置までの音の届く時間を一定にし、映画や音楽をより快適にお楽しみいただけます。この設定は本機をスタンバイ状態にしても記憶しています。

7

▼ボタンを押す

「2. Distance」と表示されるので、ENTERボタンを押します。

8

◀/▶ ボタンでフロントスピーカーの距離を設定する

視聴位置から左右フロントスピーカーまでの距離を設定します。０.３ｍ単位で9.0mまで設定できます。

！ヒント

- このときDISPLAYボタンを押すと、単位表示をm（メートル）からft（フィート）に変えることができます。
- UWA-9やUWA-N7を増設している場合は、Center Surrも設定します。▲/▼ボタンでスピーカーを選んでください。センタースピーカーとサブウーファーはフロントスピーカーに対して−1.5m〜+1.5mの範囲で選択できます。サラウンドスピーカーはフロントスピーカーに対して−4.5m〜+1.5mの範囲で選択できます。

9

RETURNボタンを押す

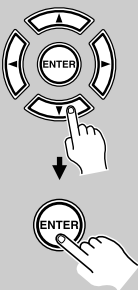
「2. Distance」の表示に戻ります。
次に次項の「スピーカーの音量レベルを調整する」に進んでください。

！ヒント

設定を途中で止めるには、RCV SETUPボタンを押してください。

スピーカーの音量レベルを調整する

音のバランスを調整するため、各スピーカーからのテストトーンの音量が同じに聞こえるように、それぞれのスピーカーの音量を設定します。

10

▼ボタンを押す

「3. Level Cal」と表示されるので、
ENTERボタンを押します。
左フロントスピーカーから「ザー」というテストトーンが出力されます。

11

VOLUME＋/−ボタンで音量を調整する

テストトーンは小さめなので良く聞こえる音量に調整してください。

12

▲/▼ボタンでスピーカーを切り換え、◀/▶ボタンで音量を調整する

−１２ｄB〜＋１２ｄBの範囲内で調整できます。

UWA-9やUWA-N7を増設している場合は
Center、Surr R、Surr L、Subwfrも設定します。お買い上げ時は、UWA-9またはUWA-N7に合わせたレベルに設定されています。

- サブウーファーを「Off」に設定していると、サブウーファーのテストトーンは出力されません。
- サブウーファーは−１５ｄB〜＋１２ｄBの範囲内で調整できます。

手順 ***11*** でいつも聞く音量よりも大きくした場合は、VOLUME−ボタンで音量を戻してください。

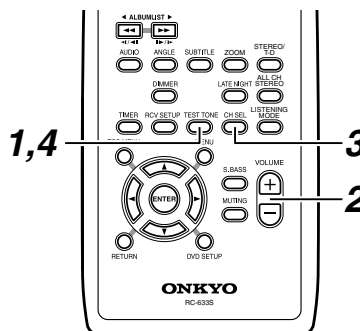
13

RETURNボタンを押す

「3. Level Cal」の表示に戻ります。もう一度押すと、スピーカー設定を終了します。

- RCV SETUPボタンを押して終了することもできます。

！ヒント

TEST TONEボタンを使って調整するには
左記の手順***10***〜***12*** を、次の方法で行うこともできます。

1.**TEST TONEボタンを押す**

2.**VOLUME＋/−ボタンで音量を調整する**

3.**CH SELボタンでスピーカーを切り換え、◀/▶ボタンでテストトーンを調整する**
CH SELボタンを押さなくても、2秒経過するとテストトーンは次のスピーカーに移ります。

4.**TEST TONEボタンを押す**
設定が終了します。

DVD、MDなどの予備知識（DVD編）

再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクを使用してください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク	
DVDビデオ DVD VIDEO / DVD VIDEO	DVDオーディオ DVD AUDIO / DVD AUDIO
DVD-R　DVD-RW DVD R / DVD RW	SACD SUPER AUDIO CD
ビデオCD COMPACT disc DIGITAL VIDEO	CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc Recordable	CD-RW COMPACT disc ReWritable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

本機で再生できないディスクの種類

- リージョンが「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- DVD-ROM・DVD-RAM
- CD-Gなど

本機は再生専用機です。DVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RWに録音・録画することはできません。

音楽用CDやMP3、WMAのCD-R/CD-RWを再生するときも、必ずテレビと接続してください。リピート再生、ランダム再生、プログラム再生など、テレビ画面に設定を表示してご使用いただく機能もあります。

DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意味
②	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16:9 LB	記録されている映像のアスペクト比（縦横比）
2 ALL	リージョン番号（地域番号）を表わします。本機はリージョン番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVDビデオによって、リージョン番号が指定されているものがあります。リージョン番号は地域を限定するもので、日本はリージョン番号「2」が指定されています。
これ以外のリージョン番号マークのついたディスクを再生しようとすると、画面に再生できない警告表示が出ます。

DVDの再生について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。ディスクによって禁止されている操作をしたときは、画面にディスクによる禁止マークが出ます。また、プレーヤーによって禁止されている操作をしたときは、画面にプレーヤーによる禁止マークが出ます。

DVD-Rの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたDVD-Rを再生することができます。
- MP3/WMA/JPEGが記録されたDVD-Rを再生することはできません。
- ファイナライズしていないDVD-Rを再生することはできません。

DVD-RWの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット（ビデオモード）、またはビデオレコーディングフォーマット（VRモード、CPRM対応）で記録されたDVD-RWを再生することができます。
- 本機は再生専用機です。DVD-RWディスクに録画することはできません。
- MP3/WMA/JPEGが記録されたDVD-RWを再生することはできません。
- ファイナライズしていないDVDビデオフォーマット（ビデオモード）のDVD-RWを再生することはできません。
- DVDレコーダーで編集（シーン消去など）をした箇所を再生すると、そのつなぎ目で一瞬映像が止まります。これは故障ではありません。

※DVDビデオフォーマット（ビデオモード）記録、およびDVDビデオレコーディングフォーマット（VRモード）記録についてはDVDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ビデオCDについて

本機はPBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。(「PBC」は、Playback Controlの略です。)
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBC(ピービーシー)なしビデオCD（バージョン 1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（画像）を再生できます。
PBC(ピービーシー)付きビデオCD（バージョン 2.0）	PBC(ピービーシー)なしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面のあるソフトを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生)。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

CD-R/CD-RWの再生について

- 本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、WMAやMP3の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」または「音が歪む」などの現象が起きることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。

※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

MP3の再生について

- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示部の時間表示が速くなったり、遅くなったりします）。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッションには対応していません。
- フォルダ名、トラック名のアルファベット順に、299フォルダ、648トラックまで認識・再生することができます。ただし、フォルダの構成によっては、すべてのフォルダ、トラックが認識・再生できない場合があります。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

WMAの再生について

- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XPまたはWindows Media® Player 9 seriesを使用してエンコードすることができます。
- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- サンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは **[このフォーマットは再生できません]** と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate)、またはロスレスエンコーディング（loss-less encoding）には対応していません。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- マルチセッションには対応していません。
- フォルダ名、トラック名のアルファベット順に、299フォルダ、648トラックまで認識・再生することができます。ただし、フォルダの構成によっては、すべてのフォルダ、トラックが認識・再生できない場合があります。
- WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

DVD、MDなどの予備知識（DVD編）

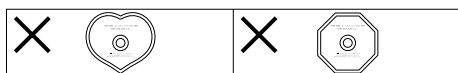
JPEGの再生について

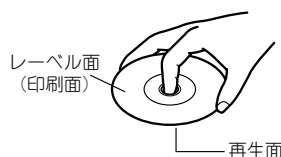
- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本機では、CD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJEPGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- 総ピクセル数が3072×2048ピクセル以下のベースラインJPEGファイルおよびExif 2.2*に準拠したJPEGファイルの静止画再生に対応しています。
- 「.jpg」、または「.JPG」という拡張子がついたJPEGファイルの静止画像を表示することができます。
- フォルダ名、ファイル名のアルファベット順に、299フォルダ、648ファイルまで認識・再生することができます。ただし、フォルダの構成によっては、すべてのフォルダ、ファイルが認識・再生できない場合があります。
- プログレッシブJPEGには対応していません。
- ファイルサイズが大きいファイルは画像の再生に時間がかかることがあります。

* デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格（Exif）Ver2.1、JEIDA-49-1998
(社)電子情報技術産業協会 JEITA

ディスクの取り扱いについて

■異型ディスクについて

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

■取り扱いについて

再生面(印刷されていない面)に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などを付けないようにしてください。

■保管上の注意について

直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

■レンタルディスクの注意について

ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの、のりがはみ出したしたり、剥がした跡があるものはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

■お手入れについて

汚れによる信号読み取りが低減し、音とびや画像の乱れが生じる場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れをふき取り、そのあと柔らかい布で水気をふき取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

■コピー防止について

本機はアナログコピー防止システムに対応しています。
コピー禁止信号が入っているディスクを本機で再生してビデオデッキで録画しても、コピー防止システムが働いて正常に録画されません。

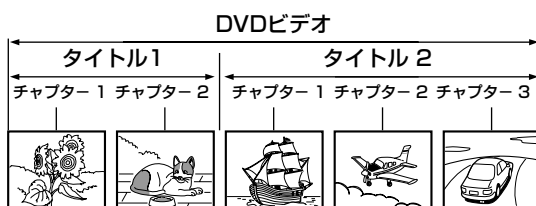
■著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。

本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障されたマクロビジョンコーポレーションの許可が必要な著作権保護技術を搭載しており、改造または分解は禁止されています。

ディスクに関する用語について

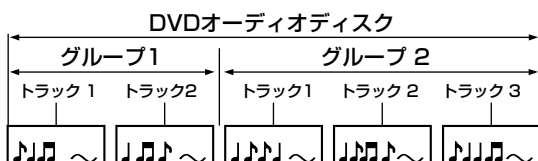
■DVDビデオ

● DVDビデオは、「タイトル」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りに分かれています。

タイトル：DVDビデオの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の第1話、第2話の「話」に相当します。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。上記「話」を分割する第1章、第2章の「章」に相当します。

● DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

■DVDオーディオ

● DVDオーディオは、「グループ」という大きな区切りと、「トラック」という小さな区切りに分かれています。

グループ：ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。

トラック：グループの内容を、曲ごとにさらに小さく区切ったものです。

● 一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。DVDビデオのようにメニューや映像などが収録されているディスクもあります。

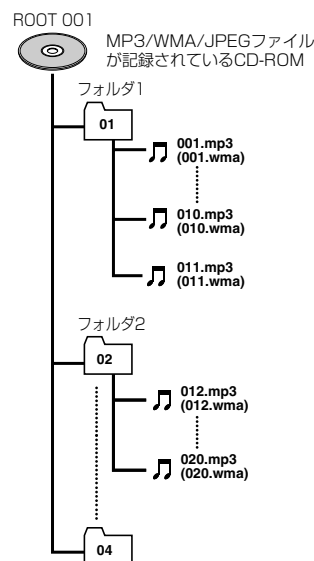
■ビデオCD/SACD/音楽用CD

● ビデオCD/SACD/音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

トラック：ビデオCD/SACD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

● 一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。

■WMA/MP3/JPEG

WMA/MP3のフォルダ/トラックの名前や、JPEGのフォルダ/ファイルの名前が画面に表示されます。ただし、本機は半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダ/トラック/ファイル名は文字化けしたり、[F_001]、[T_001]、[FL_001] のように表示されることがあります。

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露と言います。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。結露している場合は、電源を入れて1～2時間放置してからご使用ください。また、本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

DVD、MDなどの予備知識（MD編）

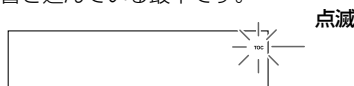
■MDについて

MDには再生専用、録音用とHi-MDの3種類があります。（本機は、Hi-MDには対応していません。）
録音用MDで途中まで録音してあるMDに追加して録音する場合、最後の曲のあとに録音されます。曲番も最後の曲番のあとから順についていきます。
録音をしたり、名前をつけたり、編集した情報はMDの目次部分（TOC＝Table Of Contents）に書き込まれます。

●TOC表示が点灯しているとき（録音中や名前をつけたときなど）

MDのTOCに書き込む情報が本体のメモリーに保存されている状態です。

●TOC表示が点滅しているとき（録音停止時やディスクを取り出すときなど）

MDに情報を書き込んでいる最中です。

この状態のときは、電源プラグを抜いたり、揺らしたりしないでください。停電になった場合は停電前の記録内容は消去されます。

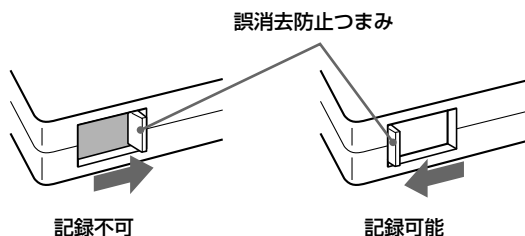
シリアルコピーマネージメントシステム（SCMS）
デジタル入力で録音したMDをさらにデジタル入力録音することはできません。本機はシリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルAV機器の間で、デジタル信号どうしのコピーを「1回だけ」と規制したもので、3つの原則があります。

原則1
CDまたはDAT、MDからMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、1度「デジタル入力録音」したものを他のMDへ「デジタル信号のままデジタル入力録音」できません。

原則2
アナログレコードやFM放送などをアナログ入力録音したMDから、他のMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、1度「デジタル入力録音」したMDから、他のMDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。MDレコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。

原則3
DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するMDレコーダーの場合、衛星放送のデジタル音声信号も「デジタル入力録音」できます。この場合は、2回目も「デジタル入力録音」できます。ただし、BSチューナー（衛星放送受信機）によっては、2回目のデジタル入力録音ができない場合があります。

■MDの誤消去防止について

録音用のMDには録音した内容を誤って消さないための誤消去防止つまみがあります。録音を禁止するときは、MDの誤消去防止つまみをずらして、図のように孔が開いた状態にします（記録不可状態）。

MDに録音するときや名前をつけるなどの編集を行うときは、録音用のMDを使用し、記録不可状態を解除しておいてください。

■MDの取り扱いについて

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えます。しかし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

●内部のディスクに直接触れないでください
ディスクのシャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

●置き場所について
直射日光が当たる所など高温の場所や、湿度の高い場所、ほこりの多いところ、風通しの悪いところ、大型のエアコンやチカチカする古くなった蛍光灯など大きな電源ノイズを発生する機器のそばには置かないでください。

●長時間使用しないときは
MDが本機の中に入っているときは、ディスクのシャッターが開いた状態になっています。長時間使用しないときは、内部のディスクにほこりがつくのを防ぐため、MDを本機から取り出しておいてください。

●定期的にお手入れを
カートリッジ表面についたほこりやごみを乾いた布でふき取ってください。

お知らせ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：
（社）私的録音補償金管理協会
Tel. 03-5353-0336
Fax. 03-5353-0337

MDのシステム上の制約について

MD(ミニディスク)システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- **最大録音可能時間（60分、74分、80分）に達していなくても、「Disc Full」が表示される。**
  MDシステムでは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。256曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚のMDに分けて録音してください。
- **曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。**
  曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。
- **MDへの録音のしかたによっては、短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。**
- **曲をつなぐことができない場合がある。**
  編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。
- **MDの状態や録音のしかたによっては、録音可能な残り時間が録音した時間以上に減ることがある。**
- **編集でできた曲でサーチを行うと、音が途切れることがある。**
- **曲番が正確につかないことがある。**
  CDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。また、レベルシンクオンで自動的にトラックマーキングを行った場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。
- **「MD Reading」の表示がなかなか消えない。**
  一度も使用していない録音用ディスクを入れると、通常より「MD Reading」表示が長く表示されます。
- **MDには約1,700文字のネームが入力できます。**
  ただし、グループ機能を使用したり、カタカナを入力すると入力可能文字数はこれより少なくなります。
- **グループ機能の情報は、通常ネームを書きこむエリアに書きこみます。**
  そのため、文字を多く入れると情報を書きこむエリアが少なくなり、グループ編集ができない場合があります。その際は、ネームの文字数を減らすとグループ編集ができることがあります。

> MDLPについて
> LP2、LP4の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載の機器以外では再生できません。

メッセージ一覧

ご使用の状況により、メッセージが表示されます。
意味は下の表のとおりです。

メッセージ	意味
MD Blank Disc	曲もディスク名も記録されていない録音用MDが入っている。
Cannot Copy	MDの制限により、デジタル録音できない状態になっている(「MDについて」、112ページ参照)。
Cannot Edit	編集できないMDで編集しようとした。
Cannot Rec	再生専用MDに録音しようとした。
CD Dub Fail	CDダビングを起動できなかった。
Complete	編集が完了した。
Cannot Read	異常な(損傷している、TOCが入っていない)MDが入っている。
Disc Full	MDの録音可能部分がないため、録音できない(「MDのシステム上の制約について」、左項参照)。
Error	カナネーム入力時に入力できない組み合わせを行った。例：ア゛
Full	ネーム入力中に文字数が最大値に達した。
Impossible	MDシステム制約上以外の原因で編集の不可能な操作をした。
MD Writing	MDへの書き込み中
Mecha Error	MDメカに異常が発生した。故障の可能性がありますので、お近くのサービスステーションにお問い合わせください。
Memory Full	25曲を越えてメモリーしようとした。または、チューナーで30局を越えてメモリーしようとした。
Name Full	入っている曲名とディスク名が最大値に達した。
No Change	ネーム入力で変更がなかった。
CD/MD No Disc	ディスクが入っていない。（CD、MD）
Protected	MDが記録不可状態になっている。
Rec Now	現在、録音中もしくは録音待機状態です。
Retry Error	録音中、振動やMDに傷がいくつもあったため、記録し直しが連続し正常に記録できない。 ディスクを交換してください。
Recording	録音中にできない操作をした。
Signal Wait	MDがシグナルウエイト状態になった。
TOC Error	MDの読み取りや書き込みに失敗した。

取り扱いについて

D-N9スピーカーキャビネットについて
D-N9のキャビネットは自然の木材を表面化粧板として使用したリアルウッド突板仕上げです。リアルウッド突板仕上げの製品は、工業製品とは異なり、一つとして同じ木目模様のものはありません。これは、原材料の木の年輪が表面にあらわれているためで、不規則な模様の変化や、濃淡の変化といった個性を持っています。
オンキヨーの製品は、自然が与えてくれる要素をできる限り生かしたいと考えています。このような個性も音楽を再現する道具の一部として味わってください。塗装や仕上げの品質に関しては、当社が定める基準できびしく管理しています。

お手入れについて
製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

カラーテレビやパソコンとの近接使用について
一般にカラーテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
付属のスピーカーは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分〜30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

付属のスピーカーのツィーターには強力な磁石を採用していますので、ドライバーや鉄等の磁性体を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。

取り扱い上のご注意
付属のスピーカーは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について
本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

メモリー保持について
本機には、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。本機の電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約3日間です。
ただし、時刻は保護されずタイマーはOFF設定になりますので、再度設定してください。

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中できれる

- 表示部にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。（75ページ）
- タイマー再生、録音は終了時刻にスタンバイになります。
- STANDBYインジケーターが点滅しているときは、保護回路が働いています。スピーカーコードのしん線部の＋、－が接触していないか確認してください。

音に関して

音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- スピーカーが正しく接続されていますか？しん線は本体の接続端子に接触していますか？（19ページ）
- ボリュームが最小になっていませんか?
- INPUTは正しく選択されているか確認してください。
- “MUTING”と表示されている場合、ミューティング機能が働いていますので、解除してください。（31ページ）
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。（31ページ）

音が良くない/雑音が入る

- スピーカーコードの＋/－が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーが本体のL端子、右側のスピーカーはR端子に接続してください。（19ページ）
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中に精密部品がディスクを読み取る音が聞こえる場合があります。
- リスニングモードを切り換えてみてください。

振動で音が途切れる

- 本機は設置タイプで設計されておりますので、できるだけ振動の少ない設置場所でご使用ください。

ヘッドホンから音が出ない/ノイズが出る

- 接触不良の場合があります。ヘッドホンの端子を清掃してください。（清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。）また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。

音質に関して

- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後10～30分程度経過した方が音質は安定します。オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

ディスクの再生（DVD/CD）使用時

ディスクの再生ができない

- ディスクはDVDトレイに正しくセットされていますか？
  ディスクの再生面を下にしてDVDトレイに置いているか確認してください。（34ページ）
- ディスクは汚れていないか確認してください。（110ページ）
- 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。（108ページ）
- リージョン番号が本機に合っていないDVDビデオは再生できません。本機で再生できるリージョン番号は「2」と「ALL」です。（108ページ）
- パレンタルロックが働いている場合は、パレンタルロックの解除、またはレベル変更を行ってください。（102～103ページ）
- 結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、プログラム再生、ランダム再生等の特別な再生モードを解除してください。（39～41ページ）

DVD再生中に映像が乱れる、または暗い

- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによっては、コピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを再生したとき、テレビによっては映像の一部に横しまが入るなどの現象が出るものもありますが、故障ではありません。

DVDの映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる

- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによっては、コピー禁止信号が入っています。そのようなディスクをVTRを通して、またはVTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。

本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると、映像が乱れる

- ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

DVDオーディオを再生すると途中で停止してしまう

- 違法に複製されたディスクの可能性があります。

次のような場合は、ディスクを再生できない場合があります。

- レコーダーまたはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RWディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります。（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、本機プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください。（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。

困ったときは

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

映　像（DVD使用時）

画面が縦または横に伸びている

- 「テレビ画面」の設定がテレビと合っていない。「初期設定」で設定してください。**（98ページ）**

再生画像が時々乱れる

- ディスクが汚れていないか確認してください。**（110ページ）**
- 早送り、早戻しをすると画像が多少乱れることがあります。これは本機の故障ではありません。
- 一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換がとれていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は、本機のプログレッシブを解除し、テレビ側のプログレッシブ機能をお使いください。**（99ページ）**

再生画像の明るさが一定しない。または、再生画像にノイズが入る

- 本機をビデオデッキまたはビデオ内蔵テレビ経由でテレビに接続している場合は、コピー防止機能が働きますので、直接テレビに接続してください。
- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節して、適切な状態にしてください。

映像がテレビ画面にあらわれない

- 接続したテレビの入力設定が正しいか確認してください。また、接続コードがしっかり差し込まれているかご確認ください。
- 停止中や一時停止など同じ画面が長時間表示される場合は、スクリーンセーバー機能が働きます。**（32ページ）**
  この場合、DVD/CD▶(プレイ)ボタンを押して解除してください。CD再生時などで、テレビをつけていなくてもスクリーンセーバー機能は働きます。
- D端子接続をしていても、プログレッシブ対応でないテレビの場合は、インターレースに切り換えてください。**（99ページ）**

音　声（DVD/CD使用時）

再生しているディスクの音声が出てこない

- 一時停止、スロー再生、早送り、早戻しでは音が出ませんので、DVD/CD▶(プレイ)ボタンを押して通常再生に戻してください。

DVD等の音声の冒頭部が欠ける

- ディスクによっては信号処理のため冒頭部分が欠けることがあります。一度停止して最初から再生すると改善される場合があります。

音声がモノラル出力になっている

- CDやビデオCDを再生しているとき、AUDIOボタンを押して1/L（左）、2/R（右）に設定した場合はモノラル出力となります。ステレオに戻す場合は、AUDIOボタンを押して、ステレオに設定してください。（注）映像の画面出力として状態が表示されますので、テレビを接続して確認してください。**（45ページ）**

DVDとCDで音量差を感じる

- ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。

MP3/WMAの再生

MP3/WMAファイルを記録したディスクが再生できない

- 記録したディスクがISO9660に準拠しているか確認してください。**（109ページ）**
- MP3/WMAファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。**（109ページ）**
- DRMコピープロテクト*のかかったWMAファイルは再生できません。
  * DRM（Digital Rights Management）コピープロテクトは著作権保護のための技術で、違法な複製を防止するため録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限する機能です。詳しくは、録音に使用した機器、アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。
- サンプリング周波数が32kHz、44.1kHzまたは48kHzで記録されていないWMAファイルは再生できません。
- 可変ビットレート（VBR）またはロスレスエンコーディングのWMAファイルは再生できません。
- サンプリング周波数が32kHz、44.1kHzまたは48kHzで記録されていないMP3ファイルは再生できません。

ディスクに記録されているトラック（MP3ファイル）を選択できない

- 「.mp3」または「.MP3」以外の拡張子がついていると認識できませんので、拡張子を変更してください。**（109ページ）**
- 本機では299フォルダ、648トラックまで認識・再生することができます。
  ただし、フォルダの構成によってはすべてのフォルダ、トラックを認識・再生できないことがあります。**（109ページ）**

ディスクに記録されているトラック（WMAファイル）を選択できない

- 「.wma」または「.WMA」以外の拡張子がついていると認識できませんので、拡張子を変更してください。**（109ページ）**

JPEGの再生

JPEGファイルを記録したディスクが再生できない

- 記録したディスクがISO 9660フォーマットに準拠しているか確認してください。**（110ページ）**
- 総ピクセル数が3072×2048ピクセル以下のベースラインJPEGファイルでない場合、再生できません。**（110ページ）**
- プログレッシブJPEGファイルは再生できません。**（110ページ）**

その他

希望する言語で、字幕、音声が出力されない
- 設定した言語がディスクに記録されていない。

システム機能が効かない
- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。
（RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません）**（24、25ページ）**

テレビなどが誤動作する
- ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。

MDに関して

MDの録音、編集(名前をつける、消去する、等)の情報はMDを取り出す時やスタンバイ状態になるときに、MDの目次部分(TOC)に書きこまれます。TOC表示が点灯、点滅している時は電源プラグを抜いたり本体を揺らしたりしないでください。

ディスクが入らない
- 一度電源プラグを抜くか、異なるブランドのディスクを使用すると直ることがあります。

ディスクが入っているのに再生しない
- 何も録音されていないMDが入っていませんか？録音されているMDと取り換えてください。

ディスクが取り出せない
- 本機は、Hi-MDに対応していません。Hi-MD（1G）ディスクを挿入すると、▲(イジェクト)ボタンが働かなくなる場合があります。その場合は一度電源コードを差し直し、STANDBY/ONボタンを押してからすぐに▲ボタンを押してください。

録音ができない
- DVDのPCM以外のデジタル信号（ドルビーデジタル/DTS）を録音する場合は、アナログ入力録音に切り換えてください。**（45ページ）**

「Cannot Rec」と表示される**（113ページ）**
- 再生用のMDです。録音用と交換してください。
- DVDの音源をデジタル信号のまま録音することはできません。

「Protected」と表示される**（113ページ）**
- MDが記録不可状態になっています、誤消去防止つまみをずらして解除してください。**（112ページ）**

「Disc Full」と表示される**（113ページ）**
- MDに録音の空きがありません、新しいMDと交換してください。

「Retry Error」と表示された**（113ページ）**
- いったんMDを取り出して、再度録音しなおしてください。頻繁に表示される場合は、修理窓口にご連絡ください。

「Cannot Copy」と表示される
- シリアルコピーマネジメントシステムにより、録音に制限があります。**（112ページ）**

デジタル機器から外部録音しようとしたら「D.In Unlock」と表示される
- オーディオ用光デジタルケーブルを正しく接続してください。

録音レベルが小さい/音が歪む
- 録音レベルを調整してください。**（72ページ）**

「CDダビング」ができない
「CD Dub Fail」と表示される。
- MDが動作中です。しばらく待ってからもう一度CDダビングを行ってください。
- CDがランダム再生モードになっているとCDダビングできません。通常再生に戻してください。
- DVDオーディオ、DVDビデオ、SACDなど、デジタル録音できないディスクを録音しようとした。

「CD倍速ダビング」ができない。
- CDがメモリー、ランダム再生モードになっているとCD倍速ダビングは働きません。通常の再生モードに戻してください。
また、録音モードの場合、倍速ダビング開始後、同じCDを74分以内に倍速ダビングすることはできません。**（66ページ）**

「CD倍速ダビング」で音とびがする
- CD倍速ダビングはディスクの汚れ等の影響を受けやすくなります。
音とび、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

「シンクロ録音」ができない
- 表示部に「MD Reading」が表示されている間はシンクロ録音を開始することができません。しばらく待ってから操作してください。

録音すると必ずグループができる
- グループ録音の設定が「オン」になっています。「グループ録音」の設定を「オフ」にしてください。**（71ページ）**

録音した曲の始めの数秒が途切れる
- 入力を「MD」にしたとき、「Reading(リーディング)」と表示されている場合は、MDの読み込みを行っています。MDの読み込みには数十秒かかります。MDの読み込みが完了してから、録音を開始してください。
- DVDからの録音時に信号処理のため、冒頭部が欠けることがあります。一度停止して最初から再生をすると改善される場合があります。

録音時、瞬間的にノイズが発生する
- 録音モードのLP4モード録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によってごくまれに瞬間的なノイズが発生します。SPモードまたはLP2モードでの録音をお試しください。

ディスクに記載の録音時間がすでに録音した時間と残録音時間の合計と一致しない
- ディスクの録音箇所には一定の範囲（時間）単位での録音がされるために、くり返しの編集や削除などにより、録音時間が減少する場合があります。

録音したディスクを再生すると音が小さい/大きい
- 録音レベルを調整してください。**（72ページ）**

名前がつけられない
- 録音用のMDを使用してください。MDの誤消去防止つまみが開いて録音不可状態になっている場合は、誤消去防止つまみを閉じて解除してください。**（112ページ）**
- メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると名前はつけられません。通常の再生モードに戻してください。**（52ページ）**

困ったときは

すでに何曲か録音してあるMDなのに録音を開始すると1Trからになる

- グループ録音設定がオンになっていて、かつグループ内番号表示（80ページ）になっているときは、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、１Trと表示されます。

グループ録音設定をオンにしているのにグループにならない

- トラック指定CDダビングのときはグループになりません。また、シンクロ録音のときは、MD■（ストップ）ボタンを押すとそこでグループが終わります。
- 制限最大文字数に近い文字数の名前がすでに入力されているときは、グループにならない場合があります。

たくさんの曲数に分割して録音されてしまう

- ラジオ、レコード等から録音する場合、無音部分を検出して曲数がたくさん付く場合があります。録音レベルを上げても改善しない場合はレベルシンク機能をOFFにしてください。**（73ページ）**

曲番が付かない

- 無音部分が短いと曲番がつかない場合があります。
- FM/AM放送を録音した場合は、曲番がつかない場合があります。

本機で録音したMDが本機以外のプレーヤーで再生できない

- LP2やLP4（MDLPモード）を使って録音したMDはMDLP対応機器でないと再生できません。お持ちの機器がMDLP対応か確認してください。

MDの編集ができない

- MDは録音用を使用し、録音不可状態は誤消去防止つまみをずらして解除してください。
- メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると編集できません。通常の再生モードに戻してください。**（52ページ）**
- デジタル録音した曲とアナログ録音した曲はCombine（つなぐ）することはできません。**（91ページ）**
- また、異なる録音モードで録音した曲はCombine（つなぐ）することはできません。（ LP2とLP4など）**（65、91ページ）**
- Net-MDで録音したディスクは、本機では再生できません。

録音後、停電になった

TOC表示が点灯、点滅中に停電になった場合は、停電前の記録内容は消去されます。また誤って電源コードを抜いた場合も消去されます。

ＦＭ/ＡＭ放送に関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い/オートプリセットで放送局が呼び出せない（FMのみ）/FM放送で“ST”表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。**（20ページ）**
- アンテナの位置を変えてみてください。**（53ページ）**
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに変更してみてください。**（57ページ）**
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも電波が悪い時は市販の室内アンテナまたは、屋外アンテナの設置をお薦めします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定してください。**（74ページ）**

ラジオの周波数を調整できない

- リモコンのみの操作になります。
  リモコンのTUNING（チューニング）◀◀/▶▶ボタンを押して調整してください。**（53ページ）**

外部機器との接続に関して

録音ができない

- デジタル録音するには再生機器のデジタル出力を本機のAUDIO IN DIGITAL端子に接続する必要があります。**（25、26ページ）**
- 接続が正しいか確認してください。**（24～28ページ）**
- 本機は32kHz、44.1kHz、48kHzのPCM信号にのみに対応しています。アナログ録音もしくはPCM信号にして録音してください。
- シリアルコピーマネジメントシステムにより、録音に制限があります。**（112ページ）**

オンキヨー製外部機器とのシステム接続が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。**（24～26、28ページ）**
  RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。
- 外部入力機器の表示名称を設定してください。**（30ページ）**

「D. IN Unlock」が表示された/DIGITAL表示が点滅している

- 光デジタルケーブルの接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。

接続した機器の音が出ない

- 光デジタルケーブルが折れ曲がったり損傷していませんか？
- フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーは、別売のフォノイコライザーを中継してください。

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。
  内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

レコードプレーヤーが再生できない

- MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランス（またはヘッドアンプ）およびフォノイコライザーが必要です。

時刻、タイマー再生･録音に関して

タイマー再生・録音しない

- 現在時刻は正しく設定されていますか？
  時刻が設定されていないと、タイマー再生、録音はできません。曜日と現在時刻を設定してください。**（74ページ）**

- 開始時刻に電源が入っているとタイマーが開始しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。**（78ページ）**
- タイマー予約の時間が重なっているとはたらかないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。**（75ページ）**
- オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。また、表示名称が正しく設定されているか確認してください。**（24～26ページ）**
- タイマー録音するには録音可能なMDをセットしておく必要があります。また、本機MDにタイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので、録音開始時刻を1分程早めに設定してください。

スタンバイ状態で時計表示が出ない

- スタンバイ時の時刻表時を「あり」に設定してください。**（74ページ）**

設定に関して

設定内容が消える

- 電源が入っているときに、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。

設定が変更できない

- 再生中は変更できない項目がありますので、その場合は停止してから変更してください。

音声がモノラル出力になっている

- リスニングモードが「Mono」や「Full Mono」になっていませんか？
- CDやビデオCDの再生時、リモコンのAUDIOボタンを押してモノラルL、モノラルRに設定した場合は、モノラル出力となります。ステレオに戻す場合は、再度リモコンのAUDIOボタンを押し、ステレオに設定してください。**（45ページ）**
  ※映像の画面出力として状態が表示されますので、テレビを接続して確認してください。

スピーカーの距離設定が希望通りにならない

- UWA-9またはUWA-N7と組み合わせているとき、設定する数値がホームシアターに適した数値に矯正されることがあります。**（106ページ）**

Not Avairableと表示される

- スピーカーの数や入力される信号によって選べないサラウンドモードがあります。

UWA-9またはUWA-N7との組み合わせに関して

音が出ない/連動しない

- 正しく接続はされていますか？専用接続コードを正しく接続してください。また、サブウーファーとサテライトスピーカーの接続を正しく行ってください。
  SUBWOOFER CONTROL端子が正しく接続されないと、サブウーファーの電源が入りません。

センタースピーカーやサラウンドスピーカーから音が出ない

- サラウンドモードの種類によって音を出さないモードがあります。
- ドルビープロロジックIIのサラウンドモードで再生するソースにより、音が出にくい場合があります。5.1ch対応のDVDソフトやBSデジタル放送の5.1ch放送は、臨場感を表現する信号が含まれていることが多いのですが、CDや一般の放送には含まれていないのが一般的です。他のサラウンドモードをお選びください。

ヘッドホンを接続すると、T−Dインジケーターが消える

- ヘッドホンを接続すると、「Mono」、「Direct」または「Multich」以外のリスニングモードはステレオになります。また、サブウーファーの電源は切れます。**（31ページ）**

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（+、−）が、表示通り正しく入っているか確認してください。**（9ページ）**
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると本機が誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

その他

音量調整が79以下で終わる

- UWA-9またはUWA-N7を接続していると、ボリューム最大値は73になります。また、スピーカーの音量レベル設定を変更すると、ボリューム最大値が変わることがあります。

ディスクが熱くなる

- 外気温や動作状態にもよりますが、本機によってディスクが熱くなることがありますが、故障ではありません。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので大事な録音をするときにはあらかじめ正しく録音できる事を確認の上、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのような時は、電源プラグを抜いて約5秒以上待ってから改めて電源プラグを入れてください。

■ DVDに関する設定を初期設定（お買い上げ時の状態）に戻すには

1. **停止するか、ディスクを取り出し、表示部に「No Disc」と表示させる**
2. **EDIT/CLEAR/NOボタンを押す**
3. **MULTI JOGダイヤルで「DVD Init?」を選び、MULTI JOGダイヤルを押す**
4. **「DVD Init??」と確認の表示が出るので、再度MULTI JOGダイヤルを押す**
   DVDに関する設定が初期設定（お買い上げ時の状態）になります。

主な仕様

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

本体部

■総合

電源・電圧　AC 100V、50/60Hz
消費電力　66W
待機時電力　0.1W
最大外形寸法　205(幅)×147(高さ)×353(奥行)mm
質量　5.8kg
音声入力
　デジタル　1（光）
　アナログ　LINE、TAPE
音声出力
　アナログ　TAPE
　サブウーファープリアウト　1
　スピーカー　2
　ヘッドホン　1

■アンプ部

定格出力　13W+13W
(8Ω、40Hz～20kHz、
全高調波歪率0.4 %以下、2ch駆動時)
19W+19W
(4Ω、1kHz、全高調波歪率0.4%以下、
2ch駆動時)
実用最大出力　26W+26W（4 Ω JEITA）
全高調波歪率　0.4 %（1kHz 定格出力時）
0.4 %（40Hz～20kHz 定格出力時）
ダンピングファクター　70（8Ω）
入力感度/インピーダンス　150mV/50kΩ（LINE）
出力電圧/インピーダンス　120mV/2.2kΩ（REC OUT）
周波数特性　10Hz～100kHz/±3dB（LINE）
トーンコントロール最大変化量
±10dB、100Hz（BASS）
±10dB、10kHz（TREBLE）
+4.5dB、80Hz（S.BASS1）
+7.5dB、80Hz（S.BASS2）
SN比　100dB（LINE,IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス　4Ω～16Ω

■映像部

入力感度・出力　電圧/インピーダンス
：1Vp-p /75Ω（Y）
：0.7Vp-p /75Ω（CR、CB）
：0.286Vp-p /75Ω（C）
：1Vp-p /75Ω（コンポジット）
コンポーネント映像周波数特性
：5Hz～50MHz

■チューナー部

<FM>
受信範囲　76MHz～90MHz, VHF 1ch, 2ch, 3ch
受信感度　Stereo　22.2dBf（IHF）
Mono　15.2dBf（IHF）
SN比　Stereo　67dB（IHF-A）
Mono　73dB（IHF-A）
歪率　Stereo　0.5%（1kHz）
Mono　0.3%（1kHz）
ステレオセパレーション　40dB（1kHz）
<AM>
受信範囲　522kHz～1629kHz
実用感度(75Ω)　300dBf
SN比　40dB
歪率　0.7%（1kHz）

■映像出力

映像出力　：D2/D1 VIDEO：1
S VIDEO：1
VIDEO：1

■音声入力/音声出力

音声入力　：デジタル　：1（光）
アナログ　：2（LINE/TV、TAPE/HDD）
音声出力　：アナログ　：1（TAPE/HDD）
：3.1chアナログ 1（PRE OUT）
スピーカー　：FRONT SPEAKERS 1
ヘッドホン　：1

■DVD/CD部

周波数特性　10Hz～20kHz
ダイナミックレンジ　92dB
全高調波歪率　0.009%
ワウ・フラッター　測定値以下
（±0.001% W.PEAK), EIAJ

■MD部

録音可能サンプリング周波数
32, 44.1, 48kHz
再生サンプリング周波数　44.1kHz
録音・再生時間
最長320分, LP4
周波数特性（デジタル音声）10Hz～ 20kHz
ダイナミックレンジ　94dB

FR-UN9(115-124)(SN29344123A)　120　05.10.7, 11:55 AM
ブラック

スピーカー部

■D-N9

形式 2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス 4Ω
最大入力 70W
定格感度レベル 82dB/W/m
定格周波数範囲 45Hz～35kHz
クロスオーバー周波数 6.5kHz
キャビネット内容積 8.1リットル
最大外形寸法 167(幅)× 290(高さ)×248(奥行)mm
(サランネット、ターミナル突起部含む)
質量 4.2kg
使用スピーカー
ウーファー 13cm A-OMFコーン型
ツィーター 2.5cm ソフトドーム型
ターミナル プッシュ式スピーカーターミナル
防磁設計 有

■D-N7

形式 2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス 4Ω
最大入力 70W
定格感度レベル 82dB/W/m
定格周波数範囲 55Hz～35kHz
クロスオーバー周波数 6.5kHz
キャビネット内容積 7.5リットル
最大外形寸法 167(幅)× 268(高さ)×250(奥行)mm
(サランネット、ターミナル突起部含む)
質量 4.0kg
使用スピーカー
ウーファー 13cm A-OMFコーン型
ツィーター 2.5cm ソフトドーム型
ターミナル プッシュ式スピーカーターミナル
防磁設計 有

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶お 名 前
- ▶お 電 話 番 号
- ▶ご 住 所
- ▶製品名 FR-UN9 または X-UN9 または X-UN7
- ▶で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　　(　　)
メモ：

ONKYO®
オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター
ナビダイヤル ☎ 0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）
または ☎ 072(831)8111（携帯電話、PHSから）

G0510-2

SN 29344123A